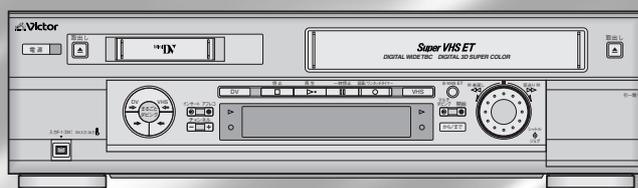
取扱説明書

BSチューナー内蔵

MiniDV/S-VHSビデオカセットレコーダー

型名 HR-DVS2

HR-DVS2

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4～7ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製

LPT0469-001A

主な特長

＊ G コード（又は G-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。G コードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

この取扱説明書の見かた

■ リモコンまたは本体のどちらのボタンで操作できるかイラストでお知らせしています。

■ リモコンまたは本体のどちらのボタンでも操作できるときは、リモコンのボタンを使って説明しています。

■ 操作手順の中のボタンの名称については[ ]で囲って表示しています。

例　メニューボタン→［メニュー］

■ リモコンのみで操作できる項目は を表示していません。

リモコンで操作します。　本体で操作します。

■ 本文中の記号の見方

ご注意　操作上の注意などが書かれています。

MEMO　機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　参照ページや参照項目を示しています。

●設置や接続、リモコンの準備がお済みでないときは:「設置と準備」編をご覧ください。
●ビデオをご覧になりたい、番組を録画したい、簡単なダビングをしたいときは:「基本操作」編をご覧ください。
●録画の予約をしたいときは:「録画予約」編をご覧ください。
●ダビング／編集をしたいときは:「ダビング」編をご覧ください。
●もっといろいろな機能を使いたいときは:「便利な機能」編をご覧ください。

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

お断り

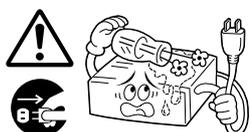
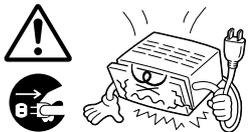
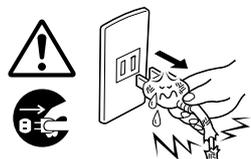
● ビデオ本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。
● この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ **火災や感電の原因となります。**

● 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

● 内部に水や物が入ってしまったとき。

● 落としたり、キャビネットが破損したとき。

● 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ **このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。**
■ **お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。**

不安定な場所に置かない

■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

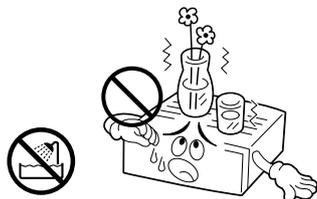
■ 火災や感電の原因となります。

⚠警告

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない

■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

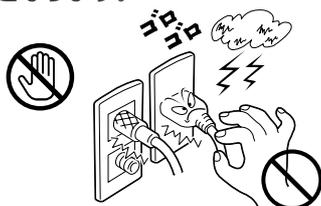
■ 通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

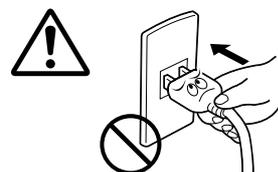
■ 感電の原因となります。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器の(カバー、キャビネット)は外したり、改造しない

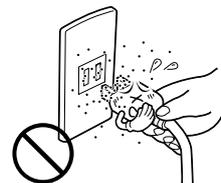
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源コードを加工しない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
・電源コードを熱器具に近づけない。

電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

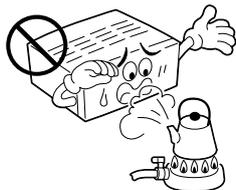
■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、(ヒーター、ドライヤーや電磁調理器)などの消費電力の大きい機器をつながない
[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]

■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠注意

次のような所には置かない

■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い所
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

通風孔をふさがない

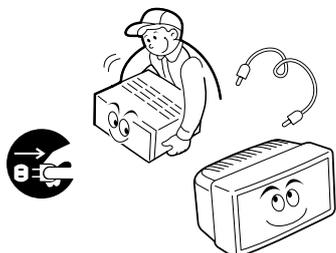
■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ ファンの通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

■ カセットテープも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

カセットの出し入れ口に手を入れない

■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

この機器の上に重い物を置かない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

■ 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

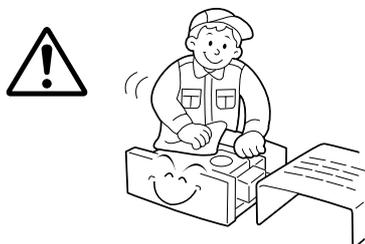
■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

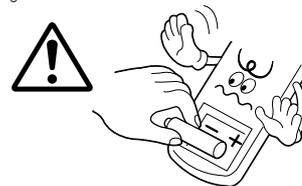
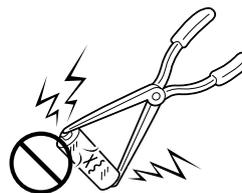
■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(＋)とマイナス(―)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(―)をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく

■ もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

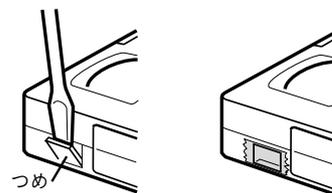
ご使用の前にお読みください。

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

VHSカセット

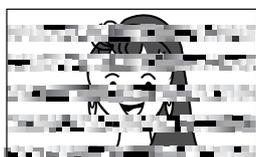
■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

ミニDVカセット

■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、ミニDVカセットの背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください。
■ ふたたび録画するときは、ツマミを「REC」の矢印方向に引いてください。

きれいな画面でご覧いただくために(クリーニングテープ)

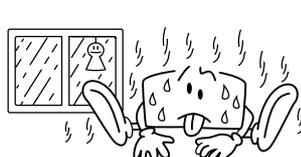
■ 長い時間ご使用になるうちに下記のような症状になったときは、別売りの「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。

■ **こんな症状になったら**
VHSカセットの場合
- テープを再生すると、ザラザラした画面になる
- 映像が不鮮明、または映らない
- テレビ画面に「クリーニングテープをおためしください」と表示される

ミニDVカセットの場合
- テープを再生すると、映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる
- テープを再生すると、映像に黒色やモザイク画の横縞がでる
- テレビ画面に「クリーニングテープをおためしください」と表示される

- 乾式の**クリーニングカセット**を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

クリーニングカセット
VHSデッキ用:TCL-3F
DVデッキ用:M-DV2CL
M-DV2CLを長時間くり返し再生すると、ヘッドの磨耗の原因となりますので注意してください。

(M-DV2CLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します。)

■ **ヘッドの汚れの原因**
- 高温・多湿(梅雨時期など)
- 空気中のほこり

- テープの傷、汚れ
- 長時間の使用など

■ **クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは、**
お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口(**104**～**105**ページ)にご相談ください。

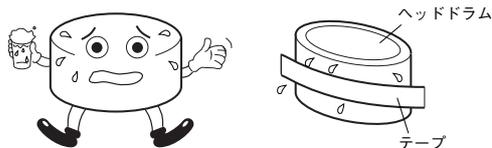
つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。

■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。

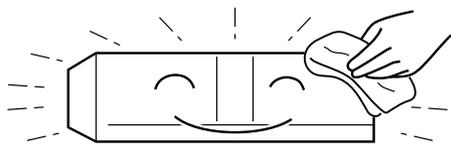
■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

長時間ご使用にならないときは

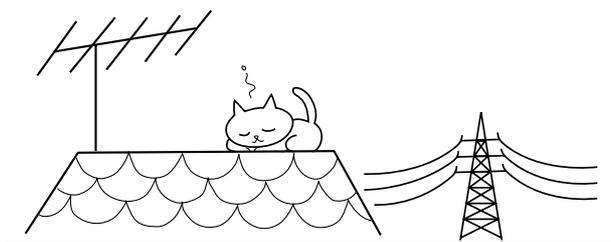
長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。

■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。

■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットは 次のタイプをお使いください。
VHSデッキ用:S-VHS、VHS
DVデッキ用:Mini DV

■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。

■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。

■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。

■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。

■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。

■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。

■ ケースに入れて、立てて保管してください。

設置と準備の進めかた

自分で本機の接続を行うときは、次の順序に従ってください。

以上で設置と準備が終わりました。

- 他メーカー製のテレビを使いたいときや、2台以上のビクター製のビデオデッキを使いたいときに、設定が必要になります。
- BS放送を受信するには、BSアンテナ（別売）が必要になります。
- 通常は「一括チャンネル合わせ」を行えば、それでチャンネル設定は終了です。
- 必要ならば、「受信チャンネルを設定する」を個々のチャンネルに対して行います。(☞46ページ参照)
- 「一括チャンネル合わせ」だけでチャンネル設定を行ったときは、必要ありません。

付属品を確かめる

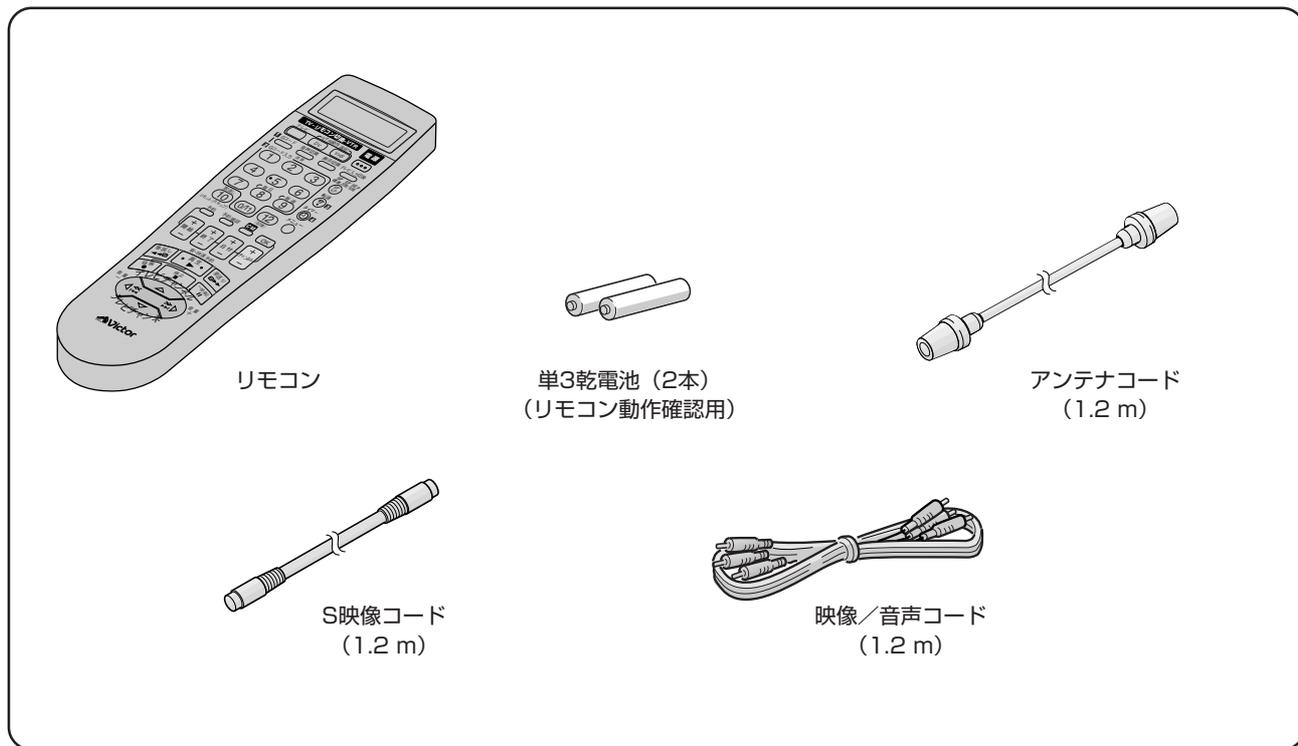
箱を開け、次の付属品が揃っているか確かめてください。

リモコン

単3乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

アンテナコード
（1.2 m）

S映像コード
（1.2 m）

映像／音声コード
（1.2 m）

乾電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れるときには、⊕と⊖の向きを表示通りに正しく入れてください。

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

お願い

乾電池についてのご注意

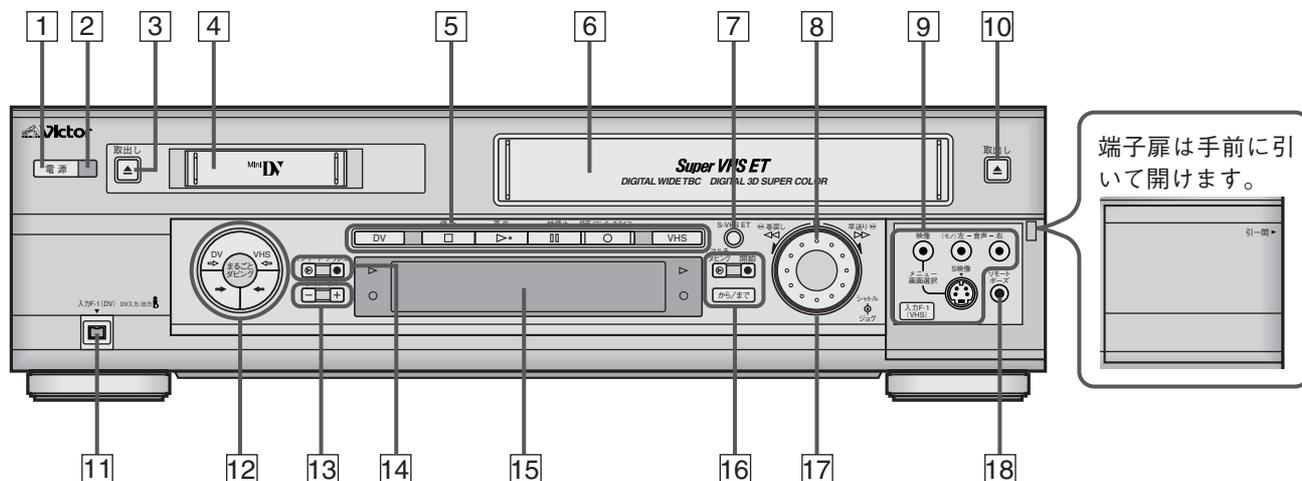
- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

乾電池を交換するときは

- 単3乾電池をご使用ください。
- 2本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 交換後、テレビの操作ができないときは、リモコンの設定をやり直してください(☞**24**ページ参照)。

各部の名称

(☞ページ)の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体前面

1 **電源ボタン**
電源を入／切します。

2 **リモコン受光部**
リモコンをここに向けて操作します。

3 **取出し(⏏)ボタン(DV用)**
ミニDVカセットを取り出すことができます。
(☞**57**ページ)

4 **ミニDVカセット挿入口**
ミニDVカセットを入れます。(☞**56**、**62**ページ)

5 **テープ操作部**

DVボタン
DVデッキが操作できるようになります。(☞**56**、**62**ページ)

停止(■)ボタン
録画や再生を止めます。(☞**56**、**63**ページ)

再生(▶)ボタン
テープの再生を始めます。(☞**56**ページ)

一時停止(❚❚)ボタン
再生中や録画中に押すと、一時停止します。
(☞**57**、**63**ページ)
一時停止中に、くり返し押すと、コマ送り再生ができます。
VHSデッキで再生中に、2秒以上押し続けるとスロー再生になります。

録画(●)／ワンタッチタイマーボタン
録画を始めます。(☞**62**ページ)
録画中に、くり返し押すと、録画時間を30分単位で設定できます。(☞**63**ページ)

VHSボタン
VHSデッキが操作できるようになります。(☞**56**ページ)

6 **VHSカセット挿入口**
VHSカセットを入れます。(☞**56**、**62**ページ)

7 **S-VHS ETボタン**
VHSテープにS-VHSの画質で録画するときに使います。
(☞**97**ページ)

8 **ジョグダイヤル**
再生中にジョグダイヤルを回すとコマ送り再生ができます。(☞**94**ページ)

9 **映像／音声入力F-1端子(VHSデッキ専用)**
ビデオムービーなどの映像をダビングしたいときにお使いください。

10 **取出し(⏏)ボタン(VHS用)**
VHSカセットを取り出すことができます。(☞**57**ページ)

11 **DV入力／出力端子(i-LINK*)**
デジタルビデオ機器のDV端子とつなぎます。(☞**82**、**85**ページ)
* i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。
ｉはi-Linkに準拠した商品につけられるロゴマークです。

12 **まるごとダビング➡／⬅ボタン**
➡：DVデッキで再生してVHSデッキで録画するときに押します。(☞**64**ページ)
⬅：VHSデッキで再生してDVデッキで録画するときに押します。(☞**64**ページ)

13 **チャンネル＋／－ボタン**
ビデオのチャンネルを切換えます。
VHSデッキのトラッキングの調節にも使用します。
(☞**95**ページ)

14 **編集ボタン**

アフレコボタン
アフレコをするときに使います。(☞**66**、**67**ページ)

インサートボタン
映像をインサートするときに使います。
(☞**68**、**69**、**87**ページ)

15 **本体表示窓**(☞**16**～**17**ページ)

16 **マルチダビング操作ボタン**

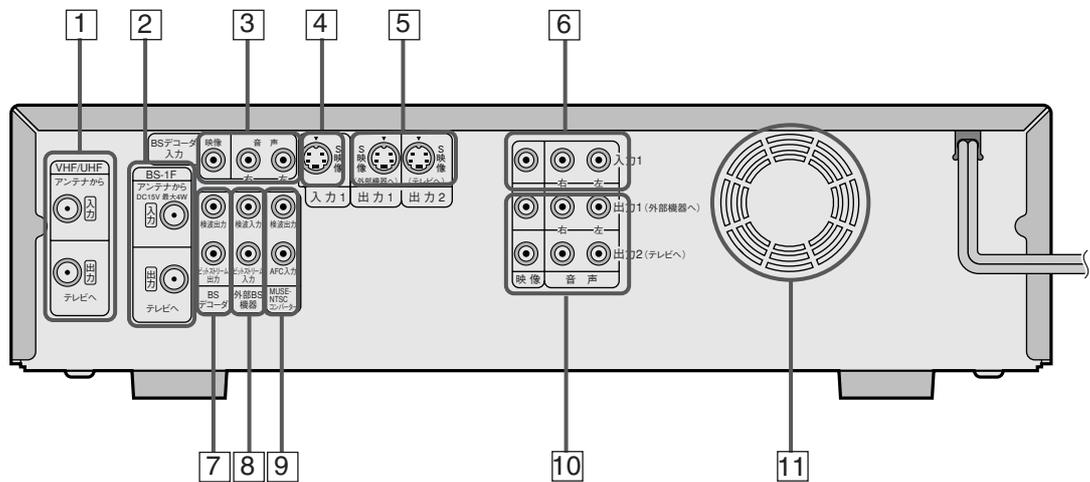
マルチダビングボタン
マルチダビングのダビングリストを表示させます。(☞**76**ページ)

開始ボタン
通常のダビング／編集のときに、録画／再生を始めたり、止めたりします。(☞**81**ページ)

から／までボタン
マルチダビング設定画面でタイムコードを設定します。
(☞**78**ページ)

17 **シャトルリング**
再生中にシャトルリングを回すと再生スピードが変わります。(☞**94**ページ)

18 **リモートポーズ端子(DV・VHS兼用)**
ビクター製のビデオムービーなどを接続して、テープをダビングや編集するときに使います。
再生プリロールには対応していません。

本体背面

1 **VHF／UHF入力端子**
VHF／UHFアンテナをつなぎます。（☞**26**ページ）

VHF／UHF出力端子
テレビのアンテナ入力端子とつなぎます。（☞**27**ページ）

2 **BS-IF入力端子**
BSアンテナをつなぎます。（☞**30**ページ）

BS-IF出力端子
BSテレビのBSアンテナ入力端子とつなぎます。
（☞**30**ページ）

3 **BSデコーダ入力端子**
BSデコーダーの映像／音声出力端子とつなぎます。
（☞**34**ページ）

4 **S映像入力1端子（DV・VHS兼用）**
映像／音声入力1端子のS映像端子です。
他のビデオデッキなどのS映像出力端子とつなぎます。
（☞**83**ページ）

5 **S映像出力1端子（外部機器へ）**
映像／音声出力1端子のS映像端子です。
他のビデオデッキなどのS映像入力端子とつなぎます。
（☞**22**ページ）。

S映像出力2端子（テレビへ）
映像／音声出力2端子のS映像端子です。
テレビのS映像入力端子とつなぎます。（☞**28**、**34**、**38**ページ）通常はこちらの端子にテレビのS映像入力端子をつないでください。

6 **映像／音声入力1端子（DV・VHS兼用）**
他のビデオデッキなどの映像／音声出力端子とつなぎます。（☞**83**ページ）

7 **BSデコーダー端子**
検波出力端子：BSデコーダーの検波入力端子とつなぎます。（☞**34**ページ）
ビットストリーム出力端子：BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。（☞**34**ページ）

8 **外部BS機器端子**
検波入力端子：BSテレビなどの検波出力端子とつなぎます。（☞**34**ページ）
ビットストリーム入力端子：BSテレビなどのビットストリーム出力端子とつなぎます。（☞**34**ページ）

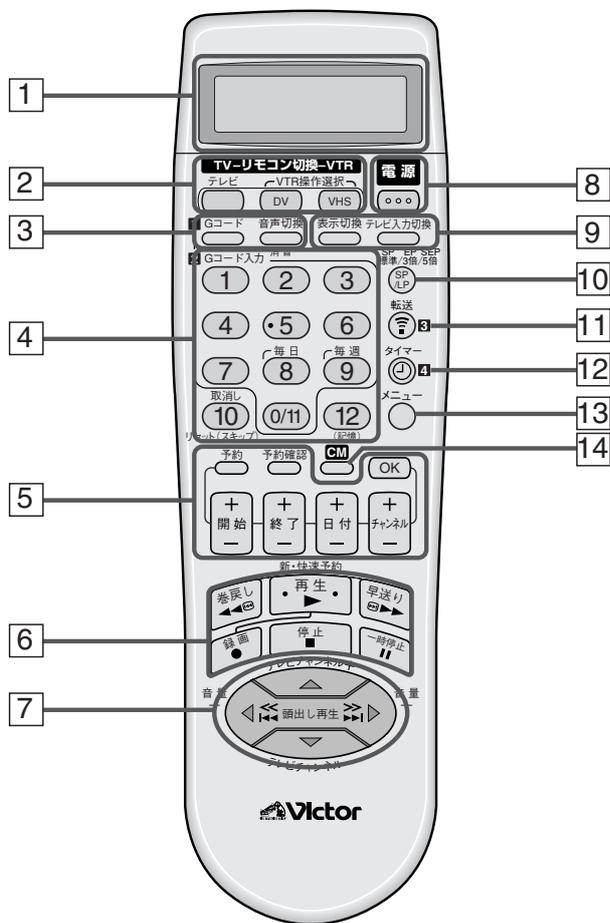
9 **MUSE-NTSCコンバーター端子**
検波出力端子：MUSE-NTSCコンバーターの検波入力端子とつなぎます。（☞**38**ページ）
AFC入力端子：MUSE-NTSCコンバーターのAFC出力端子とつなぎます。（☞**38**ページ）

10 **映像／音声出力1端子（外部機器へ）**
他のビデオデッキなどの映像／音声入力端子とつなぎます（☞**22**ページ）。

映像／音声出力2端子（テレビへ）
テレビの映像／音声入力端子とつなぎます（☞**28**、**34**、**38**ページ）。通常はこちらの端子にテレビの映像／音声入力端子をつないでください。

11 **通風孔**
内部にファンがありますので、ふさがないようにしてください。

（☞ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

リモコン

1 **液晶表示窓**
通常は操作できる機器（TVまたはVTR）とリモコンコード（A〜D）を表示します。Gコード予約をするときは、入力したGコード番号と録画スピードSP/EPを表示します。

2 **リモコン切換（ビデオ用（DV／VHS）／テレビ用）ボタン**
- VHSビデオを操作するときは、VHS ボタンを押します。
- DVビデオを操作するときは、DV ボタンを押します。
- テレビを操作するときは、テレビボタンを押します。

3 **Gコードボタン／音声切換ボタン**

Gコードボタン（☞70ページ）
Gコードを入力するときに押します。

音声切換ボタン（☞90ページ）
聞きたい音声を選びます。

4 **チャンネル切換ボタン／メーカー指定ボタン／Gコード入力ボタン（0〜9）**
- ビデオ、テレビのチャンネルを切り換えます。
- お使いのテレビメーカーを指定して、本機のリモコンでテレビを操作できるようにします。（☞24ページ）
- Gコードを入力するときに使います。（☞70ページ）

5 **新・快速予約設定ボタン**
- 録画予約を設定します。（☞72ページ）
- チャンネル＋／−ボタンでビデオチャンネルを切り換えます。（☞60、62ページ）

予約ボタン（☞72ページ）
録画予約をはじめるときに使います。

予約確認ボタン（☞74ページ）
録画予約を確認したいときに押します。

6 **テープ操作ボタン（☞56、62ページ）**
巻戻し（◀◀）、再生（▶）、早送り（▶▶）録画（●）、停止（■）、一時停止（❚❚）

7 **メニュー選択▲／▼／◀／▶ボタン**
- メニュー項目を選択します。（☞21ページ）
- VHSテープの頭出し再生（❙◀◀／▶▶❙）をします。（☞88ページ）
- VHSデッキの可変速再生（≪／≫）をします。（☞94ページ）
- テレビ音量調節（＋／−）をします。（☞24ページ）

8 **電源ボタン**
リモコン切換で選択された機器の電源を入／切します。

9 **テレビ入力切換／表示切換**

テレビ入力切換ボタン（☞24ページ）
- テレビの入力を切り換えます。

表示切換ボタン
- 表示窓やテレビ画面のカウンター／残量／時計表示などを切り換えます。（☞59ページ）

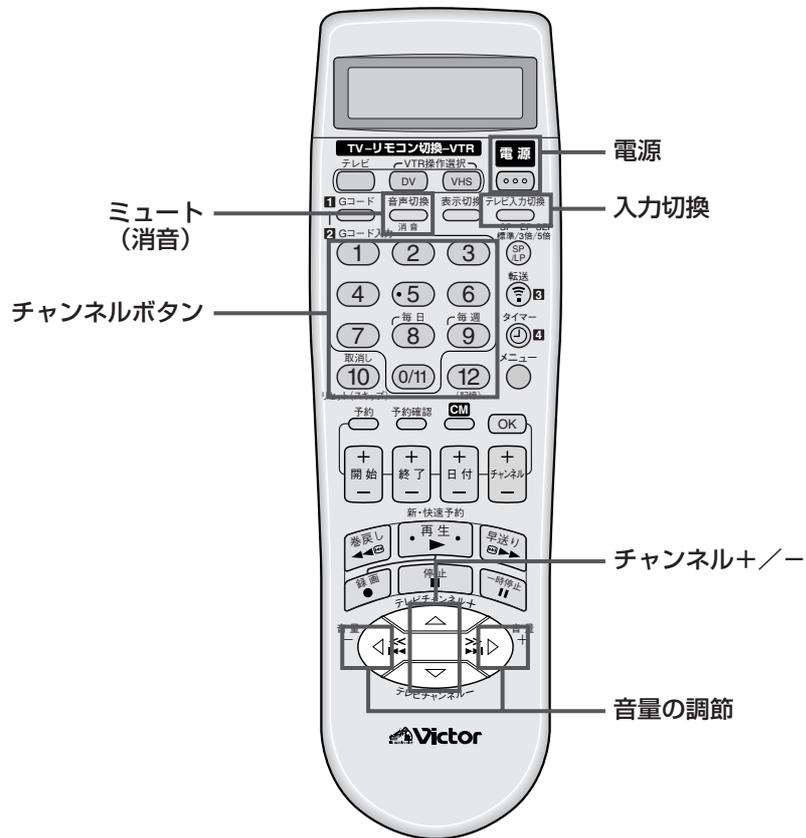
10 **標準／3倍／5倍録画スピードボタン（☞62ページ）**
録画スピードを選びます。（☞62ページ）
DVデッキが選ばれているときは、このボタンを押すと、録画スピード「標準（SP）」または「1.5倍（LP）」を選ぶことができます。

11 **転送ボタン（☞70ページ）**
入力したGコードを本体に転送するときに押します。

12 **タイマーボタン（☞71、73ページ）**
録画予約を設定／解除します。

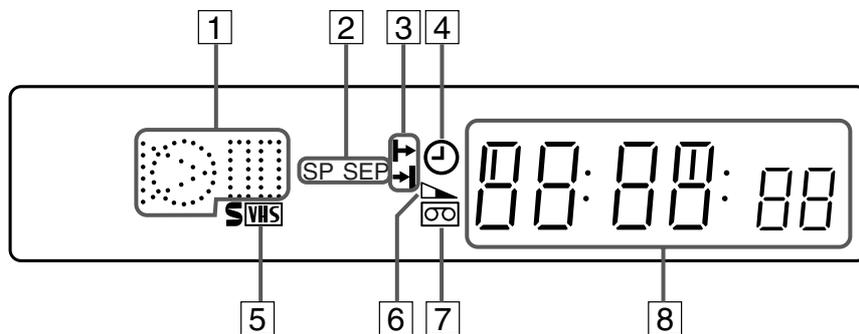
13 **メニューボタン（☞21ページ）**
メニューを表示したり、終了します。

14 **CMボタン**
- VHSデッキで再生中に押すと、30秒単位で（最長2分まで）早送りします。（☞92ページ）
- 録画する前に押すと、録画中にコマーシャルを自動的にカットして録画します。（☞96ページ）

テレビ操作ボタン

●テレビの設定は☞24ページをご覧ください。

各部の名称（つづき）

（☞ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体表示窓 － VHSデッキ選択時

1 **テープ走行表示**
▷ ：再生中に点灯します。
○ ：録画中に点灯します。ワンタッチタイマー録画中は点滅します。
⧐ ：インサート中に点灯します。
⧐ ：アフレコ中に○が点滅します。
▯▯ ：一時停止中に点灯します。

2 **録画スピード表示（☞62ページ）**
SP ：録画スピードが「標準」のとき点灯します。
EP ：録画スピードが「3倍」のとき点灯します。
SEP ：録画スピードが「5倍」のとき点灯します。

3 **開始／終了時刻表示**
表示窓で録画予約の確認をしているときに、開始時刻がカウンターに表示されているときは「↦」、終了時刻が表示されているときは「→|」が表示されます。（☞75ページ）

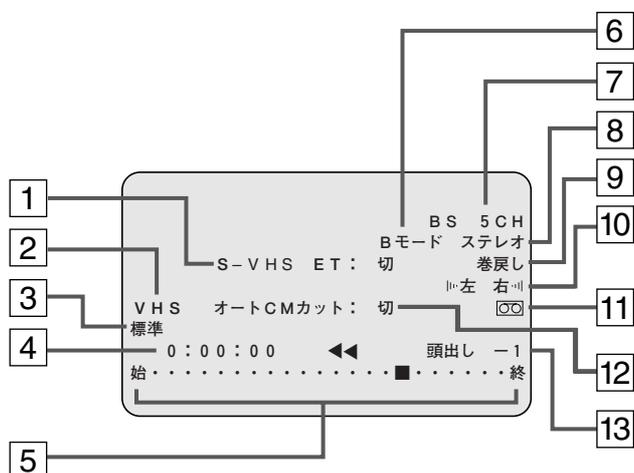
4 **タイマー（◷）表示**
予約録画待機中のときに点灯します。（☞75ページ）

5 **S-VHS表示**
S-VHSモードで記録ができるときに点灯します。（☞97ページ）

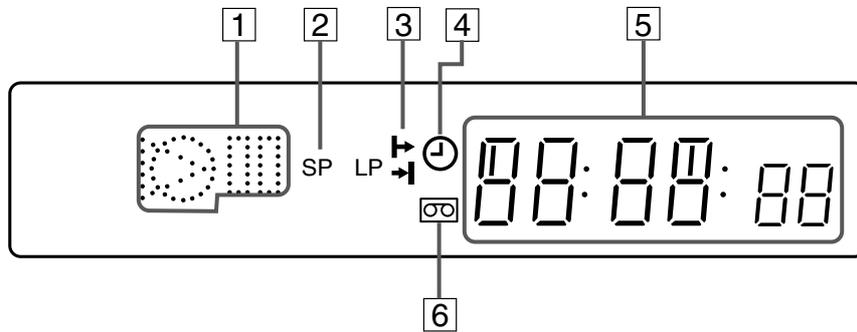
6 **テープ残量（◣）表示**
テープ残量が表示されているときに点灯します。（☞59ページ）

7 **カセット（▭）表示**
VHSデッキにカセットが入っているときに点灯します。

8 **カウンター／チャンネル表示**
テープの走行時間、残量、時計やチャンネル番号などが表示されます。（☞59ページ）

テレビ画面表示 － VHSデッキ使用時

1 S-VHS ET（☞97ページ）
2 VHSデッキ（☞56ページ）
3 録画スピード（☞62ページ）
4 カウンター（☞59ページ）
5 テープ走行位置
6 BS音声モード（☞61ページ）
7 チャンネル番号
8 受信放送の音声（☞90ページ）
9 テープ走行
10 音声出力（☞90ページ）
11 カセット
12 オートCMカット（☞96ページ）
13 頭出し番号（☞88ページ）

●メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときに表示される内容です。（☞22ページ）
左の表示が同時にすべて表示されることはありません。

本体表示窓 ー DVデッキ選択時

1 **テープ走行表示**

▷ ： 再生中に点灯します。
○ ： 録画中に点灯します。ワンタッチタイマー録画中は点滅します。
▯▯ ： 一時停止中に点灯します。
⧐ ： アフレコ中に点灯します。
⧐ ： インサート中に点灯します。

2 **録画スピード表示(☞62ページ)**

SP ： 録画スピードが標準のとき点灯します。
LP ： 録画スピードが標準の1.5倍のとき点灯します。

3 **開始／終了時刻表示**

表示窓で録画予約の確認をしているときに、開始時刻がカウンターに表示されているときは「↦」、終了時刻が表示されているときは「⇥」が表示されます。(☞**75**ページ)

4 **タイマー(◷)表示**

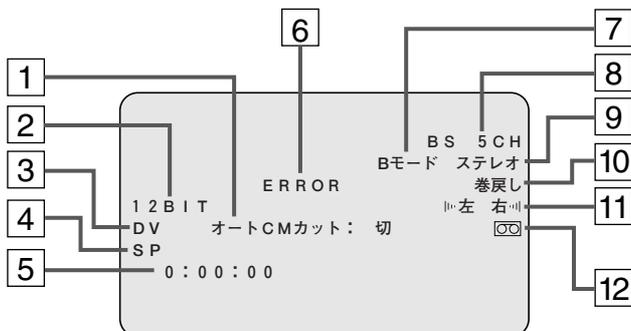
予約録画待機中のときに点灯します。(☞**71**ページ)

5 **タイムコード／チャンネル表示**

タイムコード、時計やチャンネル番号などが表示されます。

6 **カセット(▭)表示**

DVデッキにカセットが入っているときに点灯します。

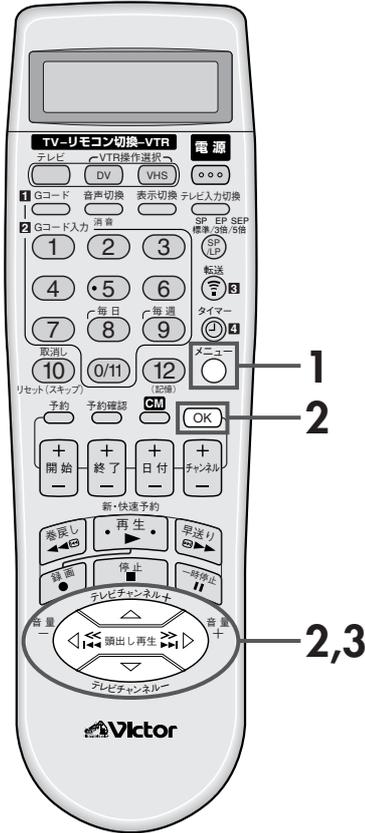
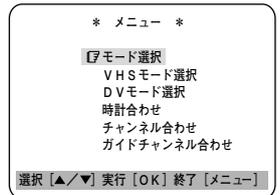
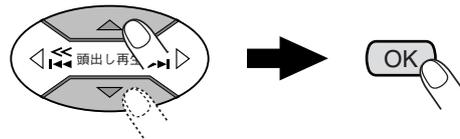
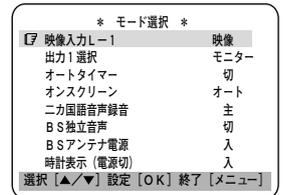
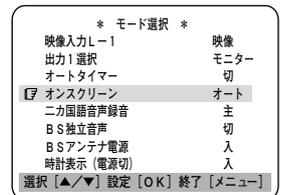
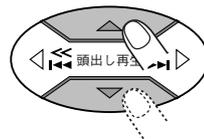
テレビ画面表示 ー DVデッキ使用時

1 **オートCMカット**(☞**96**ページ)
2 **音声モード**(☞**23**ページ)
3 **DVデッキ**(☞**56**ページ)
4 **録画スピード**(☞**62**ページ)
5 **タイムコード**(☞**59**ページ)
6 **エラーメッセージ**(☞**70**ページ)
7 **BS音声モード**(☞**61**ページ)
8 **チャンネル番号**
9 **受信放送の音声**(☞**91**ページ)
10 **テープ走行**
11 **音声出力**(☞**91**ページ)
12 **カセット**

● メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときに表示される内容です。(☞**22**ページ)
左の表示が同時にすべて表示されることはありません。

画面に表示を出したくないときは

ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないよう「切」にします。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

☞を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「オンスクリーン」を選ぶ

- オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - 録画一時停止状態のとき
  - 青い画面（ブルーバック）のとき
  - リモコンのCMボタンを押したとき（☞96ページ）
  - S-VHS ETボタンを押したとき（☞97ページ）

4 [OK]を押して、「切」を選ぶ

＊ モード選択 ＊

映像入力L－1	映像
出力1選択	モニター
オートタイマー	切
オンスクリーン	切
ニカ国語音声録音	主
ＢＳ独立音声	切
ＢＳアンテナ電源	入
時計表示（電源切）	入

選択［▲／▼］設定［ＯＫ］終了［メニュー］

5 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

画面表示（つづき）

メニュー画面一覧

メインメニュー

モード選択画面

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

VHSモード選択（1ページ目）

＊　ＶＨＳモード選択　＊	
テーププレベルアップ	入
インテリジェントピクチャー	オートピクチャー
映像入力Ｆ－１	映像
ぴったり録画	切
ブルーバック	入
ＴＢＣ	入
Ｖスタビライズ	切
次ページへ	

選択［▲／▼］設定［ＯＫ］終了［メニュー］

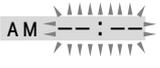
・VHSモードでの設定を変えるときに使用する画面です。

DVモード選択画面

・DVモードでの設定を変えるときに使用する画面です。

時計合わせ画面

＊　時計合わせ　＊

ＡＭ－－：－－

１月　１日　２０００年　土曜日

ぴったり　３チャンネル

設定［▲／▼］移動［ＯＫ］終了［メニュー］

・ビデオ本体の時計を合わせるときに使用する画面です。

VHSモード選択（2ページ目）

前ページへ	
Ｓ－ＶＨＳテープ記録	Ｓ－ＶＨＳ
映像設定	シャープ
ミックス音声	切

選択［▲／▼］　設定［ＯＫ］　終了［メニュー］

・VHSモードでの設定を変えるときに使用する画面です。

チャンネル合わせ画面

＊　チャンネル合わせ　＊

一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

・受信チャンネルを設定するときに使用する画面です。

ガイドチャンネル合わせ画面

＊　ガイドチャンネル合わせ　＊

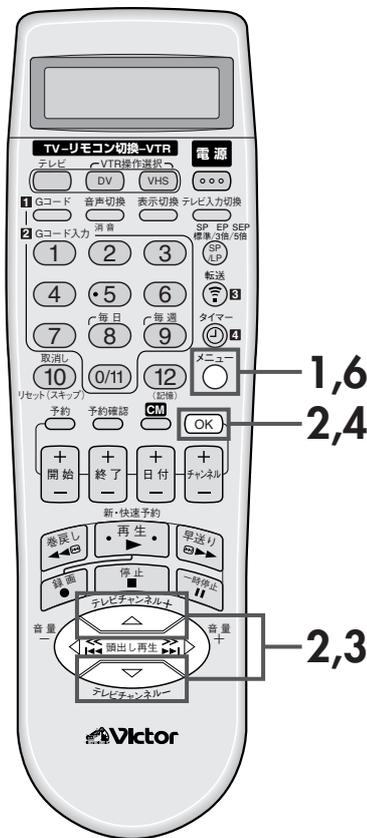
ガイドチャンネル　：　１
チャンネル表示　：　２２

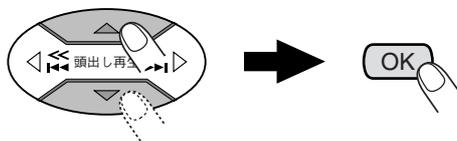
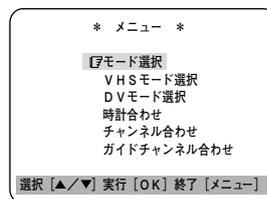
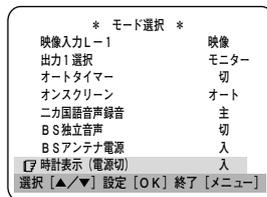
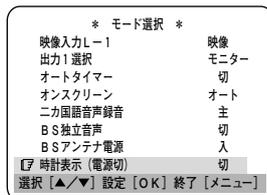
ガイドチャンネル設定［▲／▼］［０－９］
チャンネル表示変更／記憶［ＯＫ］
終了［メニュー］

・ガイドチャンネルを設定するときに使用する画面です。

お買い上げ時の設定を変える

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

☞を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、設定を変えたい項目を選ぶ

4 [OK]を押して、設定を変える

5 必要に応じて、手順3と4をくり返し、他の設定も変更する

6 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

「モード選択画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

映像入力L-1	映像	背面の映像入力端子（L-1）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	背面のS映像入力端子（L-1）の信号を入力するときは「S映像」にします。
出力1選択	モニター	使用しているデッキを選んで背面の映像／音声出力1から出力します。画面表示も出力します。
	VHS	常にVHSデッキの信号を背面の映像／音声出力1から出力します。画面表示は出力しません。
	DV	常にDVデッキの信号を背面の映像／音声出力1から出力します。画面表示は出力しません。
オートタイマー	切	通常は「切」にしてください。
	入	予約待機中にビデオを使用したいとき、タイマーボタンを押して⏲表示を消さなくても、ビデオの電源を入れるだけで操作できます。操作後、ビデオの電源を切ると自動的に予約待機常態になります。タイマーボタンの操作を忘れがちな方に便利です。
オンスクリーン	オート	ビデオ操作時に、操作の内容を約5秒間、テレビ画面に表示します。
	入	常時、カウンター（または残量／時計／チャンネル）を表示します。
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように「切」にします。
二カ国語音声録音	主	二カ国語放送のとき主音声（日本語など）だけを録音します。
	主＊副	二カ国放送のときは主音声と副音声の両方を録音します。外国語を録音するときは「主＊副」にします。再生・録画時に音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。
BS独立音声	切／入	BS放送の独立音声を聞きたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。
BSアンテナ電源	切／入	本機からBSアンテナに電源を供給しないときは「切」、供給するときは「入」にします。
時計表示 （電源切）	入／切	本機の電源が「切」のとき、時計を表示させたくないときは「切」にします。 通常は「入」にしてください。

● モード選択画面の「時計表示（電源切）」を「切」に設定した時は、
「予約確認」および「Gコード録画予約」は、できません。

「VHSモード選択画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

項目	設定	内容
テープレベルアップ	入／切	テープに合わせた最適な状態で録画・再生したいときに「入」にします。
インテリジェントピクチャー	オートピクチャー	通常は、このポジションでお使いください。
	ダビング	ダビングするときに選択します。
	ソフト	レンタルビデオなどでノイズが目立つときに選択します。
	アニメ	アニメーションなどを再生するときに選択します。
映像入力F-1	映像	前面の映像入力端子（F-1）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	前面のS映像入力端子（F-1）の信号を入力するときは「S映像」にします。
ぴったり録画	切／入	標準モードでタイマー録画中にテープが不足する場合、途中で自動的に3倍モードに切り換わり、録画切れを防ぎます。 120分テープに2時間以上の番組を収めたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。 DV記録時は、ぴったり録画は働きません。
ブルーバック	入	放送のないチャンネルは青い画面（ブルーバック）になります。
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」にします。
TBC	入／切	テープの伸びや変形などでおこる再生画像の横揺れや画面の曲りを補正して安定した画面で再生します。ダビング時や何度も繰り返し使用したテープを再生するときに「入」にします。 通常は「入」にしてください。
Vスタビライズ	切／入	S-VHS/VHSで録画したテープを再生中に画面が上下に揺れるときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。
S-VHSテープ記録	S-VHS	S-VHSテープにはS-VHS記録、VHSテープにはVHS記録します。
	VHS	S-VHSテープにVHS記録するときは、「VHS」にします。
映像設定	シャープ	再生する映像の輪郭をクリックさせます。 通常は「シャープ」にしてください。
	ノーマル	ノイズが目立つときは「ノーマル」にします。
ミックス音声	切／入	Hi-Fi音声とノーマル音声の両方を聞きたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。

「DVモード選択画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

項目	設定	内容
音声モード	12BIT	録画するときの音声モードの設定です。 録画したあとでアフレコをすることができます。
	16BIT	高画質で録音します。アフレコはできません。
12BIT音声	音声1	録画時の音声をステレオ音声で再生します。
	音声2	アフレコ音声をステレオ音声で再生します。
	フル音声	録画時の音声とアフレコ音声をミックスして同時にステレオ音声で再生します。

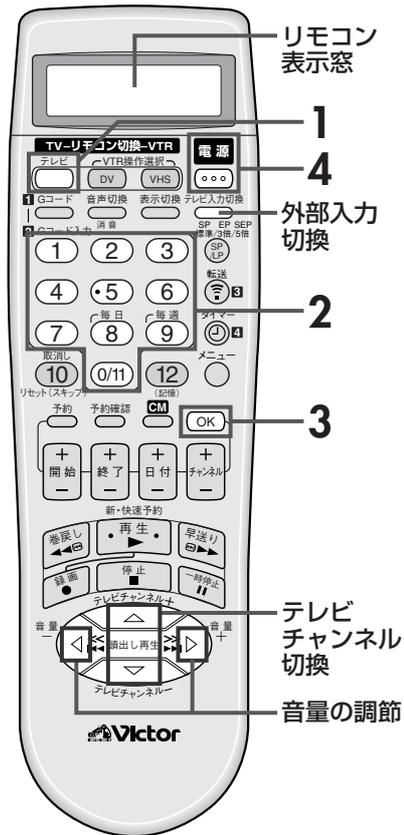
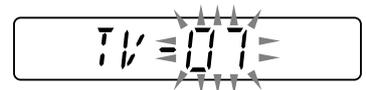
リモコンでビクター製以外のテレビを操作する

他のメーカーのテレビを操作できるようにする

本機のリモコンで、国内メーカー12社のテレビを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作（電源の入/切、チャンネルの切換、外部入力の切換、音量の調節）ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

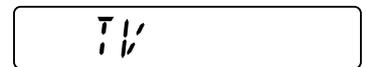
準備
- テレビの電源を切っておきます。

1 [テレビ]を2秒以上押す

（2秒以上押し続ける）

2 数字ボタンを押し、メーカー番号（2桁）を入力する

メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号
ビクター	01	日立	06	パイオニア	11
松下	02, 03	東芝	07	NEC	12
三菱	04	三洋	08, 09	フナイ	13
ソニー	05	シャープ	10	アイワ	14

3 [OK]を押す

4 [電源]を押す

- 本機のリモコンの電源ボタンを押して、テレビの電源が入れば、設定は完了です。テレビの電源が入らないときは、もう1度同じ操作をしてみてください。
- 松下製や三洋製のテレビをお使いのときは、もうひとつのメーカー番号を入力してみてください。

ご注意

- テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

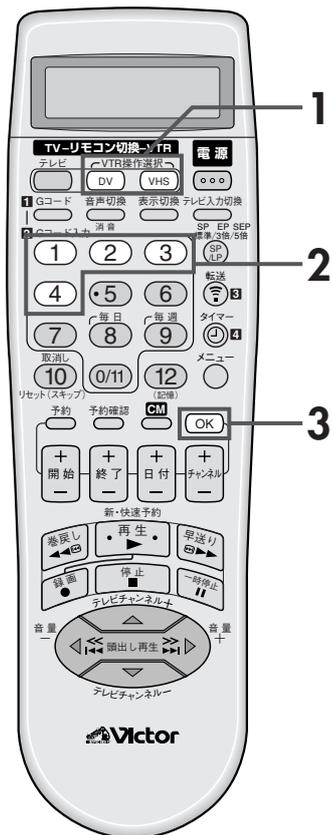
お願い

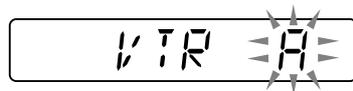
- リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう1度設定し直してください。

他のビクタービデオを操作する

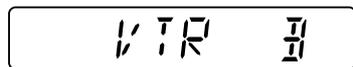
リモコンコードを変更する

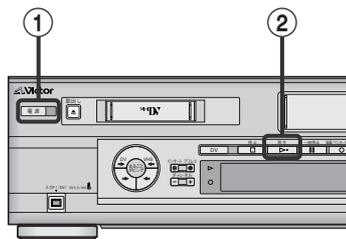
お買い上げ時には、本機のリモコンは「Aコード」に設定されています。
他のビクタービデオをお使いになるときは、それぞれのリモコンコードを別のコード（A～D）にしてください。ビデオ操作するときに、他が同時に同じ働きをすることはありません。

例　Bコードに設定する

1 [DV]または[VHS]を2秒以上押す

（2秒以上押し続ける）

2 [2]を押す

- 「Aコード」～「Dコード」に変更するときは、1～4ボタンを押す

3 [OK]を押す

お願い

- リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。
（VTR Aに戻ります。）
電池を交換したときなどは、もう1度設定し直してください。

本体側の設定

① 本体の[電源]を押して、電源を切る

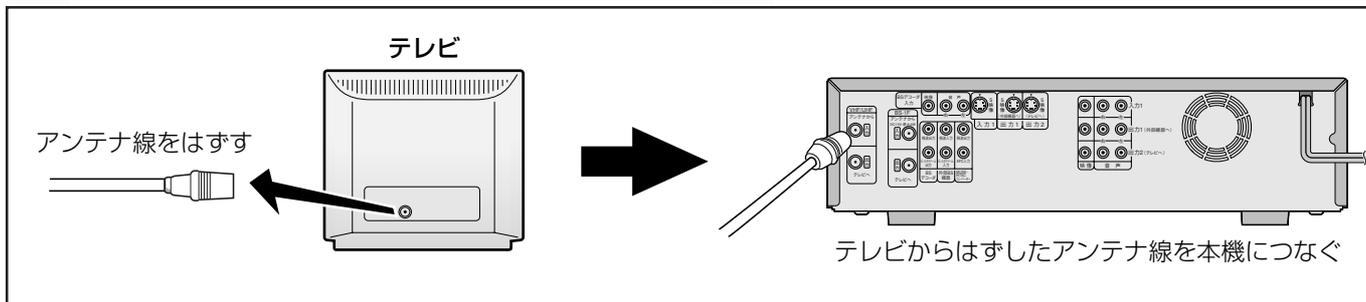
② 本体の[再生]を5秒間押す
- 本体表示窓に「A」が表示されます。

③ リモコンのボタン（何でも良い）を押す
- リモコンで設定したコード（この場合は「B」）が点滅して本体に設定されます。

本機にアンテナとテレビを接続する

1 アンテナ線をテレビからはずす

● はずしたアンテナ線の形を確認してください。

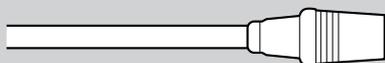
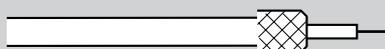
2 アンテナ線を本機につなぐ

はずしたアンテナ線によって接続のしかたが異なります。

●75Ω同軸ケーブル(プラグ付き)

VHF/UHF アンテナから 入力
出力 テレビへ

●75Ω同軸ケーブル(プラグなし)

アンテナ変換器(別売：VZ-71A)

アンテナ変換器の取り付けかたは、**28**ページをご覧ください。

●フィーダー線 と ●75Ω同軸ケーブル(プラグ付き)

フィーダー線の取り付けかたは、**28**ページをご覧ください。

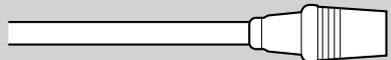
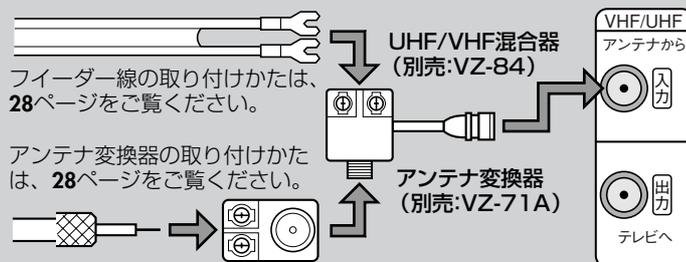
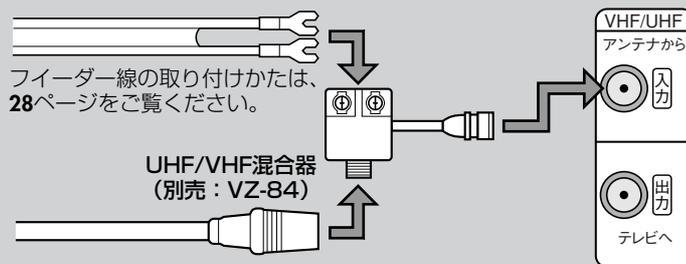
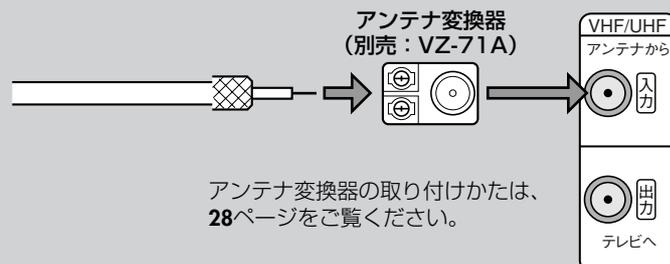
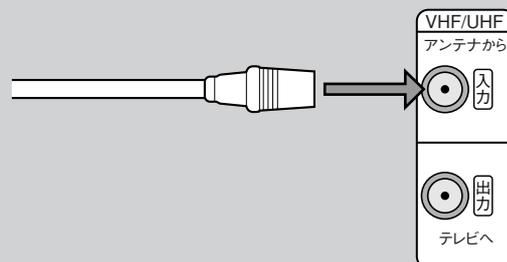
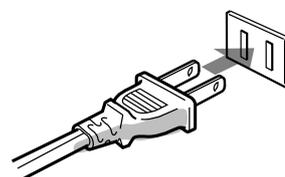
UHF/VHF混合器(別売：VZ-84)

●フィーダー線 と ●75Ω同軸ケーブル(プラグなし)

フィーダー線の取り付けかたは、**28**ページをご覧ください。

アンテナ変換器の取り付けかたは、**28**ページをご覧ください。

UHF/VHF混合器(別売:VZ-84)

アンテナ変換器(別売:VZ-71A)

電源プラグはすべての接続が終了してから、壁のコンセントに差し込みます。

映像入力端子のないテレビをお使いのかたは、別売のRFモジュレーターユニットUB-450が必要です。

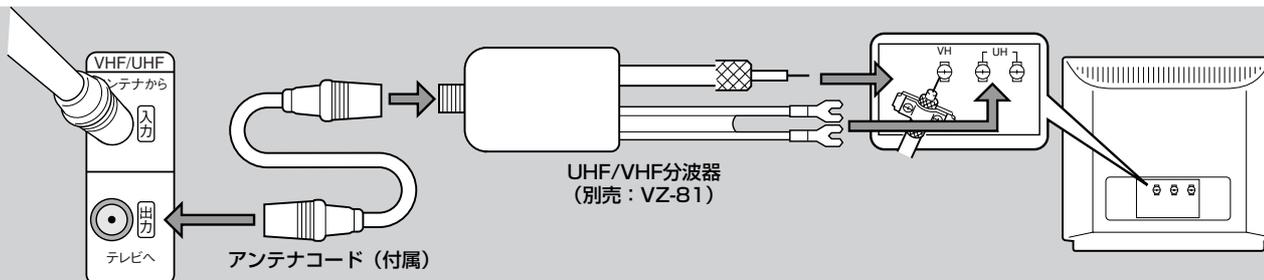
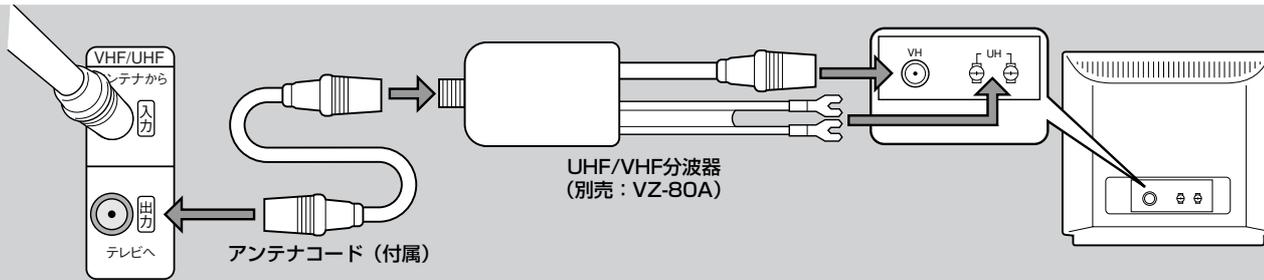
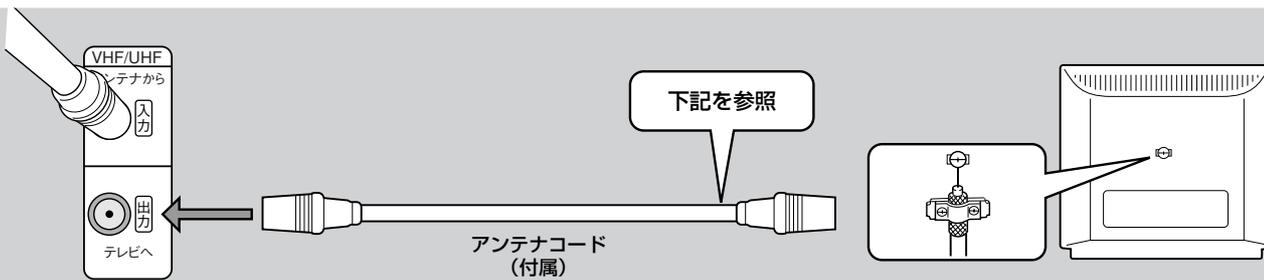
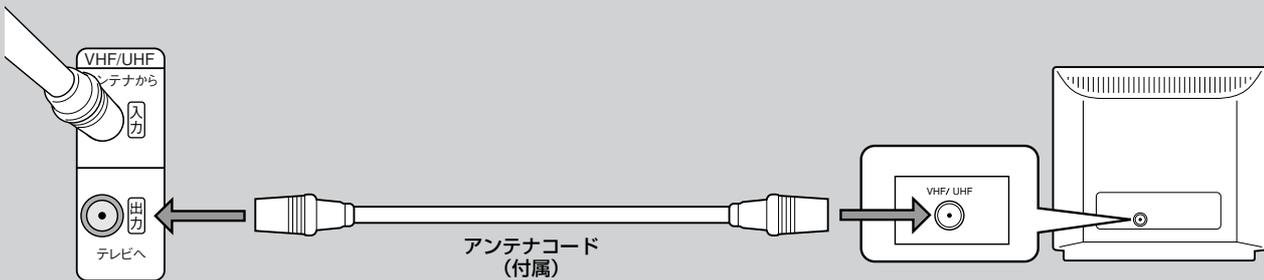
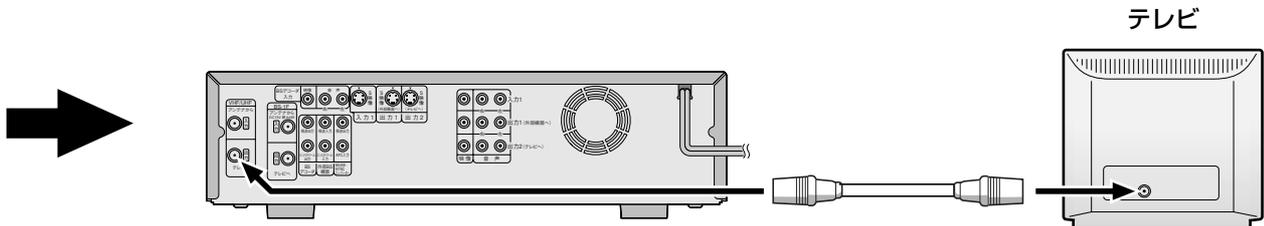
3 本機とテレビをつなぐ

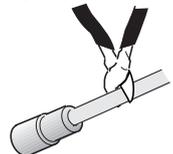
次のページも続けてご覧ください。

VHF/UHF
アンテナから
入力
出力
テレビへ
VHF/ UHF
アンテナコード
（付属）

VHF/UHF
アンテナから
入力
出力
テレビへ
下記を参照
アンテナコード
（付属）

VHF/UHF
アンテナから
入力
出力
テレビへ
VH
UH
UHF/VHF分波器
（別売：VZ-80A）
アンテナコード（付属）

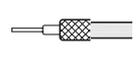
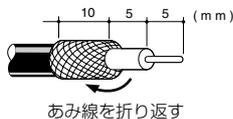
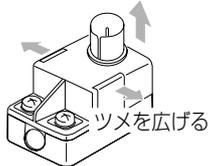
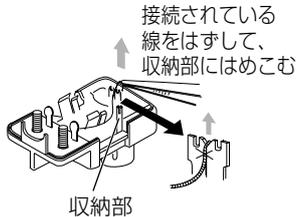
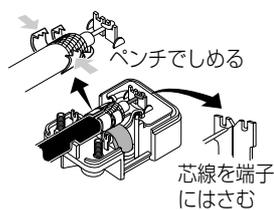
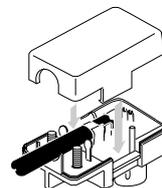
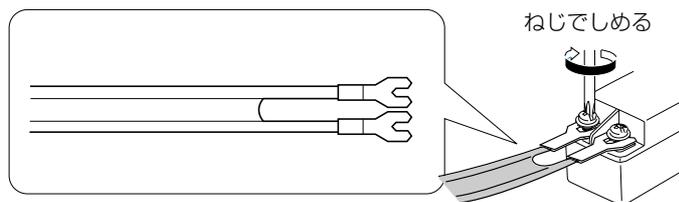
VHF/UHF
アンテナから
入力
出力
テレビへ
VH
UH
UHF/VHF分波器
（別売：VZ-81）
アンテナコード（付属）

本機に付属のアンテナコードを加工するときは

切断する。

外側のゴムにすじを入れ、切り取る。

網線を折り返す。

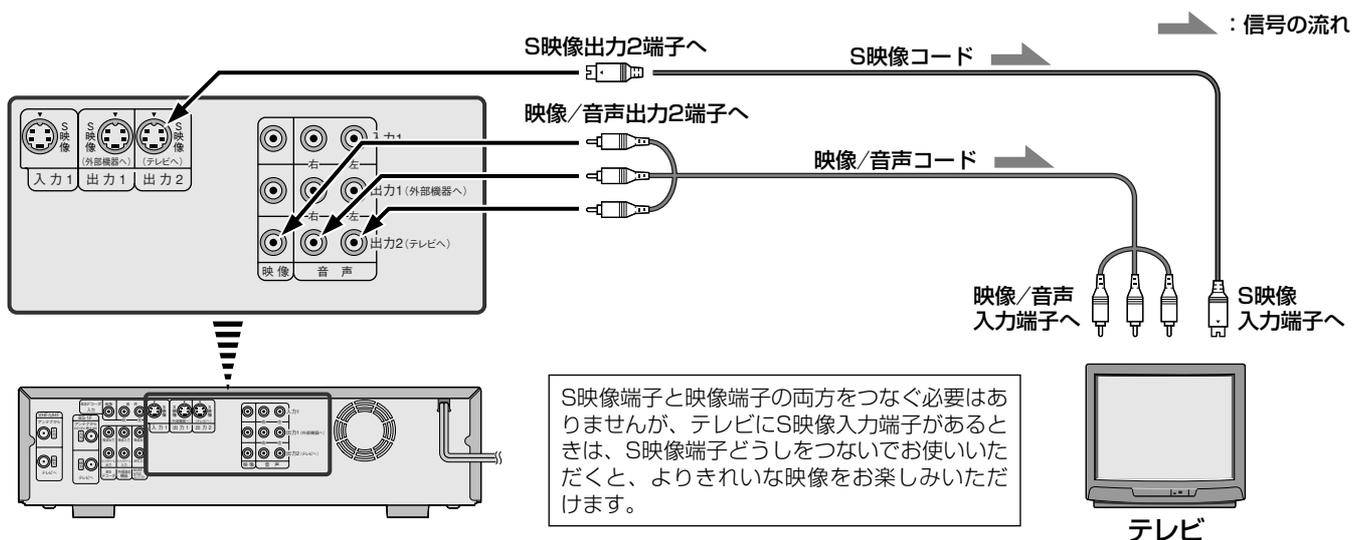
芯線を傷つけないように。

芯線を出し、テレビに接続する。

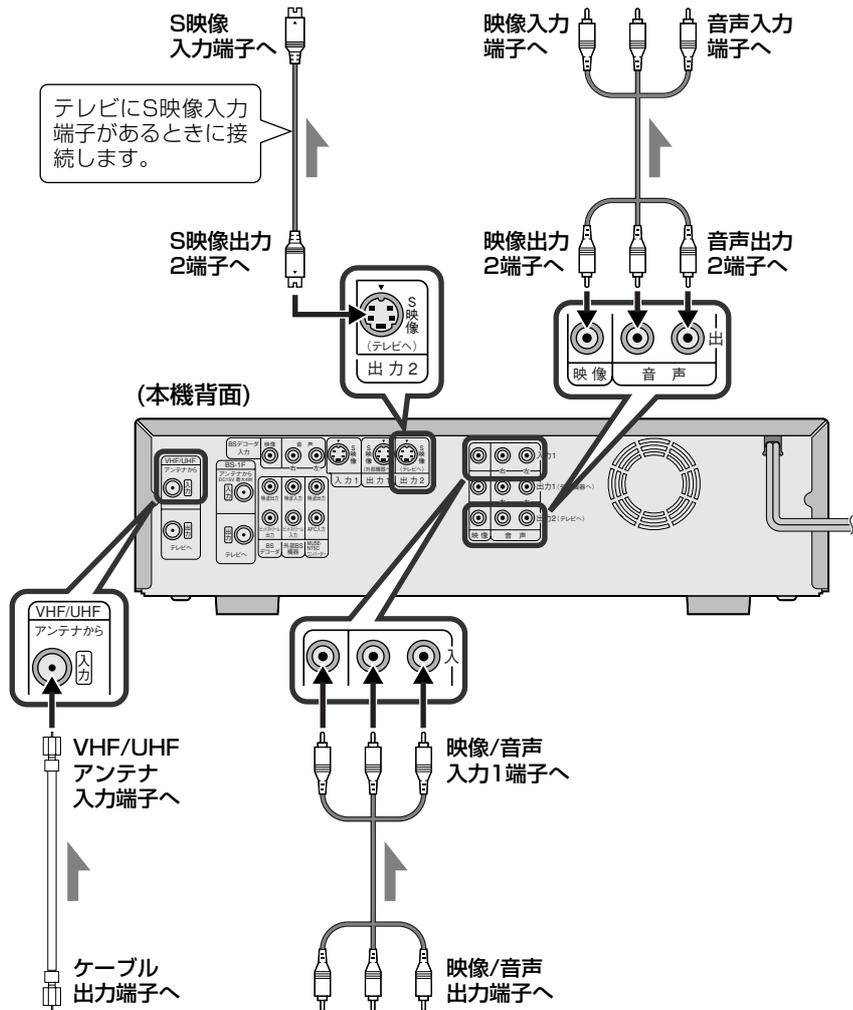
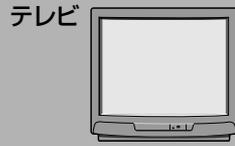
設置と準備

■ アンテナ変換器や混合器の使いかた

映像／音声端子につなぐ

テレビの映像/音声入力端子と本機の映像/音声出力2（テレビへ）端子とつないでください。

ビデオを見るときは、テレビで本機をつないでいる「外部入力」を選びます。
- 「外部入力」の選びかたは、お持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

S映像端子と映像端子の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビにS映像入力端子があるときは、S映像端子どうしをつないでお使いいただくと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

- 映像／音声出力2端子からは、本機で選んでいるチャンネル、または使用中のデッキ（DVまたはVHS）の信号を常に出力します。
- 映像／音声出力1端子にテレビをつないだ場合は、メニューで「出力1選択」を「モニター」にしてください（☞**22**ページ参照）。「DV」または「VHS」に設定されていると、どちらか一方のデッキの信号しか出力されず、画面表示も出ません。

CATVを接続する

図のように、ホームターミナル(アダプター)を接続してください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書もご覧ください。

CATV放送を受信するには

1. F型コネクター付き同軸ケーブル(別売)で本機のVHF/UHFアンテナ入力端子とホームターミナルまたはCATVチューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できるCATV放送を空いているチャンネルに割り当てます。(☞**108**ページ)

CATV放送を見るときは

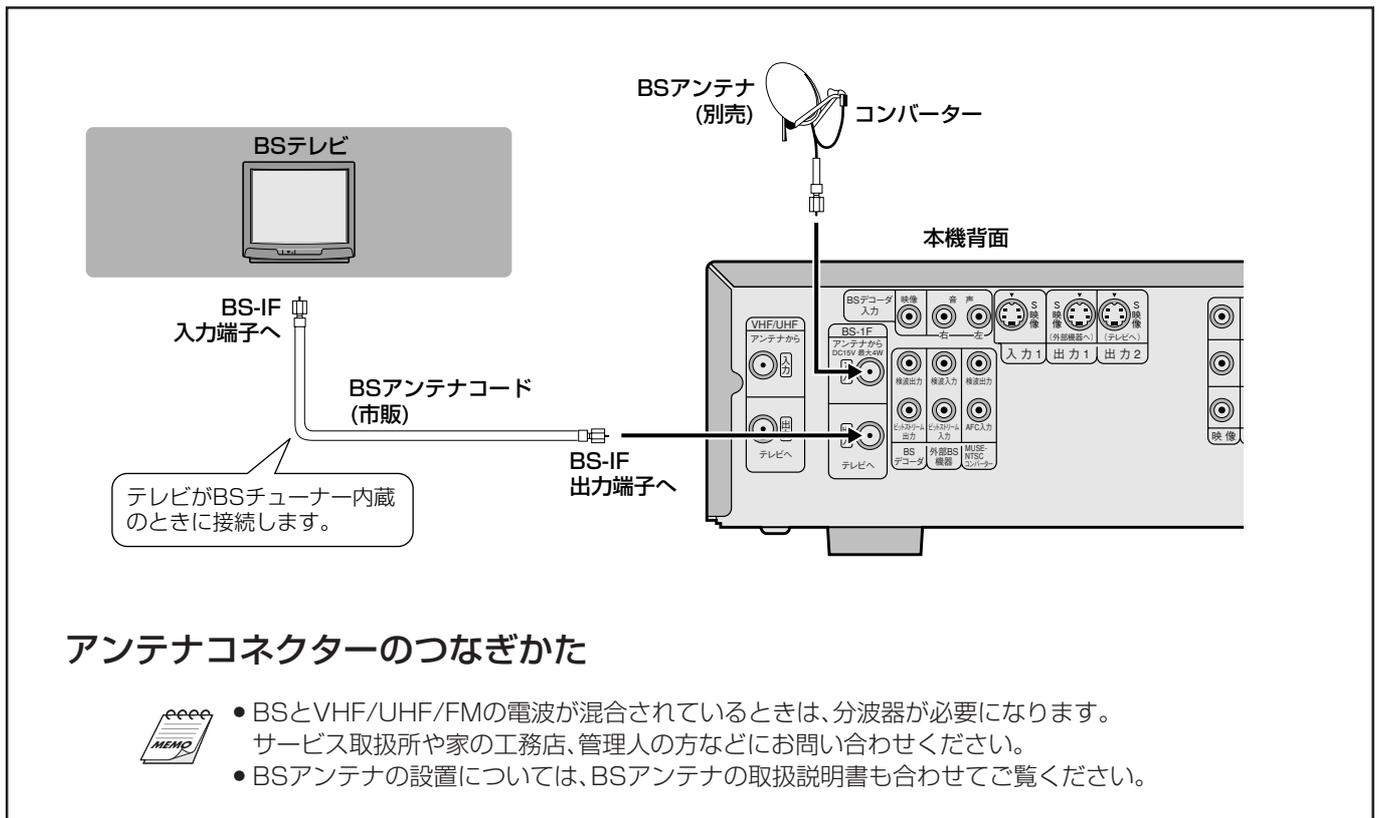
1. ホームターミナルで受信したいチャネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。
   前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

BSアンテナを接続する

BS(衛星)放送を受信するには、専用のBSアンテナ(別売)が必要になります。

BS(衛星)放送について
日本の西南、赤道上空約36、000kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成12年9月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。
BS5チャンネルはJSB(日本衛星放送株式会社)がWOWOWを、SDAB(衛星デジタル音楽放送株式会社)がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用のBSデコーダーが必要になります(☞34ページ参照)。
BS9チャンネルはハイビジョン放送をしています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSE-NTSCコンバーターが必要になります(☞38ページ参照)。2000年12月より開始予定のBSデジタル放送を受信するには、BSデジタルチューナーが必要になります。

アンテナコネクターのつなぎかた

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
  サービス取扱所や家の工務店、管理人の方などにお問い合わせください。
- BSアンテナの設置については、BSアンテナの取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。(☞31〜32ページ参照)

1. メニューで「BSアンテナ電源」を設定する
2. 放送されているBSチャンネルを選ぶ
3. BSアンテナの向きを調節する

BSアンテナに電源を供給する

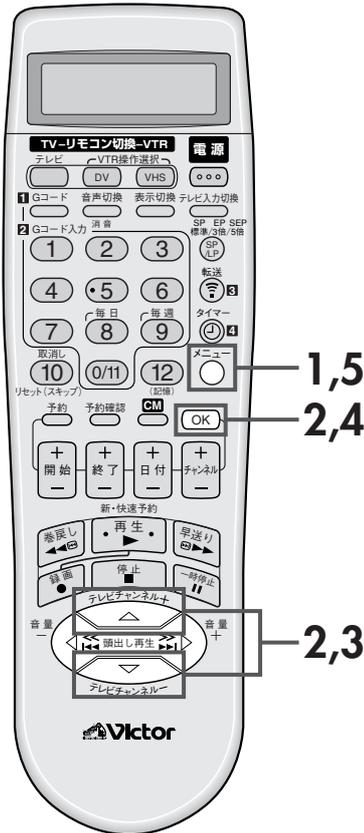
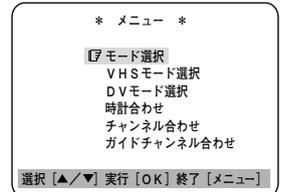
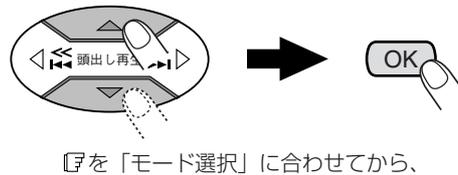
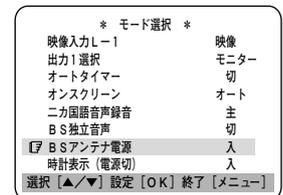
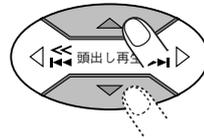
BSアンテナの接続後に、以下の設定が必要になります。
BSアンテナの電源を本機から供給するかどうかを設定します。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

☞を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「BSアンテナ電源」を選ぶ

4 [OK]を押して、「入」を選ぶ

- 押すたびに、設定の「入／切」が切り換わります。

切　BS放送を共同受信しているとき(アンションなど)。
本機からはBSアンテナに電源を供給しません。

入　BS放送を個別で受信しているとき。
本機からBSアンテナに電源を供給します。

分波器などをお使いのとき

- 本機の他にもBS機器を使っていて、分波器などをお使いのときは、本機にBSアンテナを接続して、メニューの「BSアンテナ電源」を「入」に、他機の設定は「切」にしてお使いください。

5 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

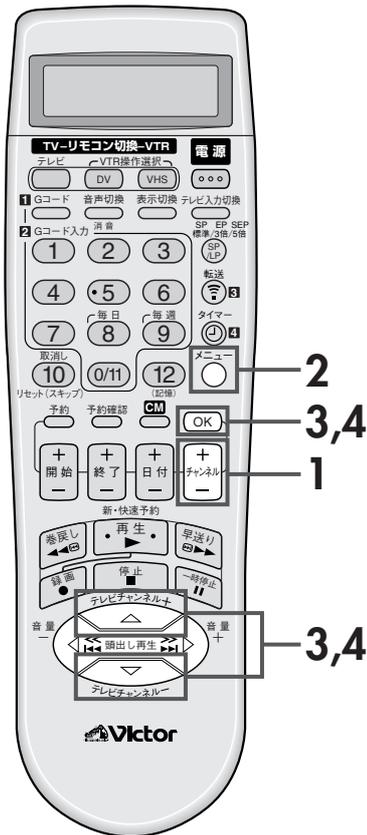
設置と準備

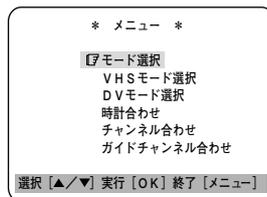
BSアンテナを接続する（つづき）

BSアンテナの向きを調節する

BS入力レベルの表示を見ながら、BSアンテナが正しく衛星の方向をむくように調節してください。
BSアンテナの取扱説明書もご覧ください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 [チャンネル＋／－]を押して、放送のあるBSチャンネルを選ぶ

- 本体のチャンネル＋／－ボタンでも操作できます。

2 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊　メニュー　＊

モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

3 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊　チャンネル合わせ　＊

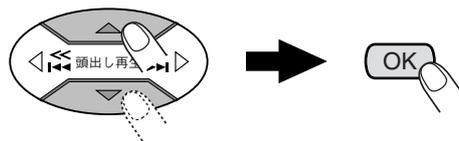
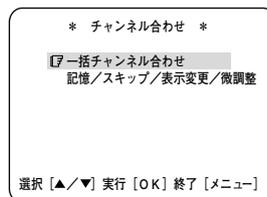
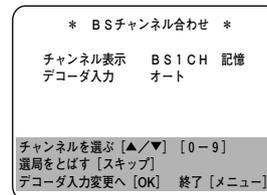
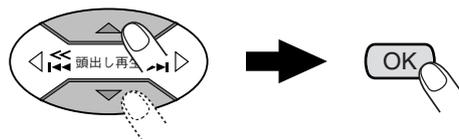
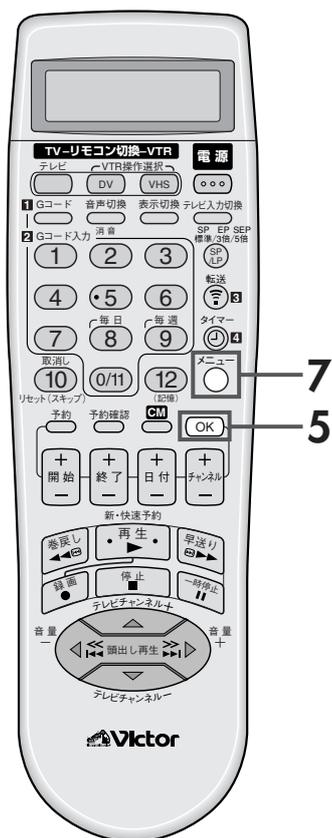
一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

4 [△／▽]を押して、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び[OK]を押す

＊　ＢＳチャンネル合わせ　＊

チャンネル表示　ＢＳ１ＣＨ　記憶
デコーダ入力　オート

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
選局をとばす［スキップ］
デコーダ入力変更へ［ＯＫ］　終了［メニュー］

5 ［OK］を2回押す

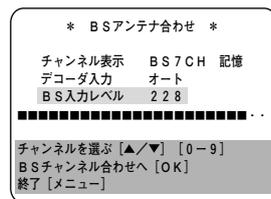
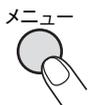
- BS番組をうまく受信していないと、ノイズ画面になります。
- ［OK］を3回押すと、手順**4**の画面に戻ります。そのときは、もう1度［OK］を2回押します。

6 テレビ画面で確認しながら、BSアンテナの向きを調節する

- BS入力レベルの数値が最大になるように調節します。

＊　ＢＳアンテナ合わせ　＊

チャンネル表示　　ＢＳ７ＣＨ　記憶
デコーダ入力　　　オート
ＢＳ入力レベル　　２２８
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■··

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
ＢＳチャンネル合わせへ［ＯＫ］
終了［メニュー］

7 ［メニュー］を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

BS入力レベルの表示について

- BS入力レベルの表示は、信号と雑音の比を目安として表したもので、電波の強さを示しているわけではありません。映像がきれいに映っていれば、レベルの大小は関係ありません。

BSデコーダーを接続する

AVテレビの場合：(左図の1の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ(☞22ページ参照)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで「外部入力」を選ぶ
テレビ画面にはＷＯＷＯＷの映像が映りますが、音声はSt.GIGAの音声になります。

WOWOWの番組を録画するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ(☞22ページ参照)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの音声を聞くことができます。
テレビ画面にはWOWOWの映像が映ります。

BSテレビの場合：(左図の2の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 テレビとBSデコーダーの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ(☞22ページ参照)
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

WOWOWの番組を録画するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、BS5チャンネルを選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ
(☞22ページ参照)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める

WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

BSテレビの場合：(左図の3の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 テレビとBSデコーダーの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで左図の3で接続した「外部入力」を選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ(☞22ページ参照)
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで左図の3で接続した「外部入力」を選ぶ

WOWOWの番組を録画するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、前ページの3で接続した「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ
(☞22ページ参照)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、前ページの3で接続した「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの放送を聞くことができます。

WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

BSデコーダーの設定をする

BSデコーダーに関する本機の設定はお買い上げ時には次のようになっています。

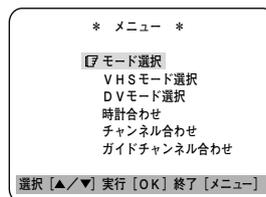
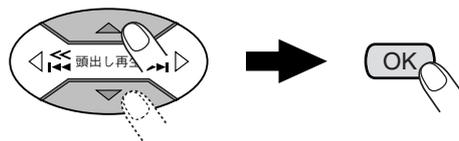
- スクランブルのかかった有料のBS放送（WOWOW、St.GIGA）を見るときには、BSデコーダーの電源を入れてください。
  スクランブルのかかっていない放送はBSデコーダーを通さずに見ることができるので、有料放送でない番組を見るときは、BSデコーダーの電源を入れる必要はありません。

WOWOWやSt.GIGAは、スクランブルをかけていない無料の番組も放送しています。
BS5チャンネルの「デコーダ入力」の設定を「オート」（お買い上げ時の設定）にしておくと、このような無料放送の番組と有料放送の番組の変わり目で、音や映像が途切れることがあります。
そのようなときは、「デコーダ入力」の設定を「入」にしてください。
WOWOWやSt.GIGAの放送を見たり、聞いたりするときは、必ずBSデコーダーの電源を入れてください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 ［チャンネル＋／－］を押して、BS5チャンネルを選ぶ

- 本体のチャンネル＋／－ボタンでも操作できます。

2 ［メニュー］を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊　メニュー　＊

☞モード選択
VHSモード選択
DVモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

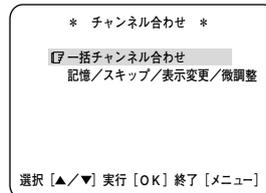
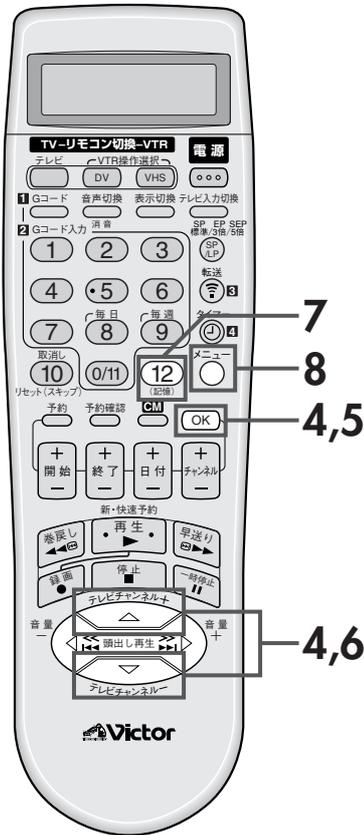
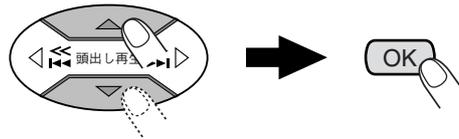
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

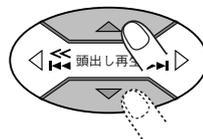
3 ［△／▽］を押して、「チャンネル合わせ」を選び［OK］を押す

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊　チャンネル合わせ　＊

☞一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

4 [△／▽]を押して、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び[OK]を押す

5 [OK]を押して、「デコーダー入力変更」を表示する

6 [△／▽]を押して、「デコーダー入力」を「入」にする

7 [12]（記憶）を押して、変更を記憶させる

8 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

MUSE-NTSCコンバーターを接続する

図のように、MUSE-NTSCコンバーターを接続してください。

ハイビジョン放送の番組を見るときは

1 本機とMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
2 本機でBS9チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

ハイビジョン放送の番組を録画するときは

1 本機とMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
2 本機でBS9チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のハイビジョン放送の番組を見ることができます。

受信チャンネルを設定する

受信チャンネル設定の流れ

本機は、お住まいの地域番号を入力するだけで、チャンネルを自動的に設定します。
また、Gコード録画予約をするためのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

- BSチャンネルの設定は必要ありません。お買い上げ時には、BS5、7、9、11の各チャンネルが映るように設定されています。ご覧にならないBSチャンネルがあるときに、そのチャンネルを選べなくしたいときは、「不要な放送局を受信できないようにする」(☞**50**ページ)をご覧ください。

42～45ページの「一括チャンネル合わせの地域番号表」に、お住まいの地域が記載されていますか？

記載されている場合は　　　　記載されていない場合は

地域番号を入力する
(操作方法は次ページ以降を参照)

受信できる放送局をひとつずつ設定する
(**46**ページを参照)

一覧表どおりに、全部の放送局が受信できたら、チャンネル設定は終了です。

- 新たにチャンネルを追加したいとき：**46**ページの操作をしてください。
- 受信チャンネルの映りが悪いとき：**48**ページの操作をしてください。
- 不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：**50**ページの操作をしてください。

CATVをご覧になるときは

- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
- CATV放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」(☞**40**ページ参照)では、設定されません。CATV放送のチャンネルを本機で受信したいときは、受信できるCATV放送を空いているチャンネル番号に割り当ててください。(☞**46**ページ参照)

- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は外部入力(L-1/F-1)またはビデオチャンネル(1チャンネルか2チャンネル)にします。
- 詳しくは、CATV放送各社にお問い合わせください。

地域内のテレビ放送局を一括して設定する

「一括チャンネル合わせ」を行うと、次の2つの項目も自動的に設定されます。

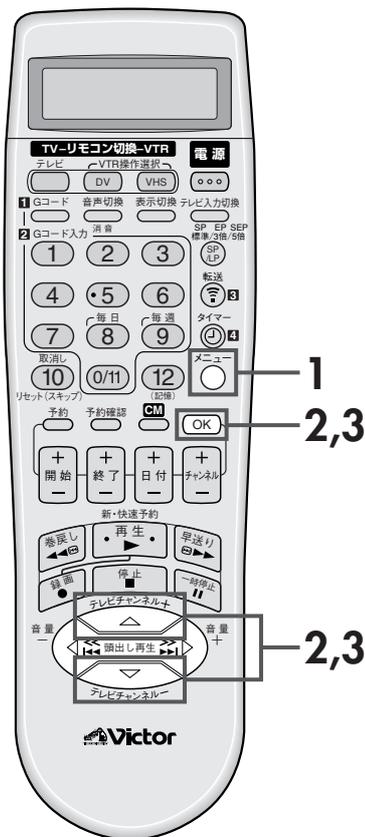
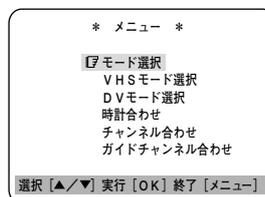
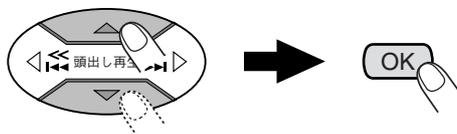
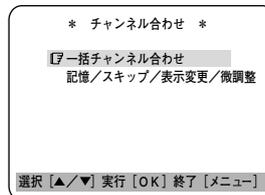
- Gコード録画予約をするために、必要なガイドチャンネル（☞**52**ページ）
- 本機に内蔵された時計の誤差を自動的に調整する「ぴったりクロック」（☞**55**ページ）

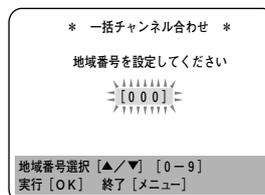
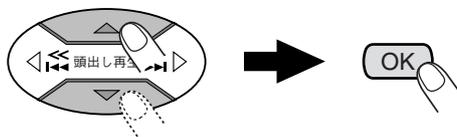
準備

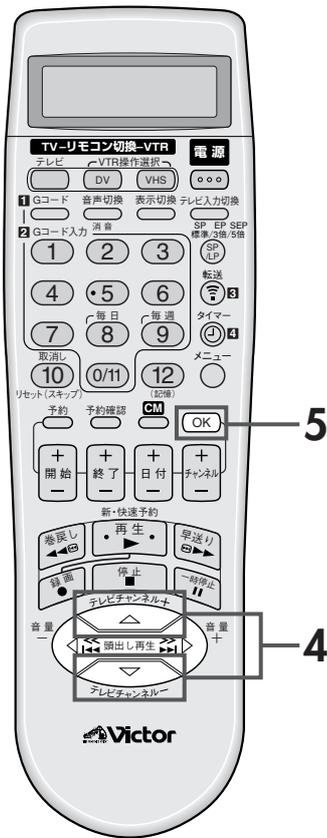
- お住まいの地域の地域番号を確認してください。（☞**42**～**45**ページ）
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

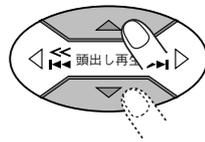
1 ［メニュー］を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊　メニュー　＊
モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

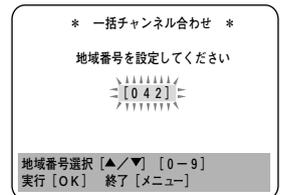
2 ［△／▽］を押して、「チャンネル合わせ」を選び［OK］を押す

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊　チャンネル合わせ　＊
一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

3 ［△／▽］を押して、「一括チャンネル合わせ」を選び［OK］を押す

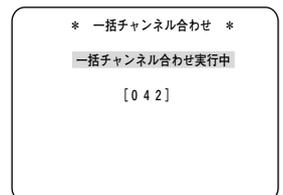
＊　一括チャンネル合わせ　＊
地域番号を設定してください
［０００］
地域番号選択［▲／▼］［０－９］
実行［ＯＫ］　終了［メニュー］

お願い

- CATV放送では「一括チャンネル合わせ」では設定できません。
  CATV放送を受信できるようにするには、空いているチャンネル番号に割り当ててください。
  （☞**108**ページ）

4 [△／▽]を押して、「地域番号」を選ぶ

例：「042」（東京23区）を選んだとき

- 押し続けると地域番号が早く変わります。
- 地域番号を選ぶときは、数字ボタン（1〜9、0／11）をつかうこともできます。

例：「042」と入力するときは、0／11と4と2を押す

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
地域番号を設定してください
[０４２]
地域番号選択 [▲／▼] [０－９]
実行 [ＯＫ] 終了 [メニュー]

5 [OK]を押し「一括チャンネル合わせ」を実行する

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ実行中
[０４２]

- 「一括チャンネル合わせ」が終了すると、チャンネル番号の一番小さい受信チャンネルの映像がテレビ画面に表示されます。
- 次のような変更がないかたは、☞**55**ページの「時計合わせ」へ進んでください。
  - 新たにチャンネルを追加したいとき：
    ☞**46**ページの操作をしてください。
  - 受信チャンネルの映りが悪いとき：
    ☞**48**ページの操作をしてください。
  - 不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：
    ☞**50**ページの操作をしてください。

- ☞**42**〜**45**ページの地域番号表に放送局が記載されていないチャンネルは表示しません。
- 受信できるテレビ放送局をひとつずつ設定することもできます。
  （☞**46**ページ参照）
  このときは、ガイドチャンネルもひとつずつ設定してください。
  （☞**52**ページ参照）

一括チャンネル合わせの地域番号表

お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。
（☞46ページ参照）
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
Gコードを使って録画の予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

	地域番号	放送局名・受信チャンネルガ		
		1	2	
都道府県名	地域名（対応都市） 地域番号	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	受信チャン

（2000年11月現在）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別） 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森（弘前） 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
山形	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
山形	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
福島	いわき 029		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
福島	会津若松 030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		
茨城	水戸(勝田) 031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立 032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮 033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
栃木	矢板 034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬		(伊勢崎・高崎)											
群馬	前橋 035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生 036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉		(三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越)											
埼玉	浦和 037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷 038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
埼玉	秩父 039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
千葉		(我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代)											
千葉	千葉 040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
千葉	銚子 041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京		(昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹)											
東京	23区 042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
東京	八王子 043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	多摩 044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川	*1	(横浜の一部)											
神奈川	横浜1 045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
神奈川	*1	(横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀)											
神奈川	横浜2 046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
神奈川	平塚(茅ヶ崎) 047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
神奈川	秦野 048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
神奈川	小田原 049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府 050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野1 051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
長野	長野2 052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
長野	松本 053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
長野	飯田 054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
長野	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟(長岡) 056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越 057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山 058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
富山	高岡 059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32

*1 横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜2」をお選びください。
「横浜2」ではうまく受信できないときに、「横浜1」をお選びください。

受信チャンネルを設定する（つづき）

	地域番号		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石川	金沢（小松）	060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
石川	七尾	061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井	062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
福井	敦賀	063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜（大垣）	064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
岐阜	高山	065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
岐阜	中津川	066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡			（清水・焼津）											
静岡	静岡	067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
静岡	浜松	068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
静岡	富士（富士宮）	069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
静岡	三島・沼津	070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
静岡	島田	071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
静岡	藤枝	072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知			（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）											
愛知	名古屋	073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
愛知	豊橋（豊川）	074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
愛知	豊田	075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重			（鈴鹿・松坂・四日市）											
三重	津	076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
三重	伊勢	077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59//33	名古屋テレビ 61/11	
三重	名張	078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津	079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
滋賀	彦根	080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治）	081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
京都	舞鶴	082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
京都	福知山	083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪			（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）											
大阪	大阪	084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸	085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
兵庫	神戸灘	086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
兵庫	川西	087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
兵庫	三木	088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
兵庫	姫路	089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
兵庫	明石（加古川）	090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原）	091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/−	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
奈良	五條	092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山	093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
和歌山	海南・田辺	094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取	095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江	096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
島根	浜田	097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山（倉敷） 098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山 099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡 100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島 101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山 102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道 103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉 104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口 105	（徳山・防府） NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関 106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部 107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	岩国 108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島 109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松 110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀 111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山 112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜 113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治 114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島 115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知 116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡 117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米 118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田 119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州 120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋 121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀 122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎 123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保 124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早 125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本（八代） 126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分（別府） 127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津 128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎（都城） 129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡 130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島 131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根 132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋 133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇（沖縄） 134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

放送局をひとつずつ設定する

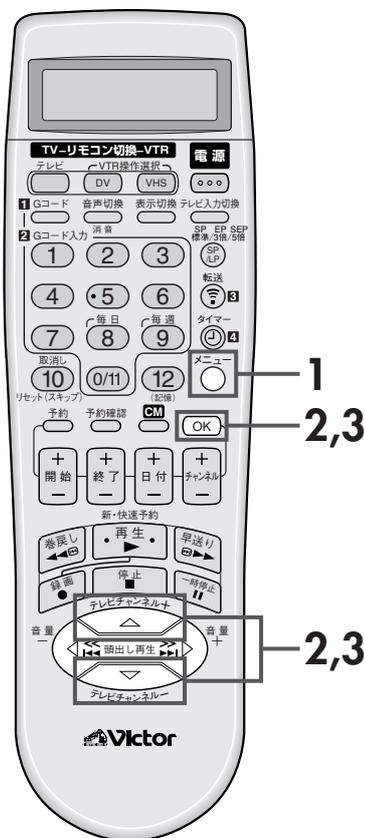
次のようなときは、ご自分で放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。

- 「一括チャンネル合わせ」（☞**40**ページ）では受信できない放送局があるとき
- お住まいの地域に新しい放送局ができたとき
- CATV放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

例： CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は「66チャンネル」）を本機の表示チャンネル「7」で見られるように設定する

- 本機に表示されるCATV放送の受信チャンネルの番号と実際のCATV放送のチャンネルの番号の違いについては、「主な仕様」（☞**108**ページ）をご覧ください。

1 ［メニュー］を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー

＊ メニュー ＊

☞モード選択
VHSモード選択
DVモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 ［△／▽］を押して、「チャンネル合わせ」を選び［OK］を押す

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊ チャンネル合わせ ＊

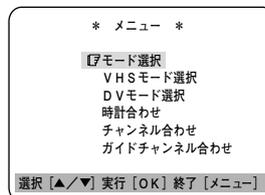
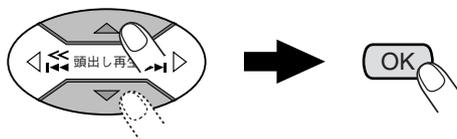
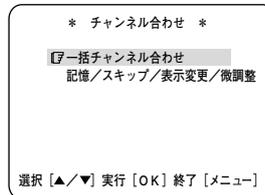
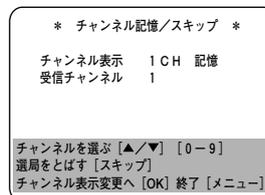
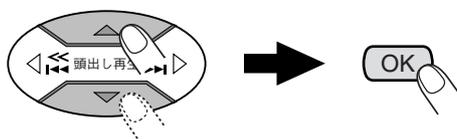
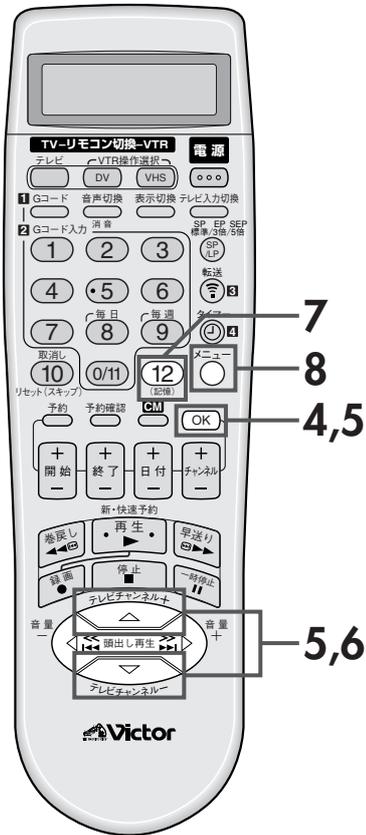
☞一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

3 ［△／▽］を押して、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び［OK］を押す

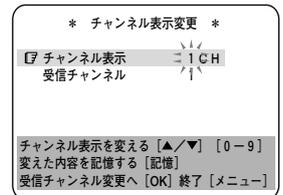
＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

4 [OK]を押して、「チャンネル表示変更」画面を表示させる

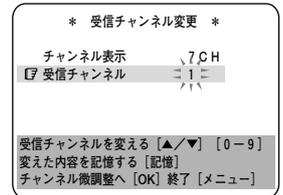
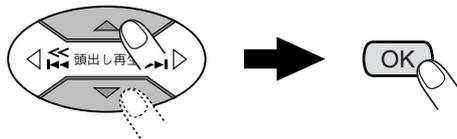
＊ チャンネル表示変更 ＊

チャンネル表示　1CH
受信チャンネル　1

チャンネル表示を変える［▲／▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
受信チャンネル変更へ［OK］終了［メニュー］

5 [△／▽]を押して、チャンネル表示番号を「7」にして[OK]を押す

＊ 受信チャンネル変更 ＊

チャンネル表示　7CH
受信チャンネル　1

受信チャンネルを変える［▲／▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル微調整へ［OK］終了［メニュー］

6 [△／▽]を押して、受信チャンネル番号を「66」に設定する

＊ 受信チャンネル変更 ＊

チャンネル表示　7CH
受信チャンネル　66

受信チャンネルを変える［▲／▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル微調整へ［OK］終了［メニュー］

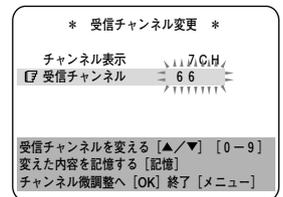
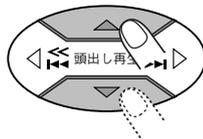
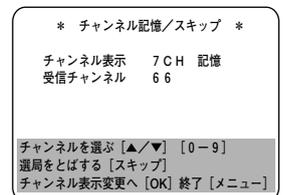
7 [12]（記憶）を押す

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示　7CH　記憶
受信チャンネル　66

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

8 [メニュー]を押して、終了する

MEMO

- チャンネル表示や受信チャンネルを変更するときは、数字ボタン(0～9)を使うこともできます。
  例：「55」と入力するには、5を2回押す。
  例：「10」と入力するには、1と0を押す。

お願い

- 設定が終了したあとで、必ずガイドチャンネルも設定してください。
(☞52ページ)

設置と準備

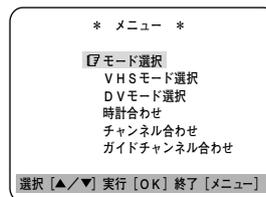
映りの悪いチャンネルを微調整する

映像の色がうすく見づらいときは、受信チャンネルを微調整してください。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)

例：　1チャンネルを微調整するとき

1 [チャンネル＋／－]を押して、映りの悪い1チャンネルを選ぶ

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。
- 本体のチャンネル＋／－ボタンでも操作できます。

2 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊　メニュー　＊
モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

3 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

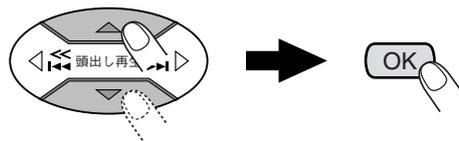
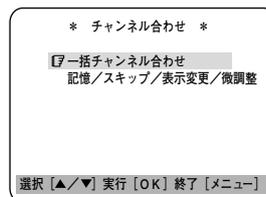
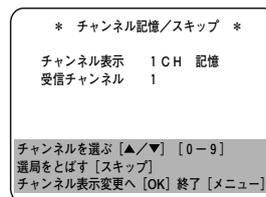
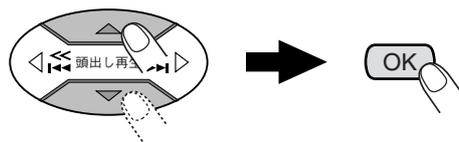
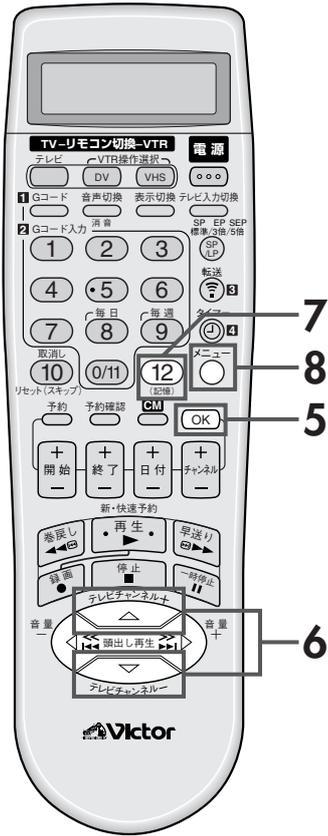
☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊　チャンネル合わせ　＊
一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

4 [△／▽]を押して、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び[OK]を押す

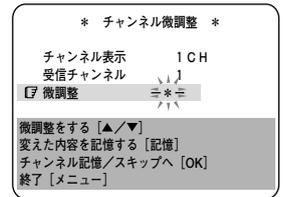
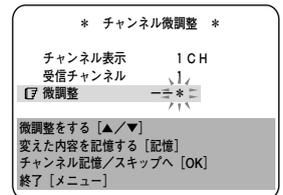
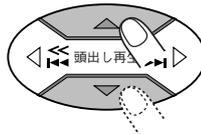
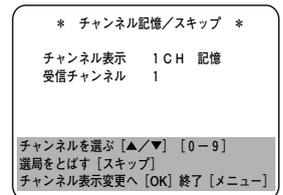
＊　チャンネル記憶／スキップ　＊
チャンネル表示　　１ＣＨ　記憶
受信チャンネル　　１
チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［ＯＫ］終了［メニュー］

MEMO
- リモコンの数字ボタン（0～9）でチャンネルを選ぶときは、数字ボタンを押す。
  例：4チャンネルを選ぶときは4を押す。
  例：10チャンネルを選ぶときは1と0を続けて押す。

お願い
- BSチャンネルでは「微調整」を行うことはできません。
  BSチャンネルの映りが悪いときは、風などの影響により、BSアンテナの向きが変わってしまったことが原因として考えられます。
  このときは、BSアンテナの方向をもう1度調節し直してください。
  （☞32ページ）

5 [OK]を3回押して､｢チャンネル微調整｣画面を表示させる

＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　1ＣＨ
受信チャンネル　　1
微調整

微調整をする［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［OK］
終了［メニュー］

6 [△／▽]を押して､微調整する

7 [12]（記憶）を押して､変更を記憶させる

8 [メニュー]を押して､終了する

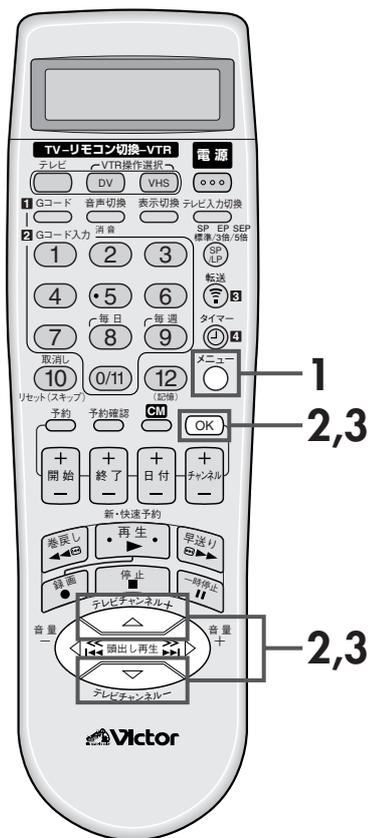
受信チャンネルを設定する（つづき）

不要な放送局を受信できないようにする（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

例： CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は「66チャンネル」）を受信できないようにする
- 本機に表示されるCATV放送の受信チャンネルの番号と実際のCATV放送のチャンネルの番号の違いについては、「主な仕様」（☞**108**ページ）をご覧ください。

1 ［メニュー］を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊　メニュー　＊

☞モード選択
VHSモード選択
DVモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 ［△／▽］を押して、「チャンネル合わせ」を選び［OK］を押す

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊　チャンネル合わせ　＊

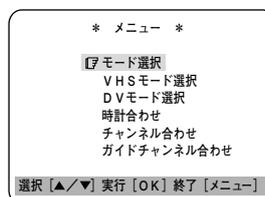
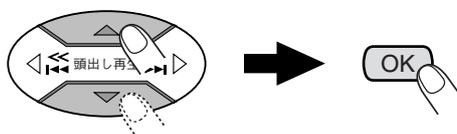
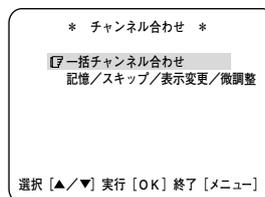
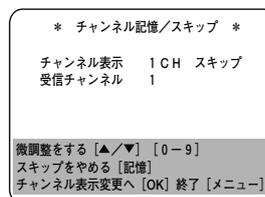
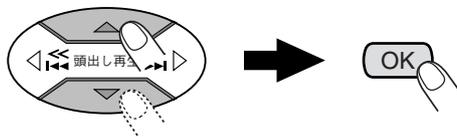
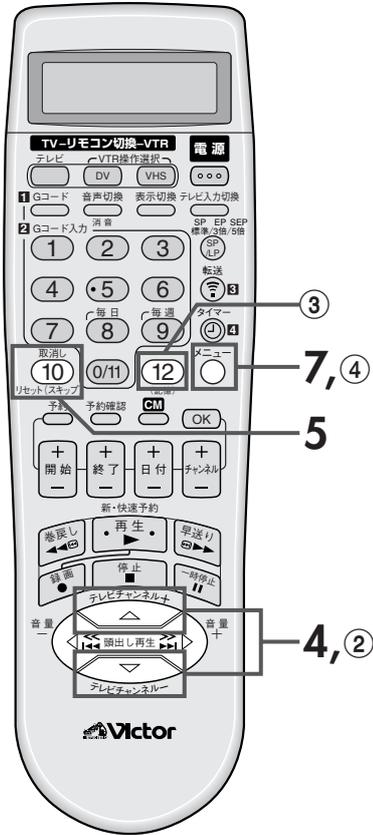
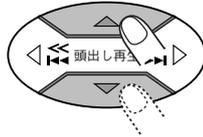
☞一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

3 ［△／▽］を押して、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び［OK］を押す

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　1CH　スキップ
受信チャンネル　1

微調整をする［▲／▼］［0－9］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

4 [△／▽]を押して、チャンネル表示番号を「66」（スキップしたいチャンネル）にする

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　：６６ＣＨ　記憶
受信チャンネル　：６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

5 [10]（スキップ）を押す

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　６６ＣＨ　スキップ
受信チャンネル　　６６

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［０－９］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

6 他の放送局もスキップするときは、手順4と5をくり返す

7 [メニュー]を押して、終了する

MEMO

- チャンネル表示も変更したいときは、「放送局をひとつずつ設定する」（☞**46**ページ）をご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」を行います。（☞**48**ページ）

お願い

- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。（☞**52**ページ）

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには

① 「不要な放送局を受信できないようにする」の手順1から3までを行う
② [△／▽]を押し、受信したい放送局を選ぶ
③ [記憶]を押す
④ [メニュー]を押し、メニュー操作を終了する

ガイドチャンネルを設定する

Gコード予約するためのチャンネルを設定する

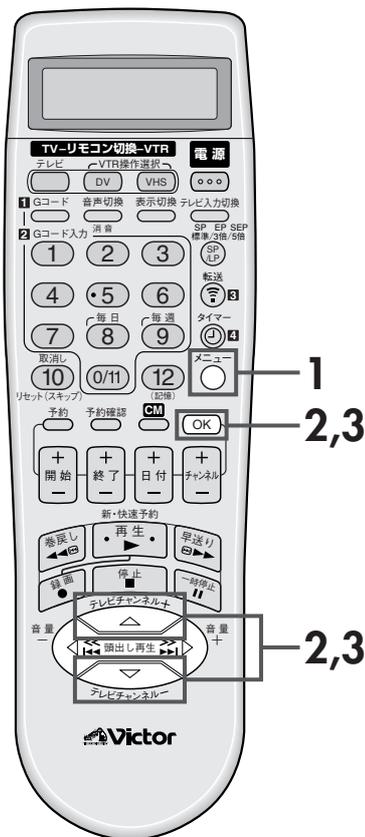
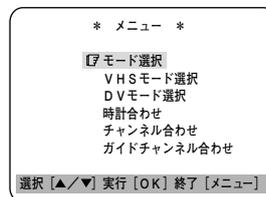
**ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコードによる録画の予約ができなくなります。
次のような操作をされたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。**

- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき
- 「一括チャンネル合わせ」(☞**40**ページ参照)のあとで、新たな放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

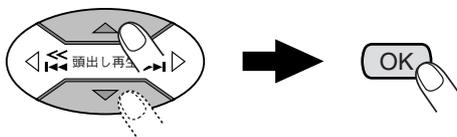
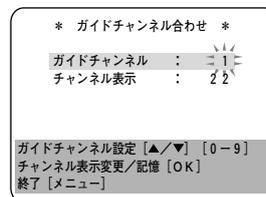
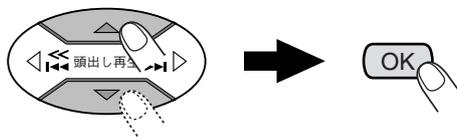
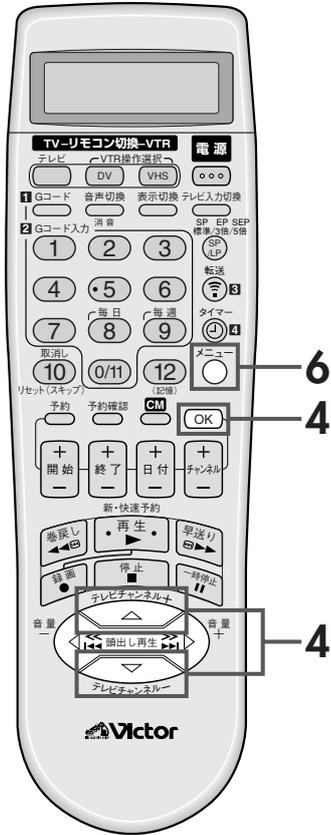
準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。

例: テレビ神奈川(42チャンネル)のチャンネル表示番号を7チャンネルに変えたとき

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

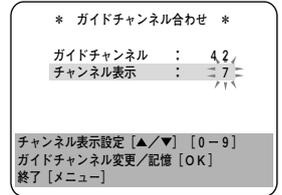
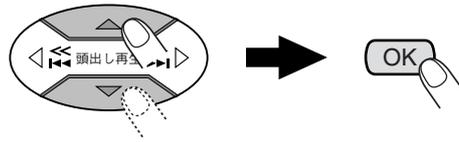
＊ メニュー ＊
モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

2 [△／▽]を押して、「ガイドチャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

☞を「ガイドチャンネル合わせ」に合わせてから、

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
ガイドチャンネル ： 1
チャンネル表示 ： 22
ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［ＯＫ］
終了［メニュー］

3 [△／▽]を押して、設定したい放送局の「ガイドチャンネル」を選び[OK]を押す

- この例では、テレビ画面の「ガイドチャンネル」欄に「42」を選びます。
  実際に設定をするときは、☞**54**ページのガイドチャンネル一覧表を参照してください。

4 [△／▽]を押して、設定した放送局のチャンネル表示番号を選び[OK]を押す

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

ガイドチャンネル : 42
チャンネル表示 : 7

チャンネル表示設定 [▲／▼] [0－9]
ガイドチャンネル変更／記憶 [OK]
終了 [メニュー]

5 他の放送局もガイドチャンネルを設定するときは、手順の3から4をくり返す

6 [メニュー]を押して、終了する

Gコードインフォのガイドチャンネルを設定する

Gコードインフォとは、近い将来に始められる放送(「0」から始まるGコードが使われます。)です。その放送をGコードを使って録画予約するためには、Gコードインフォのためのガイドチャンネルを設定する必要があります。

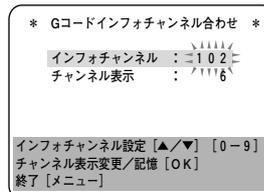
同一ネットワーク内の放送局には、すべて同じGコードインフォのガイドチャンネルが割り当てられます。

録画予約の方法はGコード録画予約(☞**70**ページ)と同じです。ただし、Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。

Gコードインフォの設定のしかたは、各放送局のガイドチャンネルの設定の方法と同じです。前ページの手順**3**で、∆または∇ボタン、あるいは数字ボタン(1〜9)を押し、「102」〜「106」(Gコードインフォのガイドチャンネルは3桁の番号)を選ぶと、テレビ画面の表示が「ガイドチャンネル合わせ」画面から「Gコードインフォチャンネル合わせ」画面に変わります。

＊ Gコードインフォチャンネル合わせ ＊

インフォチャンネル : 102
チャンネル表示 : 6

インフォチャンネル設定 [▲／▼] [0－9]
チャンネル表示変更／記憶 [OK]
終了 [メニュー]

Gコードインフォのガイドチャンネル

TBSテレビ系	日本テレビ系	フジテレビ系	テレビ朝日系	テレビ東京系
102	103	104	105	106

ガイドチャンネル一覧表

（2000年11月現在）

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
全国共通	NHK総合	80	―
	NHK教育	90	―
	BS1	71	―
	BS3	72	―
	BS5　ＷＯＷＯＷ	73	―
	BS7　NHK衛星第1	74	―
	BS9　ハイビジョン放送	75	―
	BS11 NHK衛星第2	76	―
	BS13	77	―
	BS15	78	―

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
CATV／CS放送	日本テレビケーブルニュース	40	―
	CSN1ムービーチャンネル	49	―
	チャンネルNECO	50	―
	ゴルフネットワーク	51	―
	CNN	81	―
	MTV	82	―
	スター・チャンネル	83	―
	スペースシャワーTV	84	―
	スポーツ・アイ	85	―
	衛星劇場	86	―
	GAORA（ガオラ）	87	―
	ホームチャンネル	88	―
	スカイ・A	89	―
	BBC	91	―
	ファミリー劇場	92	―
	スーパーチャンネル	93	―
	ザ・ゴルフ・チャンネル	94	―
	朝日ニュースター	99	―

●北海道・東北

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
北海道	北海道放送（HBC）	1	102
	札幌テレビ（STV）	5	103
	テレビ北海道（TVH）	17	106
	北海道文化（UHB）	27	104
	北海道テレビ（HTB）	35	105
青森	青森放送（RAB）	1	103
	青森朝日（ABA）	34	105
	青森テレビ（ATV）	38	102
岩手	岩手放送（IBC）	6	102
	岩手朝日（IAT）	20	105
	めんこい（MIT）	33	104
	テレビ岩手（TVI）	35	103
秋田	秋田放送（ABS）	11	103
	秋田朝日（AAB）	31	105
	秋田テレビ（AKT）	37	104
宮城	東北放送（TBC）	1	102
	仙台放送（OX）	12	104
	東日本放送（KHB）	32	105
	宮城テレビ（MMT）	34	103
山形	山形放送（YBC）	10	103
	さくらんぼテレビ（SAY）	30	104
	テレビュー山形（TUY）	36	102
	山形テレビ（YTS）	38	105
福島	福島テレビ（FTV）	11	104
	テレビュー福島（TUF）	31	102
	福島中央（FCT）	33	103
	福島放送（KFB）	35	105

●関東・甲信越

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
関東	日本テレビ（NTV）	4	103
	TBSテレビ（TBS）	6	102
	フジテレビ（CX）	8	104
	テレビ朝日（ANB）	10	105
	テレビ東京（TX）	12	106
	東京メトロポリタン（MXテレビ）	14	―
	放送大学	16	―
	テレビ埼玉（TVS）	38	―
	テレビ神奈川（TVK）	42	―
	千葉テレビ（CTC）	46	―
	群馬テレビ（GTV）	48	―
新潟	新潟放送（BSN）	5	102
	新潟テレビ21（NT21）	21	105
	テレビ新潟（TNN）	29	103
	新潟総合（NST）	35	104
長野	信越放送（SBC）	11	102
	長野朝日（ABN）	20	105
	テレビ信州（TSB）	30	103
	長野放送（NBS）	38	104
山梨	山梨放送（YBS）	5	103
	テレビ山梨（UTY）	37	102

●中部

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
静岡	静岡放送（SBS）	11	102
	静岡第一（SDT）	31	103
	静岡朝日テレビ（SATV）	33	105
	テレビ静岡（SUT）	35	104
中京	東海テレビ（THK）	1	104
	中部日本放送（CBC）	5	102
	名古屋テレビ（NBN）	11	105
	テレビ愛知（TVA）	25	106
	三重テレビ（MTV）	33	―
	中京テレビ（CTV）	35	103
	岐阜放送（GBS）	37	―
富山	北日本放送（KNB）	1	103
	チューリップTV（TUT）	32	102
	富山テレビ（T34）	34	104
石川	北陸放送（MRO）	6	102
	北陸朝日（HAB）	25	105
	テレビ金沢（KTK）	33	103
	石川テレビ（ITC）	37	104
福井	福井放送（FBC）	11	103、105
	福井テレビ（FTB）	39	104

●関西・中国

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
関西	毎日放送（MBS）	4	102
	朝日放送（ABC）	6	105
	関西テレビ（KTV）	8	104
	読売テレビ（YTV）	10	103
	テレビ大阪（TVO）	19	106
	テレビ和歌山（WTV）	30	―
	びわ湖放送（BBC）	30	―
	京都テレビ（KBS）	34	―
	サンテレビ（SUN）	36	―
	奈良テレビ（TVN）	55	―
岡山	西日本放送（RNC）	9	103
	山陽放送（RSK）	11	102
	テレビせとうち（TSC）	23	106
	瀬戸内海放送（KSB）	33	105
	岡山放送（OHK）	35	104
広島	中国放送（RCC）	4	102
	広島テレビ（HTV）	12	103
	テレビ新広島（TSS）	31	104
	広島ホーム（HOME）	35	105
鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1	103
	山陰放送（BSS）	10	102
	山陰中央（TSK）	34	104
山口	山口放送（KRY）	11	103
	山口朝日（YAB）	28	105
	テレビ山口（TYS）	38	102

●四国

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
香川	西日本放送（RNC）	9	103
	山陽放送（RSK）	11	102
	テレビせとうち（TSC）	23	106
	瀬戸内海放送（KSB）	33	105
	岡山放送（OHK）	35	104
愛媛	南海放送（RNB）	10	103
	あいテレビ（ITV）	29	102
	愛媛放送（EBC）	37	104
徳島	四国放送（JRT）	1	103
高知	高知放送（RKC）	8	103
	テレビ高知（KUTV）	38	102
	さんさんテレビ（KSS）	40	104

●九州

地域	放送局	ガイドチャンネル	Gコードインフォのガイドチャンネル
福岡	九州朝日（KBC）	1	105
	RKB毎日（RKB）	4	102
	テレビ西日本（TNC）	9	104
	TXN九州（TVQ）	19	106
	福岡放送（FBS）	37	103
大分	大分放送（OBS）	5	102
	大分朝日（OAB）	24	105
	テレビ大分（TOS）	36	103、104
佐賀	サガテレビ（STS）	36	104
長崎	長崎放送（NBC）	5	102
	長崎国際（NIB）	25	103
	長崎文化（NCC）	27	105
	テレビ長崎（KTN）	37	104
熊本	熊本放送（RKK）	11	102
	熊本朝日（KAB）	16	105
	熊本県民（KKT）	22	103
	テレビ熊本（TKU）	34	104
宮崎	宮崎放送（MRT）	10	102
	テレビ宮崎（UMK）	35	103,104,105
鹿児島	南日本放送（MBC）	1	102
	鹿児島読売テレビ（KYT）	30	103
	鹿児島放送（KKB）	32	105
	鹿児島テレビ（KTS）	38	104
沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8	104
	琉球放送（RBC）	10	102
	琉球朝日（QAB）	28	105

時計合わせ

日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。はじめに正しい日付と時刻を設定してください。

準備

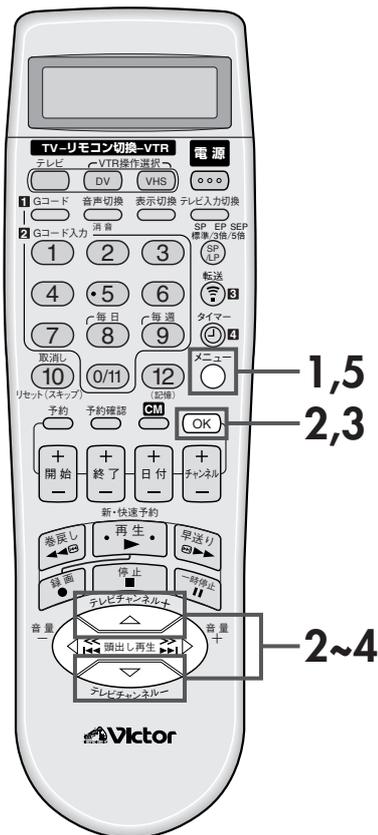
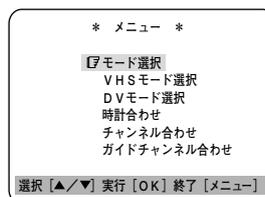
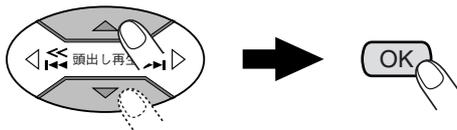
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。

例：2000年12月24日、午後8時30分に合わせる

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊

モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

2 [△／▽]を押して、「時計合わせ」を選び[OK]を押す

を「時計合わせ」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「時刻→日付→西暦」の順に合わせる

① [Δ/∇]ボタンを押し、時刻を合わせてから、OKボタンを押す
[Δ/ ∇]ボタンを押し続けると、30分単位で早く変わります。

② [Δ/∇]ボタンを押し、日付を合わせてから、OKボタンを押す
[Δ/∇]ボタンを押し続けると、15日単位で早く変わります。

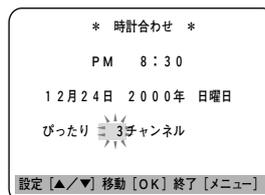
③ [Δ/∇]ボタンを押して、西暦を合わせてから、OKボタンを押す

＊ 時計合わせ ＊

ＰＭ　８：３０

１２月２４日　２０００年　日曜日

ぴったり　３チャンネル

設定［▲／▼］移動［ＯＫ］終了［メニュー］

4 [△／▽]を押して、3チャンネル(NHK教育テレビ)を選ぶ

- 「一括チャンネル合わせ」(☞**40**ページ)を行ったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

5 [メニュー]を押して、終了する

メニューボタンを押すと時計が動き始めます。

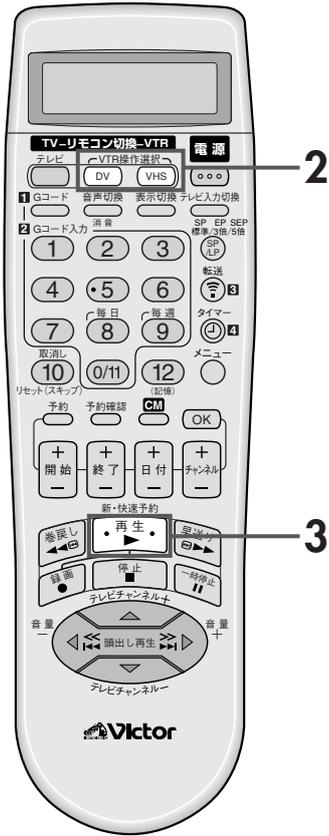
- 正確に合わせたいときは時報に合わせて、メニューボタンを押してください。

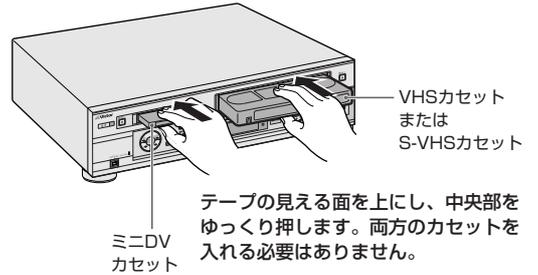
- ぴったりクロックは、自動的にテレビの時報に合わせて本機に内蔵されている時計を修正する機能です。NHK教育テレビの時報(7時、12時、19時)に合わせます。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - 時報が放送されていないとき
  - 本機の電源が入っているとき
  - 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - 時報のバックに音楽が入っているとき

ビデオを見る

ビデオテープを再生してみましょう。

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編(☞**10**〜**55**ページ)をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)

1 ミニDVカセットまたはVHSカセットを入れる

電源が入ります。

- VHSデッキにつめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。または、DVデッキに誤消去防止ツマミが「SAVE」になっているミニDVカセットを入れると自動的に再生が始まります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。(VHSデッキのみ)

2 [DV]または[VHS]を押す

DVボタン
DVデッキを使うときに押します。

VHSボタン
VHSデッキを使うときに押します。

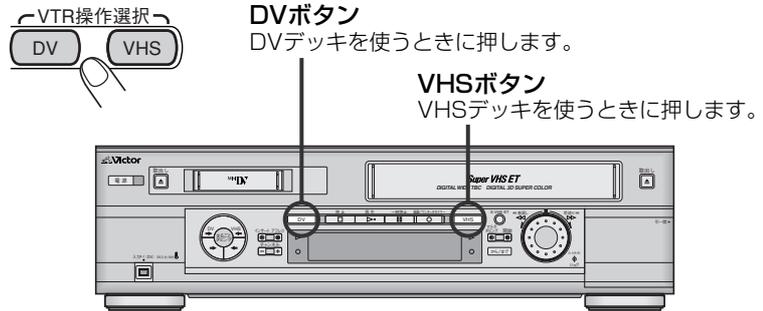
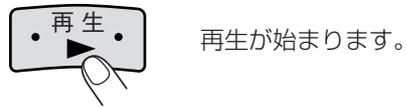
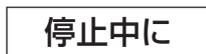
3 [再生]を押す

再生が始まります。

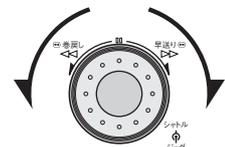
再生をやめる

再生中に

早送り／巻戻しをする

停止中に

早送りするときは：

巻戻しするときは：

- 本体のシャトルリングを使って、早送り／巻戻しもできます。

早送り／巻戻しをやめるには、停止(■)ボタンを押します。

MEMO

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- メニューの「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。(☞**98**ページ)

映像を見ながら早送り／巻戻しする(シャトルサーチ)

S-VHS/VHSの標準モードでは11倍速、3倍モードでは31倍速、5倍モードでは31倍速で再生します。ミニDVカセットでは、約10倍速で再生します。

再生中に

早送りするときは：

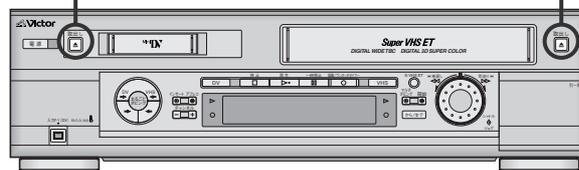
巻戻しするときは：

通常の再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。

- ボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り/巻戻しされます。指を離すと通常の再生に戻ります。

テープを取り出す

本体のボタンでのみ操作できます。

停止中に

ご注意

- シャトルサーチ中、一時停止中は音声が出ません。
- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。

- 一時停止(静止画再生)がDVデッキで3分、VHSデッキで5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 一時停止(静止画再生)中には、コマ送りができます。
  詳しくは、「コマ送りやスローで再生する」(☞**92**ページ)をご覧ください。

再生を一時停止する

再生中に

再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
通常の再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。

テープを繰り返し再生する(リピート再生):VHSデッキのみ

[再生]を5秒以上押し続ける

途中で止めるには、停止(■)ボタンを押します。

- 本体の表示窓の「▷」が点滅して、テープの再生を100回繰り返します。
- 店頭やイベントでの再生などにお使いください。
  録画スピードがSEP(5倍)で記録されたテープは、リピート再生できません。

再生ボタン

S-VHS/VHSで記録したテープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

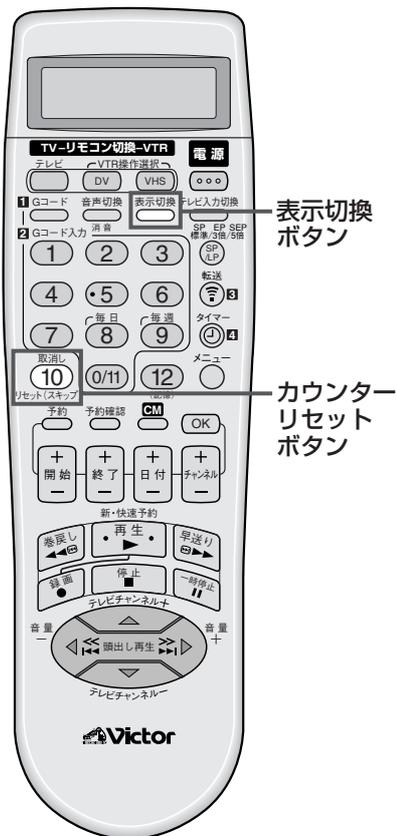
メニューのVHSモード選択で「Vスタビライズ」(ビデオスタビライザー)を「入」にしてください。(☞**23**ページ参照)
映像の上下の揺れが補正されます。
テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。
●「Vスタビライズ」を「入」にすると「TBC」は自動的に「切」になります。

テープの残り時間を調べる

本体の表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えてテープ残量を表示させます。

表示切換ボタン

カウンターリセットボタン

再生中または録画中

押すたびに、表示窓の表示が次のように切り換わります。

VHSモードの場合

→ テープの残量表示* → チャンネル表示** → 時計表示 → カウンター表示 →

DVモードの場合

DVモードの場合は、残量は表示しません。

＊ テープの残量は少しの間テープを走行させないと表示されません。
＊＊ 再生時は表示されません。

カウンターをリセットするには（VHSモードのみ）

本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが「0:00:00」に戻ります。

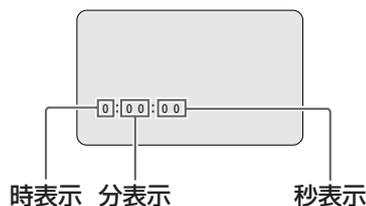
![MEMO]

- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、メニューで「オンスクリーン」を「切」にしてください。（☞22ページ）
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「−−：−−」になったり、点滅したりすることがあります。

ご注意

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電があったときは、カウンターが「0:00:00」、テープ残量が「−−：−−」になります。

タイムコードについて（DVテープのみ）

DVテープでは録画中にテープにタイムコードと呼ばれる数字を記録していきます。タイムコードはテープの再生や編集の際に、映像のテープ上の位置を確かめる目安になります。マルチダビング（☞76ページ参照）ではこのタイムコードの機能を利用します。

テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります。

テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から録画を開始すると、タイムコードは「0:00:00」から新たにカウントを始めます。1本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などのときに誤動作の原因となります。

次のような場合は、一度再生して場面の終わりを確かめてから録画してください。

- 録画済みのテープに途中から録画するとき
- 録画後に確認のため再生してみたテープで、引き続き録画するとき
- ビデオムービーなどで撮影中に電源やバッテリーが切れたとき

基本操作

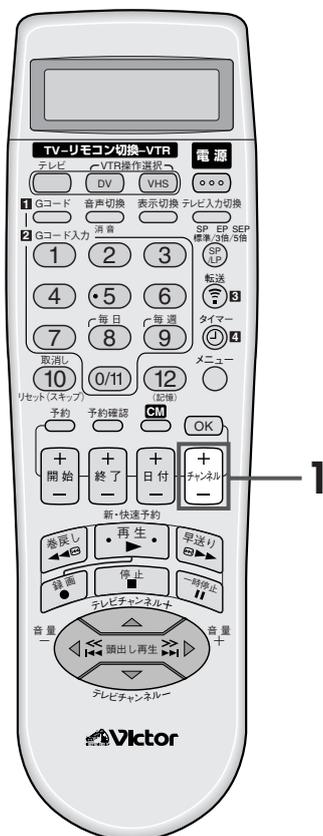
BS放送の番組を見る

お買い上げ時には、BS放送のチャンネルはBS7、11が映るようになっています。

- BS5チャンネルはJSB（日本衛星放送株式会社）がWOWOWを、SDAB（衛星デジタル音楽放送株式会社）がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用のBSデコーダーが必要になります。（☞**34**ページ参照）
- BS9チャンネルはハイビジョン放送をしています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSE-NTSCコンバーターが必要になります。（☞**38**ページ参照）

BS放送の番組を見る

準備

- BSアンテナと本機の接続が終わっていないとき、接続後に「BSアンテナ電源の設定」と「BSアンテナの向きの調節」が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（☞**30**～**37**ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

1 ［チャンネル＋／－］を押して、BS放送のチャンネルを選ぶ

- 本体のチャンネル＋/－ボタンでも操作できます。
- BSチャンネルは、数字ボタンでは選べません。

- BSデコーダーを接続してお使いのときは、☞**36**ページの操作方法も合わせてご覧ください。

BS放送の独立音声を聞く

Aモード音声で放送されているBSの番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

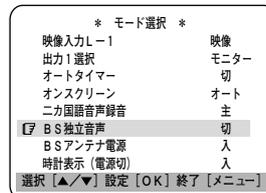
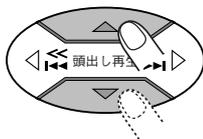
BS放送の音声について
BS放送の音声には、Aモード(FM放送以上の音質)とBモード(CDと同等の音質)があり、番組ごとに適した音声で放送されています。
Aモード放送のときは、番組(映像)の内容に合った音声以外に、番組と全く関係のない独立音声を放送することができます。
BS5チャンネルはおもにAモードで放送されており、WOWOWの音声はテレビ音声、St.GIGAは独立音声で放送されています。

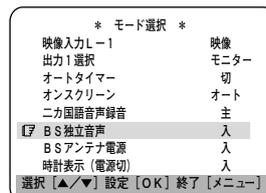
1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊
モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
選択［▲／▼］実行［ＯＫ］終了［メニュー］

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

☞を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「BS独立音声」に合わせる

4 [OK]を押して、「入」にする

- 押すたびに、「入」と「切」が切り換わります。

5 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

- メニュー画面が消えます

お願い

- 独立音声を聞き終わったあとは、「BS独立音声」を「切」に戻しておいてください。
- St.GIGAなどのBS有料放送の独立音声を聞くときは、BSデコーダーでも音声を切り換えてください。
(☞35ページ)

番組を録画する

録画する

録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク（VISS：VHS Index Search System）（☞84ページ）と呼ばれる信号が記録されます。

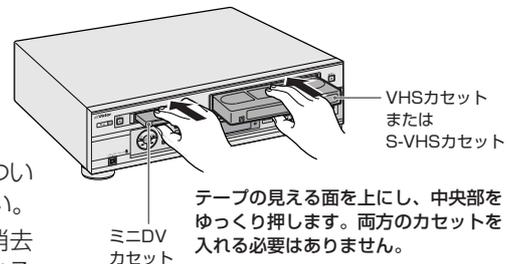
準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続、チャンネルの設定が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（☞10〜55ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- BSデコーダーを接続してお使いのときは、☞34ページをご覧ください。

1 [DV]または[VHS]を押して使用するデッキを選ぶ

2 選んだデッキにカセットを入れる

- VHSカセットの場合はつめがついていることを確認してください。
- ミニDVカセットの場合は誤消去防止ツマミが「REC」になっていることを確認してください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。両方のカセットを入れる必要はありません。

3 [チャンネル＋／－]を押して、録画する番組を選ぶ

- 本体のチャンネル＋／－ボタンでも操作できます。

4 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

SP EP SEP
標準/3倍/5倍
SP/LP

- 押すたびに、切り換わります。

VHSデッキ

SP（標準）：画質を重視するとき
EP（3倍）：3倍長く録画するとき
SEP（5倍）：5倍長く録画するとき（S-VHS記録時のみ）

DVデッキ

SP：画質を重視するとき
LP：1.5倍長く録画するとき

- LPで録画した場合はアフレコ（☞66ページ）ではできません。

5 [録画]を押しながら[再生]を押す

を押しながら

- 本体の録画（●）ボタンでも操作できます。
  このときは、再生（▶）ボタンを押す必要はありません。

本機のVHSデッキで5倍モード記録されたテープは、本機で再生してください。

5倍モード 5倍モードが使用できるのは、S-VHS記録のみです。VHS記録およびS-VHS ET記録時は、5倍モードを使用できません。録画スピードのSEP（5倍）を選択することもできません。また、S-VHS本来の画質は得られません。

ご注意

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- LPモードで録画されたテープは、他のLPモードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

リモコンの数字ボタン（0〜9）でチャンネルを選ぶときは

① リモコンのビデオボタンを押す。
② 数字ボタン（0〜9）を押す。

例：4チャンネルを選ぶときは4を押す。
例：10チャンネルを選ぶときは1と0を続けて押す。
例：外部入力を選ぶときは0を押す。強制的に「L-1」入力に切り換わります。

- BSチャンネルは、数字ボタンでは選べません。

- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、自動的にテープが出て、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音を録音したいときは、メニューで「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（☞**22**ページ）
- 録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- メニューの「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。詳しくは「最適な画質で録画・再生をする」をご覧ください。（☞**98**ページ）
- VHSテープにS-VHSの画質で録画することができます（S-VHS ET）。詳しくは、「VHSテープにS-VHSの画質で録画する」（☞**97**ページ）をご覧ください。
- DVデッキで、アフレコをする予定のときはメニューの「音声モード」を「12BIT」（☞**23**ページ参照）にし、手順**3**でスピードを「SP」にしてください。
- VHSデッキとDVデッキで同時にテレビ放送やBS放送を録画することはできません。
  また、同じ外部入力から同時に録画することもできません。

録画を一時停止する

録画中に

録画が一時停止されます。
再び録画を始めるには、再生(▶)ボタンを押します。

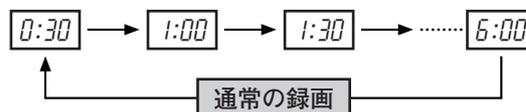
録画をやめる

録画中に

録画時間を設定する（ワンタッチタイマー録画）

録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

録画中に

押すたびに、録画時間（VHSデッキ：最長6時間まで、DVデッキ：最長2時間まで）が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。

録画を途中でやめるには、停止(■)ボタンを押します。

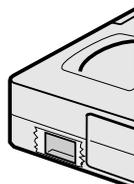
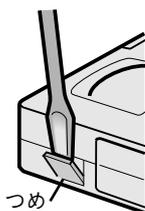
録画中に別の番組を見る（裏番組録画）

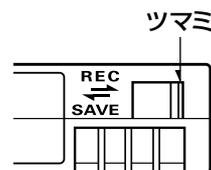
録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

- BS放送を録画中に別のBS番組を見ることはできません。ただし、お手持ちのテレビがBSテレビ（BS内蔵）のときは、本機で録画中に、BSテレビで他のBS番組を見ることができます。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビで見たい番組を選ぶ

誤消去を防止するために

VHSテープ
つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。ふたたび録画するときはセロハンテープを二重に貼って穴をふさいでください。

DVテープ
ミニDVカセットの背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください。ふたたび録画するときは、ツマミを「REC」の矢印方向に引いてください。

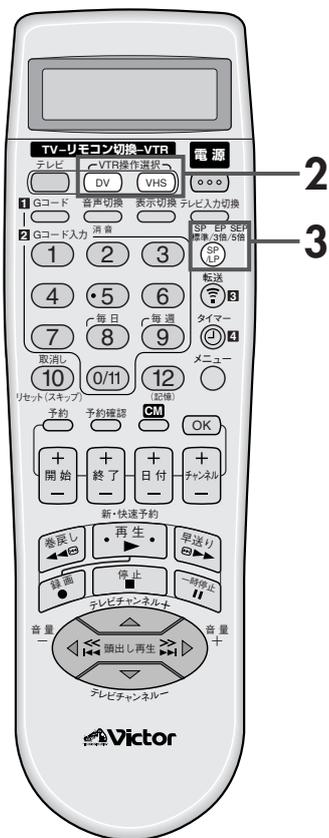
基本操作

ダビングする（まるごとダビング）

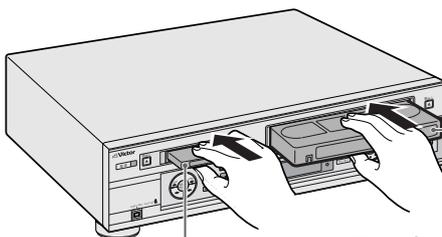
本機はVHSデッキとDVデッキを搭載していますので、他のビデオ機器をつながずに簡単にダビング／編集できます。
本機では次のような方法でダビング／編集することができます。

あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人としして楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

他のビデオ機器をつながずに、本機のみでダビング／編集する方法
- まるごとダビング　：カセット1本分をそのままダビングします。
- マルチダビング　：お好きな場面のみをいろいろ加えて編集します。
  始めに設定しておくと、自動的に編集できます。
  マルチダビングはDVデッキで再生してVHSデッキで録画します。（☞**76**ページ参照）
- 通常のダビング／編集：手動でお好きな場面のみを編集します。（☞**80**ページ参照）

DV端子のあるビデオムービーなどをつないでダビング／編集する方法
- デジタルダビング　：デジタルの高画質な映像のまま編集できます。（☞**82**ページ参照）

カセット1本分をまるごとダビングする

準備
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

1 カセットを入れる

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。

2 [DV]または[VHS]を押して、録画側デッキを選ぶ

3 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

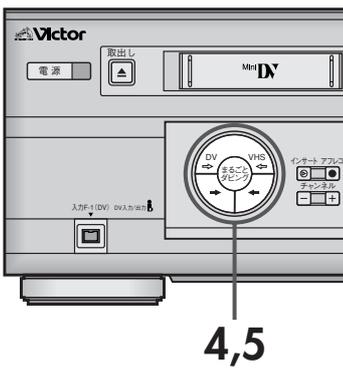
SP EP SEP
標準/3倍/5倍
SP/LP

- 押すたびに、切り換わります。

VHSデッキ
- SP（標準）：画質を重視するとき
- EP（3倍）：3倍長く録画するとき
- SEP（5倍）：5倍長く録画するとき（S-VHS記録時のみ）

DVデッキ
- SP：画質を重視するとき
- LP：1.5倍長く録画するとき
  （LPで録画した場合は、アフレコできません。）

お願い
- ダビングの方向を間違えると大切な録画が消去されてしまいます。
  まず不要なカセットで試しにダビングしてみることをおすすめします。
- 再生側のカセットは誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしておく（ミニDVカセット）か、ツメを折っておく（VHSカセット）ことをおすすめします（☞**63**ページ参照）。

* 「Dub」は外部入力ではなく、内部のDVデッキとVHSデッキの間の信号の送信を意味します。

4 [⇨]または[⇦]を押して、ダビングの方向を決める

DVデッキで再生して、VHSデッキで録画するとき

VHSデッキで再生して、DVデッキで録画するとき

5 [まるごとダビング]を押してダビングを始める

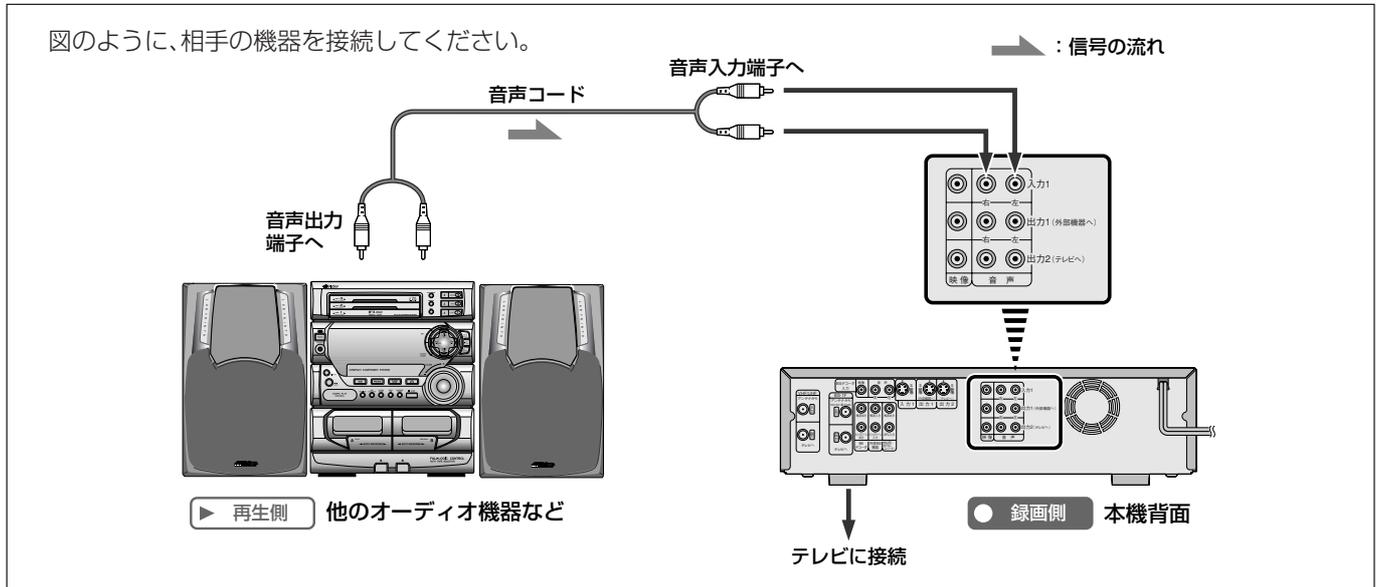
まるごとダビングボタンを2秒間押します。

テープが巻き戻されていない場合は、自動的に巻き戻され、録画側は録画一時停止状態に、再生側は再生一時停止状態になります。
両方とも巻き戻しが終了すると自動的にダビングを始めます。
ダビングが終わると、自動的にテープが巻戻されたあと取り出され、電源が切れます。

ダビングモードを解除するには、録画側デッキでCH＋／－でCHを変えます。

アフレコする（DVデッキ）

「音声モード」を「12BIT（アフレコ用）」に設定して（☞23ページ参照）録画したDVテープに、もとの音声を消さずに新たに音声を録音することができます。他のオーディオやビデオ機器をつないで録音する音声を再生します。

- 「音声モード」が「16BIT」で録画されたテープや録画スピードが「LP」（☞62ページ参照）で録画されたテープ、または録画されていないテープにはアフレコできません。

他機側（再生）

準備

- 再生するCDやビデオを入れておきます。
- 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備

- DVボタンを押して、DVデッキを操作できるようにします。
- 録画用のミニDVカセットを入れておきます。

1 ［チャンネル＋／－］を押して、外部入力を選ぶ

- 背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

2 ［再生］を押して、アフレコ開始場面を映す

3 ［アフレコ］を押す

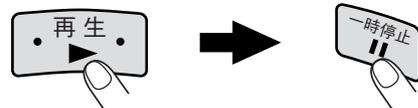
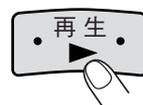
本体のボタンを使います。

- 本体表示窓の ⧁ 表示が点灯し○印のみ点滅を始めます。

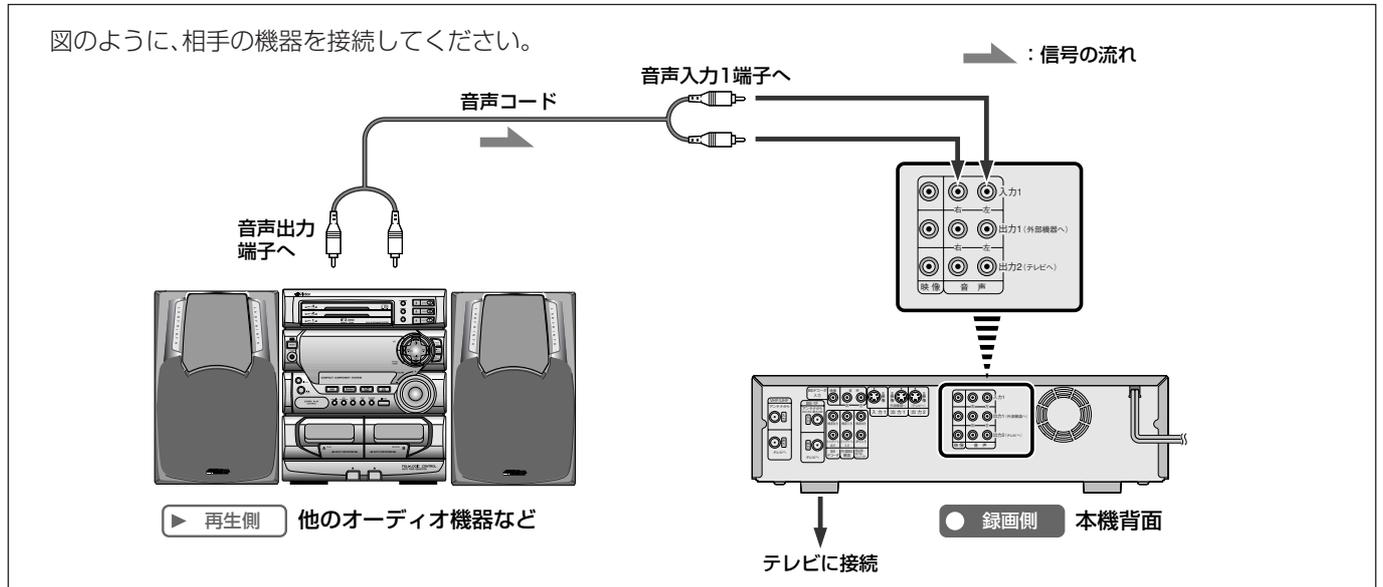
4 録音したい部分の少し前から再生を始める

5 ［再生］を押して、アフレコを始める

アフレコをやめるには、停止（■）ボタンを押します。

- アフレコ中の音声を聞くには
  テレビと接続（☞28ページ）してください。
- アフレコした音声を聞くには
  ☞91ページをご覧ください。
- DV入力端子からのアフレコはできません。

アフレコする（VHSデッキ）

録画済みテープに、もとのHi-Fi音声を消さずに新たにノーマル音声を録音することができます。他のオーディオやビデオ機器をつないで録音する音声を再生します。

- VHSデッキのアフレコ音声は、ノーマル音声トラックにのみ記録され、もとのノーマル音声は、消去されます。Hi-Fi音声トラックの音声は、そのまま残ります。
  録画されていないテープやSEP(倍)モードで録画されたテープにはアフレコできません。

他機側（再生）

準備

- 再生するCDかビデオを入れておきます。
- 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備

- VHSボタンを押して、VHSデッキを操作できるようにします。
- 録画用のVHSカセットを入れておきます。

1 [チャンネル+／−] を押して、外部入力を選ぶ

- 背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

2 [再生] を押して、アフレコ開始場面を映す

3 [アフレコ] を押す

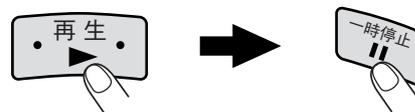
本体のボタンを使います。

- 本体表示窓の ⧐ 表示が点灯し○印のみ点滅を始めます。

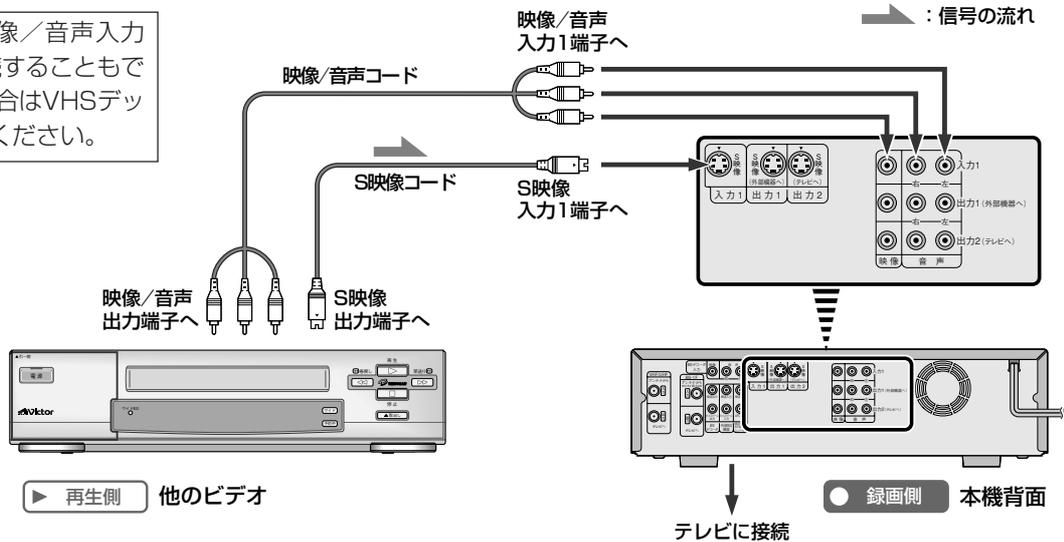
4 録音したい部分の少し前から再生を始める

5 [再生] を押して、アフレコを始める

アフレコをやめるには、停止(■)ボタンを押します。

- アフレコ中の音声を聞くには
  テレビと接続(☞**28**ページ)してください。
- アフレコした音声を聞くには
  ノーマル音声(☞**90**ページ)に切り換えてください。
- DV入力端子からのアフレコはできません。

インサートする（DVデッキ）

録画モードSPで録画済みのテープに、別の場面を挿入することができます。

- 「音声モード」が「16BIT」で録画されたテープや録画スピードが「LP」（☞**62**ページ参照）で録画されたテープ、または録画されていないテープにはインサートできません。

他機側（再生）

準備

- 再生するビデオテープを入れておきます。
- 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備

- DVボタンを押して、DVデッキを操作できるようにします。
- 録画用のミニDVカセットを入れておきます。
- 相手の機器を、どちらの映像入力端子（「S映像」または「映像」）につないだかを、メニューで正しく設定してください。（☞**22**ページ参照）両方の端子をつなぐ必要はありません。

1 [チャンネル＋／－] を押して、外部入力を選ぶ

- 背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

2 [再生] を押して、インサート開始場面を映す

3 [インサート] を押す

本体のボタンを使います。

- テレビの画面は、入力されている画面になります。（ ⧐ 表示点灯）

4 インサートしたい部分の少し前から再生を始める

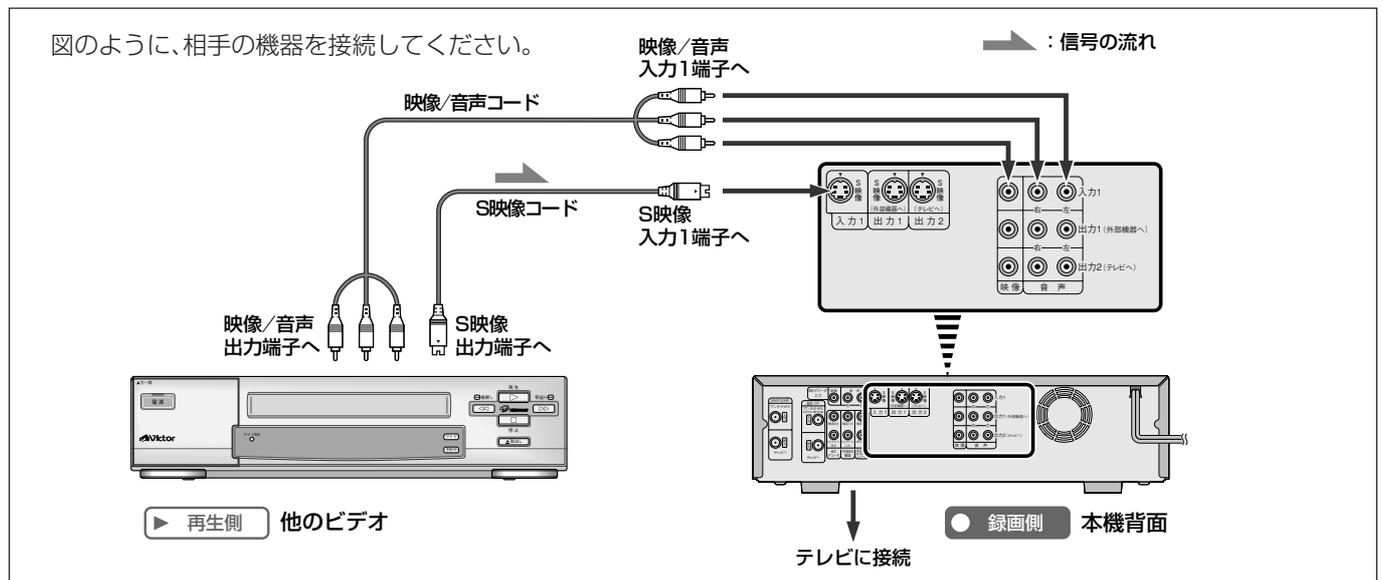
5 [再生] を押して、インサートを始める

インサートをやめるには、停止（■）ボタンを押します。

- インサート中の画像を見るには
  テレビと接続（☞**28**ページ）してください。
- DV入力端子からのインサートはできません。

インサート（VHSデッキ）

録画済みのテープにあとから映像とHi-Fi音声を挿入することができます。
インサートでは、映像トラックとHi-Fi音声トラックが新しく書き換えられます。

- 録画されていないテープやSEP(5倍)モードで録画されたテープにはインサートできません。
  ノーマル音声トラックの音声は、インサート前の音声が残ります。

他機側（再生）

準備

- 再生するビデオカセットを入れておきます。
- 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

本機側（録画）

準備

- VHSボタンを押して、VHSデッキを操作できるようにします。
- 録画用のVHSカセットを入れておきます。
- 相手の機器を、どちらの映像入力端子(「S映像」または「映像」)につないだかを、メニューで正しく設定してください。(☞**22**ページ参照)両方の端子をつなぐ必要はありません。

1 [チャンネル＋／－]を押して、外部入力を選ぶ

- 背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

2 [再生]を押して、インサート開始場面を映す

3 [インサート]を押す

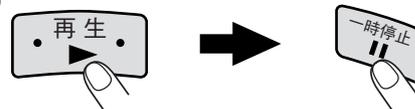
本体のボタンを使います。

- テレビの画面は、入力されている画面になります。(⊳表示点灯)

4 インサートしたい部分の少し前から再生を始める

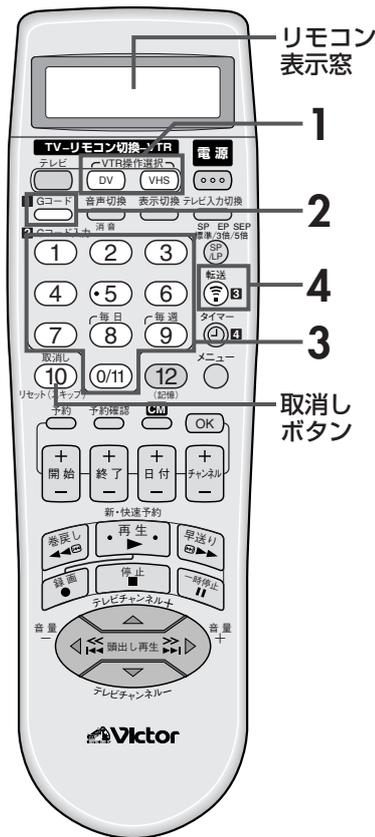
5 [再生]を押して、インサートを始める

インサートをやめるには、停止(■)ボタンを押します。

- DV入力端子からのインサートはできません。

録画を予約する（Gコード録画予約）

Gコードを使って録画を予約する

簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコードを使って録画を予約します。
Gコードを使って録画を予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。もう1度、ガイドチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。（☞**52**ページ）

準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。（☞**55**ページ）

1 [DV]または[VHS]を押して、予約するデッキを選ぶ

2 [Gコード]を押す

リモコン液晶表示窓

- - - - - - - - - SP

3 数字ボタンを押して、Gコード（番組予約番号）を入力する

1234 SP

- Gコードは新聞・雑誌などのテレビ番組欄でお調べください。
- リモコンには、通常8桁を入力しますが、0で始まるGコードのときだけ、9桁入力することができます。

数字の0を入力するときは、0/11を押します。
番号を間違えたときは、取消しボタン（10）を押します。

4 [転送]を押して、Gコードを本体に転送する

- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
  転送時に本体表示窓に「Err」や、テレビ画面に「ERROR」と表示されたときは、左のメモをご覧ください。メッセージが表示されたときには、それにしたがって確認してください。
- Gコードの転送では、録画スピードSEP（5倍）の設定はできません。5倍にするには、転送後に録画スピードボタンを押して「SEP（5倍）」に設定してください。

MEMO

- 手順**4**の操作後、「ERROR」と表示されたときは、次の点を確認してください。
  - 番組の開始時刻が過ぎていないか
  - Gコードが正しいか（このときは、Gコードを入力し直します。）
- 手順**4**の操作後、ガイドチャンネル合わせ（またはGコードインフォチャンネル合わせ）画面が表示されたときは、予約ボタンを押し、1度録画予約を中止します。
  このときは、ガイドチャンネルを設定してから（☞**52**ページ）、録画予約をやり直してください。

5 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

押すたびに、録画スピードが「標準(SP)」、「3倍(EP)」と「5倍(SEP)」に切り換わります。
DVデッキの録画予約をする場合、リモコンの表示窓には「SP」または「EP」と表示されますが、「SP」=「SP」、「EP」=「LP」の設定になります。

CMカットして録画したいときは

押すたびに、オートCMカットの「入/切」が切り換わります。
- オートCMカットについては、☞96ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

曜日の表示が「毎週」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは(本体表示窓では確認できません)

曜日の表示が「毎日(月〜金)」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。
- 録画の日付が土曜または日曜のときは設定できません。

録画終了時刻を変更したいときは

押すたびに、録画終了時刻が1分単位で延長(または短縮)されます。押し続けると30分単位で延長(または短縮)されます。

6 [OK]を押して、予約を終了する

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順**1**から**6**をくり返します。

7 [タイマー](◴)を押して、本機を録画予約待機の状態にする

表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。

これで、録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
- 別の録画を予約しているときは、表示窓の「◴」は点灯し続けます。

- Gコードを使って録画予約をしたときは、録画の開始時刻・日付とチャンネル番号は変更できません。
  変更したいときは☞75ページをご覧ください。
- Gコードで録画の予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 「ぴったり録画」(☞23ページ)が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。
  また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、☞74ページの予約確認することをおすすめします。
- DVデッキとVHSデッキで同時に同じチャンネルを録画予約することはできません。
- DVデッキとVHSデッキで録画予約の時間帯が重なった場合は、開始時刻が早いほうが優先されます。
  開始時刻が同時の場合は、VHSデッキが優先されます。

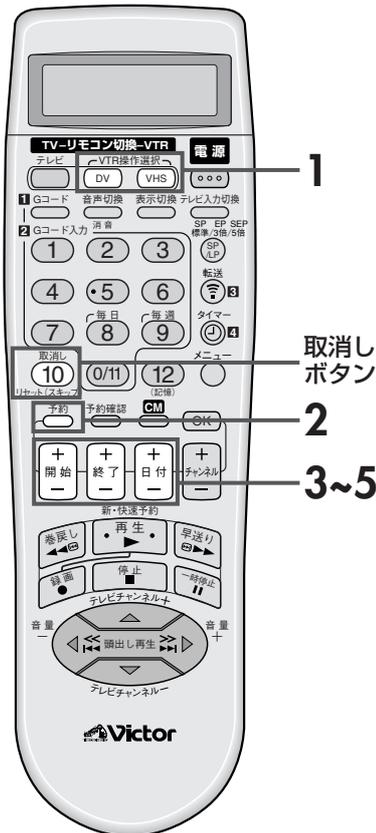
5倍モード録画
録画スピードのSEP(5倍)は、S-VHSテープを入れた時だけ使用できます。VHSテープでSEP(5倍)モードの予約は、本体表示窓に「EP」の点滅でお知らせします。テープをS-VHSテープに入れ換えるか、SEP(5倍)の設定を変更してください。VHSテープで5倍モード予約をすると、強制的にEP(3倍)で録画されますので、テープが足りなくなることにご注意ください。

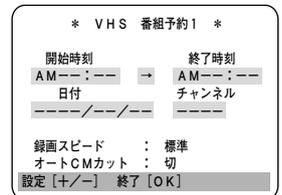
録画を予約する（新・快速録画予約）

録画を予約する

録画したい番組の開始時間、終了時間、チャンネルなどの情報を入力し録画を予約します。

準備

- 録画用のテープを入れておきます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。（☞**55**ページ）

1 ［DV］または［VHS］を押して、予約するデッキを選ぶ

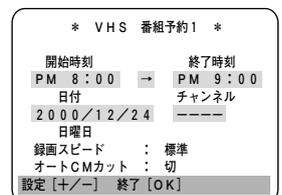
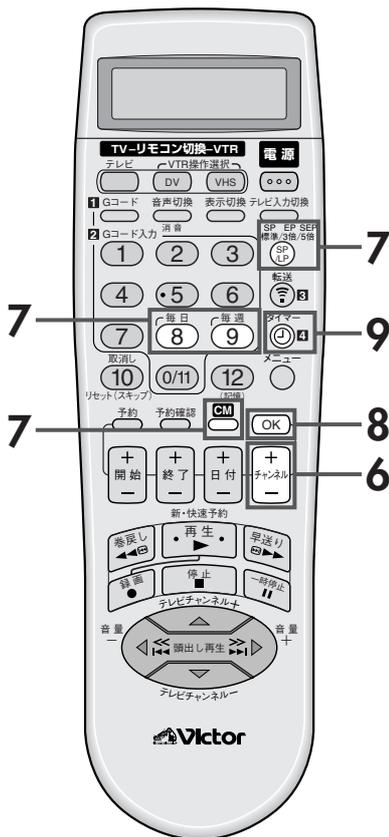
2 ［予約］を押して、「番組予約」画面を表示させる

3 ［開始＋／−］を押して、録画の開始時刻を設定する

押すたびに、録画の開始時刻が1分単位で変わります。押し続けると30分単位で変わります。

4 ［終了＋／−］を押して、録画の終了時刻を設定する

押すたびに、録画の終了時刻が1分単位で変わります。押し続けると30分単位で変わります。

5 ［日付＋／−］を押して、録画の日付を設定する

押すたびに、日付が1日単位で変わります。
西暦が来年の表示をしたときは、日付＋ボタンを1回押すと、今年の西暦になります。

- すでに予約が6予約分登録されていると、予約ボタンを押したときに、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。
- 最初からやり直したいときは、取消しボタンを押したあとで、手順**3**からおこなってください。

6 [チャンネル＋／－]を押して、チャンネルを選ぶ

＊ ＶＨＳ 番組予約1 ＊

開始時刻　終了時刻
ＰＭ ８：００ → ＰＭ ９：００
日付　チャンネル
２０００／１２／２４　４
日曜日
録画スピード ： 標準
オートＣＭカット ： 切
設定［＋／－］ 終了［ＯＫ］

- 本機前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。S端子を使用する時は、メニューの「映像入力F-1」を「S映像」(☞**23**ページ)に切換えてください。
- 本機背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」を表示させます。

7 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

押すたびに、録画スピードが「標準(SP)」、「3倍(EP)」と「5倍(SEP)」に切り換わります。DVデッキの場合は「SP」、「LP」の設定になります。

CMカットして録画したいときは

押すたびに、オートCMカットの「入/切」が切り換わります。
- オートCMカットについては、☞**96**ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

曜日の表示が「毎週」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは

曜日の表示が「毎日(月～金)」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。
- 録画の日付が土曜または日曜のときは設定できません。

8 [OK]を押して、予約を終了する

「番組予約を完了しました」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。
- 続けて、他の番組を予約するときは、手順**1**から**8**をくり返します。

9 [タイマー](◴)を押して、本機を録画予約待機の状態にする

表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。

これで、録画開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
- 別の録画を予約しているときは、表示窓の「◴」は点灯し続けます。

5倍モード録画

録画スピードのSEP(5倍)は、S-VHSテープを入れた時だけ使用できます。VHSテープでSEP(5倍)モードの予約は、本体表示窓に「EP」の点滅でお知らせします。テープをS-VHSテープに入れ換えるか、SEP(5倍)の設定を変更してください。VHSテープで5倍モード予約をすると、強制的にEP(3倍)で録画されますので、テープが足りなくなることにご注意ください。

- 「ぴったり録画」(☞**23**ページ)が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。

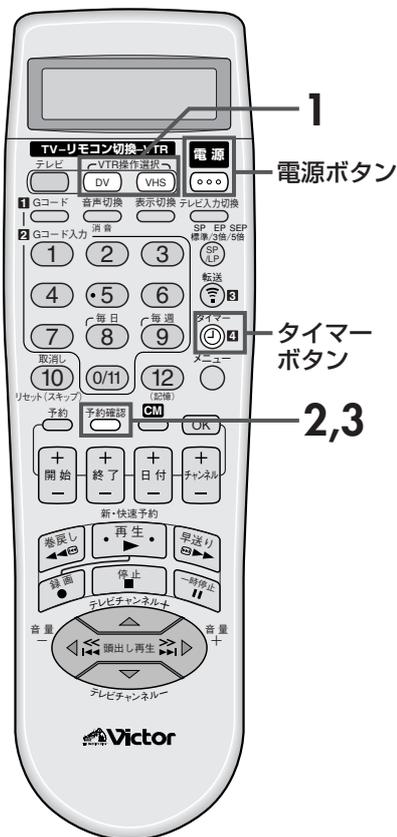
  また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、次ページの予約確認することをおすすめします。
- DVデッキとVHSデッキで同時に同じチャンネルを録画予約することはできません。
- DVデッキとVHSデッキで録画予約の時間帯が重なった場合は、開始時刻が早いほうが優先されます。

  開始時刻が同時の場合は、VHSデッキが優先されます。

予約を確認・変更・取消しをする

予約を確認する

準備

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

1 [DV]または[VHS]を押して、予約を確認するデッキを選ぶ

2 [予約確認]を押して、予約の確認画面を表示させる

- 録画予約している全番組が表示されます。

3 [予約確認]を押して、予約の確認画面を消す

- 押すたびに、録画予約されている内容が順番に表示されます。全てを表示すると、元のテレビ画面に戻ります。

予約した後で本機を使う

メニューの「オートタイマー」（☞**22**ページ）の設定によって、操作のしかたが異なります。

- **メニューの「オートタイマー」が「切」（お買い上げ時の設定）のときは：**
  タイマー（◷）ボタンを押します。録画予約待機が解除されます。（表示窓の「◷」が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を使い終わったら、もう1度タイマー（◷）ボタンを押します。
  ふたたび表示窓の「◷」が点灯し、録画予約待機中になります。

タイマー
4

- **メニューの「オートタイマー」が「入」のときは：**
  （リモコンのビデオボタンを押したあとで）電源ボタンを押すと、本機の電源が入り、録画予約待機が解除されます。（表示窓の「◷」が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を操作後、ビデオ電源を切ると、ふたたび表示窓の「◷」が点灯し、録画予約待機中になります。

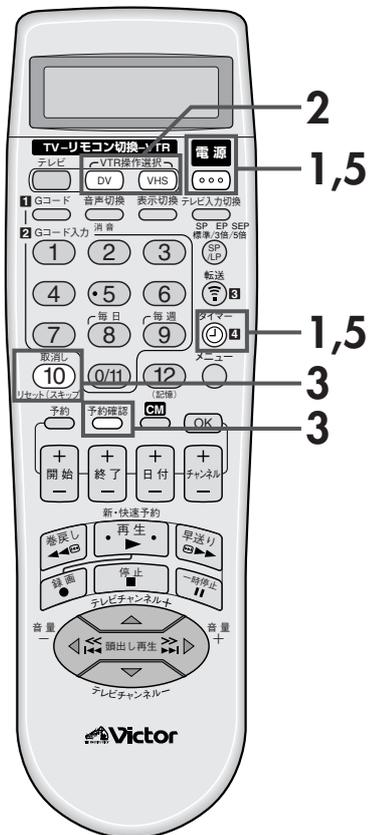
電 源

本機を使い終わったあとは

- 録画用のテープが入っていることを確認してください。
- 表示窓に「◷」が点灯していることを確認してください。

予約を変更・取消しをする

準備

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。

1

[タイマー]または[電源]を押して、表示窓の◴を消す

メニューの「オートタイマー」が「切」のとき　　メニューの「オートタイマー」が「入」のとき

2 [DV]または[VHS]を押して、予約を変更・取消しするデッキを選ぶ

3 [予約確認]を押して、予約の確認画面を表示させる

- 「予約を確認する」の手順**1**と**2**をご覧ください。
  録画予約を取消したいときは[取消し]を押します。
- 表示中の録画予約が取り消され、次の録画予約の詳細内容が表示されます。

取消し 10 リセット（スキップ）

4

必要に応じて、設定を変更する

- 「録画を予約する（新・快速録画予約）」（☞**72**〜**73**ページ）の手順**3**から**7**を参照してください。

5 [タイマー]（◴）または[電源]を押して、予約の変更を終了する

または

表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。

- 手順**2**で押したボタンと同じボタンを押してください。

MEMO

- 予約内容の表示から抜けるには予約確認ボタンを押します。

本体の表示窓で録画予約を確認するときは

本機の電源が入っていなくてもできます。

1. DVまたはVHSボタンを押す
2. 予約確認ボタンを押す
   本体の表示窓には「P:1、P:6」と表示されます。
3. 予約確認ボタンを押して、確認したい予約の録画予約番号を表示させる
   予約確認ボタンを押すたびに「P:1」、「P:2」と送られます。
4. OKボタンを押して予約内容を表示させる
   OKボタンを押すたびに、表示される内容が次の順番で切り換わります。

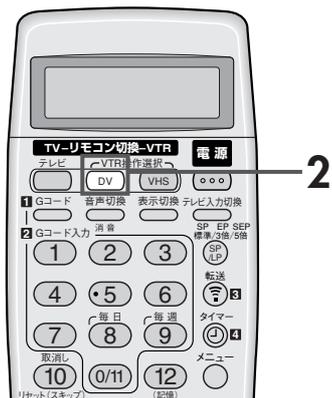
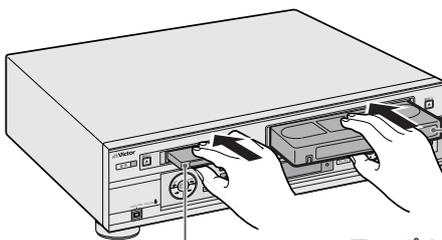
開始時刻→終了時刻→日付→チャンネル→オートCMカットの入/切
→録画予約番号→開始時刻…

録画予約

ダビングする（マルチダビング）

64プログラム編集メモリー（8作品×8プログラム）

本機はVHSデッキとDVデッキを搭載していますので、他のビデオ機器をつながずに簡単にダビング／編集できます。
マルチダビングでは、録画（撮影）済みのミニDVカセットの中からお好きな場面を8場面まで選んで、VHSデッキに自動的にダビングします。

準備
- 本機の電源を入れる。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

1 カセットを入れる

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。

2 [DV]を押して、DVデッキを選ぶ

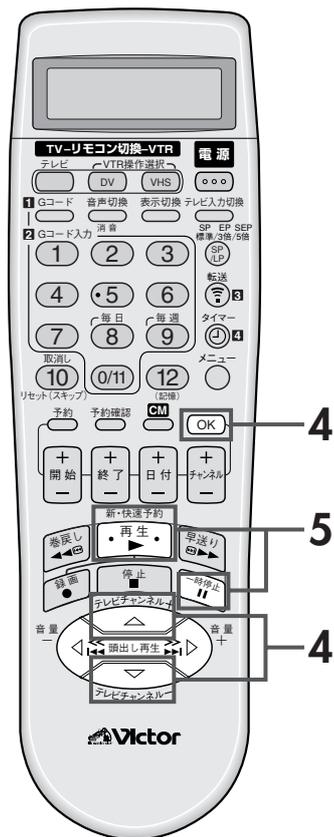
本体のDVボタンでも使えます。

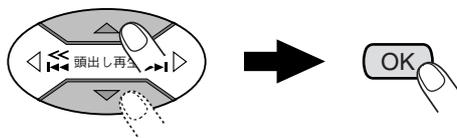
3

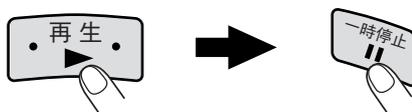
3 [マルチダビング]を押して、作品リスト画面を表示させる

```
DV → VHS
☞P1 ----年--月--日 --:--
 P2 ----年--月--日 --:--
 P3 ----年--月--日 --:--
 P4 ----年--月--日 --:--
 P5 ----年--月--日 --:--
 P6 ----年--月--日 --:--
 P7 ----年--月--日 --:--
 P8 ----年--月--日 --:--
プログラム選択［＋/－］ 実行［開始］
```

作品番号を選び（作品番号を点滅させる）、取消し／リセットボタンを2秒以上押すと、その作品を作品リストから削除することができます。

- マルチダビングができるのは、DVデッキで再生してVHSデッキで録画する場合のみです。
- ミニDVカセットは誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしておくことをおすすめします（☞**63**ページ参照）。

4 [△／▽]を押して、作品番号を選び[OK]を押す

マルチダビング設定画面が表示されます。

5 [再生]を押して、編集開始場面を映し[一時停止]を押す

ミニDVテープを再生して、編集を始める場面をテレビ画面に映します。

6 [から／まで]を押す

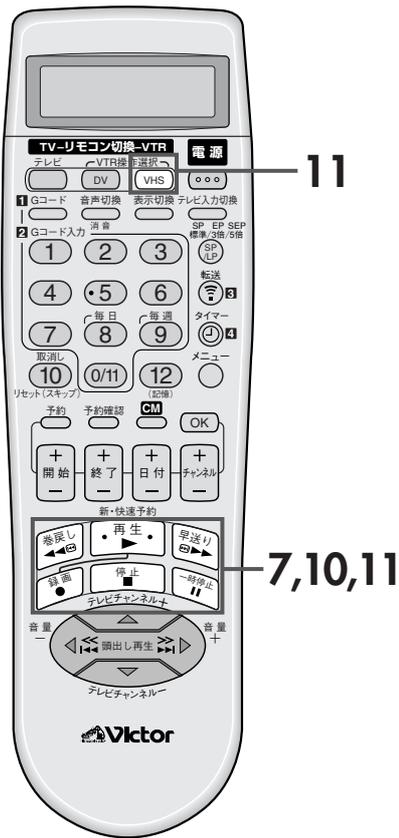
編集開始場面のタイムコードが表示されます。

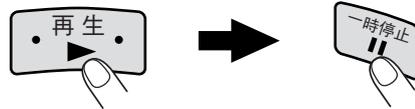
タイムコードの合計時間

編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値(フレーム)が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。

自動編集機能について

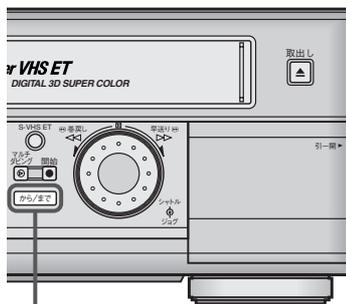
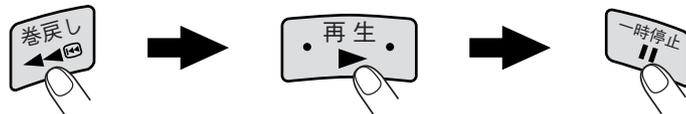
録画済みのテープの中から場面をお好きな順番に選び、並べ変えてダビングすることができます。
そのためには、あらかじめ自動編集したい順番に場面番号を設定しておいてください。
そして自動編集すると、次のように編集されます。

8

7 [再生]を押し編集終了場面を映し[一時停止]を押す

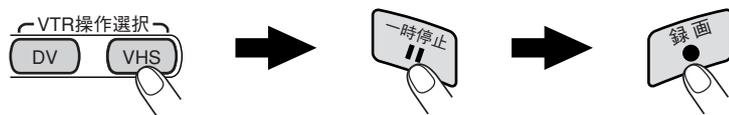
ミニDVテープを再生して、編集を終わる場面をテレビ画面に映します。

8 [から／まで]ボタンを押す

編集終了場面のタイムコードが表示されます。

9 手順*5*～*8*を繰り返して編集する場面を設定する

10 最初に設定した開始場面あたりまでテープを巻戻し、一時停止の状態にする

11 VHSデッキを選び、録画一時停止の状態にする

押したまま

MEMO

こんなときはマルチダビングできません

- 同じタイムコードが2つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
- 編集終了場面のタイムコードが編集開始場面のタイムコードより小さい場合。
- 編集終了場面と開始場面までの早送り時間が録画一時停止させておける時間（約5分）を超えるときは、自動編集できません。

マルチダビング設定画面の内容を修正したいときは

リセットー取消しボタンを押します。

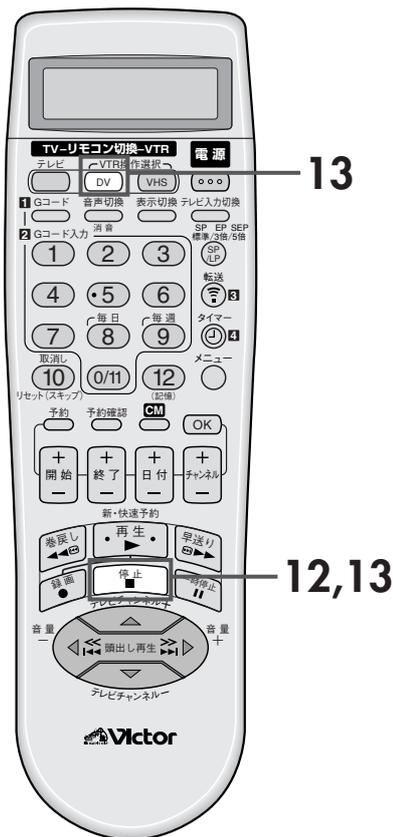
タイムコード(「ココカラ」／「ココマデ」)を修正したいときは

リセットー取消しボタンを押したあとで、DVデッキ側で正しい場面を映し、から／までボタンを押してください。

マルチダビングを途中で止めるには

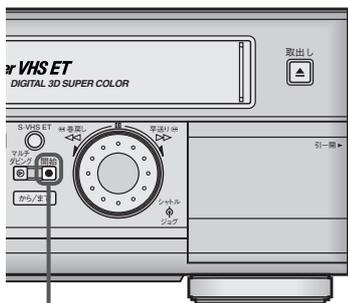
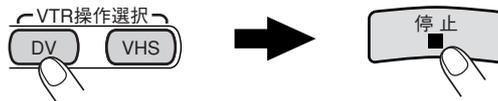
マルチダビングボタンをもう一度押すと作品リスト画面に戻ります。さらにもう一度押すと、テレビ画面に戻ります。

録画スピードを設定するには

1. 手順**9**のあとでVHSボタンを押してVHSデッキを操作できるようにする。
2. 録画スピードボタンを押して録画スピードを設定する。

11 [開始]を押して、自動編集を始める

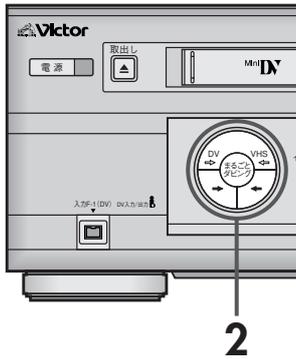
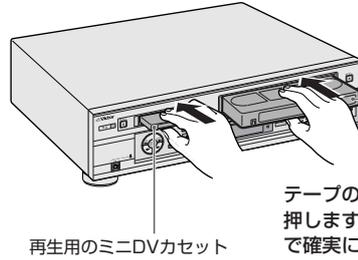
マルチダビングが終わると、自動的にDVデッキは静止画再生の状態になり、VHSデッキは録画一時停止の状態になります。

12 [停止]を押して、VHSデッキを停止させる

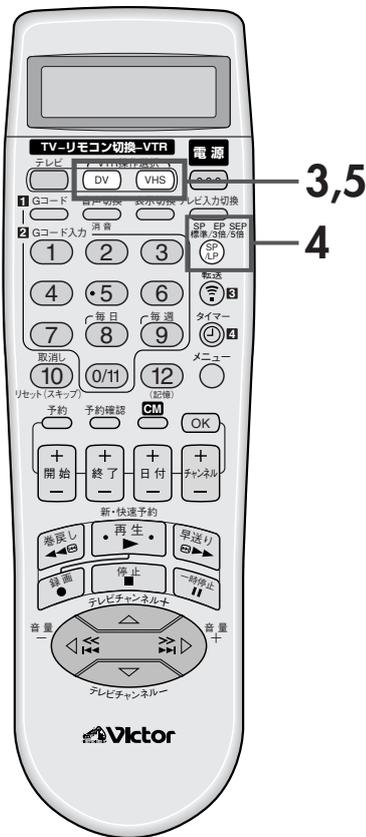
13 [DV]を押して、DVデッキを選んで、[停止]を押す

● 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック(青い画面)を記録してしまうことがあります。

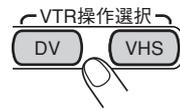
2つ以上の作品を続けてマルチダビングするときは
作品ごとに開始ボタンを押してください。
また、別のミニDVカセットからダビングするときは、ミニDVカセットを入れ換えてから、開始ボタンを押してください。

ダビングする（通常タビング）

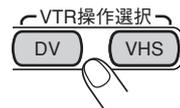
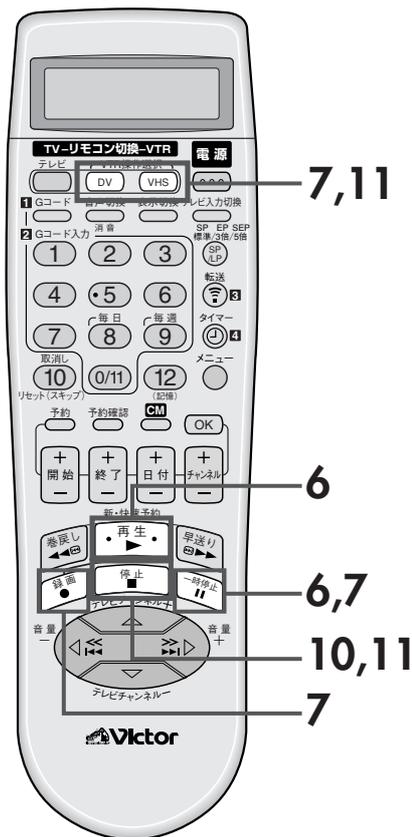
テープの好きな場面から始め、好きなところで止めてダビング／編集することができます。

3,5

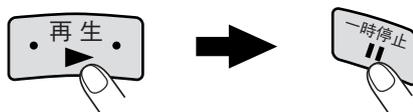
4

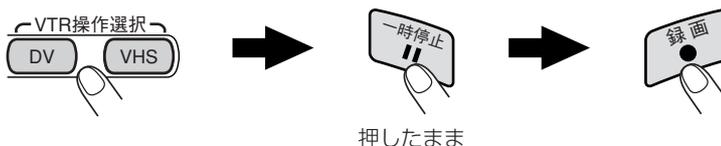
1 カセットを入れる

2 [⇨]または[⇦]を押して、ダビングの方向を選ぶ

3 [DV]または[VHS]を押して、録画するデッキを選ぶ

本体のDV、VHSボタンも使えます。

4 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

5 [DV]または[VHS]を押して、再生するデッキを選ぶ

6 [再生]を押して、編集開始場面を映し[一時停止]を押す

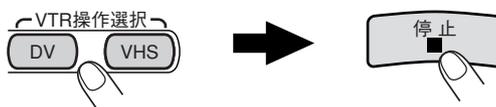
再生側のテープを再生して、編集を始める場面をテレビ画面に映します。

7 録画側のデッキを録画一時停止にする

押したまま

8 [開始]を押し、ダビングを始める

9 [開始]を押して、ダビングを止める

- 再生側のデッキは再生一時停止状態になり、録画側のデッキは録画一時停止状態になります。
- 続けていくつかの場面をダビングするときは、手順**6**〜**9**を繰り返してください。

10 [停止]を押して、編集を終了する

11 [DV]または[VHS]を押して、再生側のデッキを選び、[停止]を押す

- ダビングの方向を間違えると大切な録画が消去されてしまいます。まず不要なカセットで試しにダビングしてみることをおすすめします。
- 再生側のカセットは誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしておく（ミニDVカセット）か、ツメを折っておく（VHSカセット）ことをおすすめします（☞**63**ページ）。
- 編集開始場面は数秒ずれることがあります。
- 操作中／ダビング中の画面表示は録画されません。
- VHSデッキからDVデッキにダビングするときは、DVテープの音声モードを選べます。（☞**23**ページ）

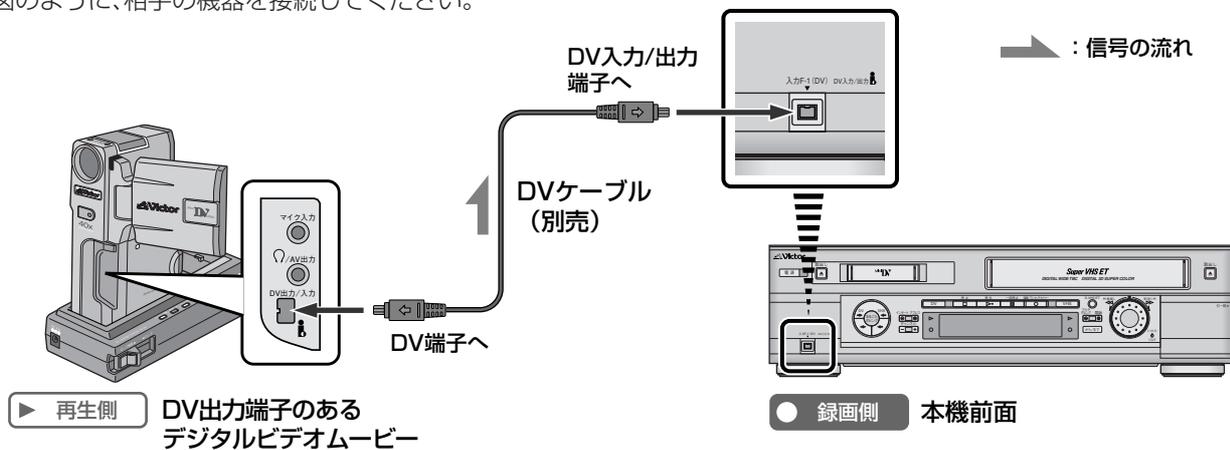
DVデッキからVHSデッキへダビングするときは

- アフレコしたDVテープをダビングするときは、あらかじめ音声を選んで再生してください。（☞**91**ページ）

他のビデオ機器をつないでダビングする

DV端子のあるビデオ機器をつなぐ

DV端子のあるビデオムービーなどをつないで、デジタルダビングができます。
デジタルなので画質／音質を落とさずにダビング／編集できます。

図のように、相手の機器を接続してください。

- 本機を再生側にしてダビングすることもできます。（☞81ページ）

他機側（再生）

準備

- 再生するDVカセットを入れておきます。
- 相手の機器がビクター製のデジタルビデオムービーのときは、デジタルビデオムービーの編集（EDIT）端子と本機のリモートポーズ端子を接続します。デジタルビデオムービーからの操作だけでダビングや編集を行うことができます。
  ビデオムービーの詳しい操作については、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

- ダビングが終わったときは、ビデオムービーと本機の両方のを、ともに停止してください。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

3 ダビングする部分の少し前から再生を始める

- DV端子を使ってダビングしているときに、再生機側で無記録部分などを再生したり、無信号の状態になると 録画機は停止します。

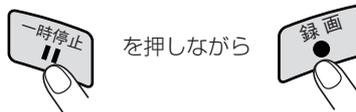
本機側（録画）

準備

- 録画用のミニDVカセットを入れておきます。
- DVボタンを押して、DVデッキを選びます。

1 ［チャンネル＋／－］を押して、外部入力（F-1）を選ぶ

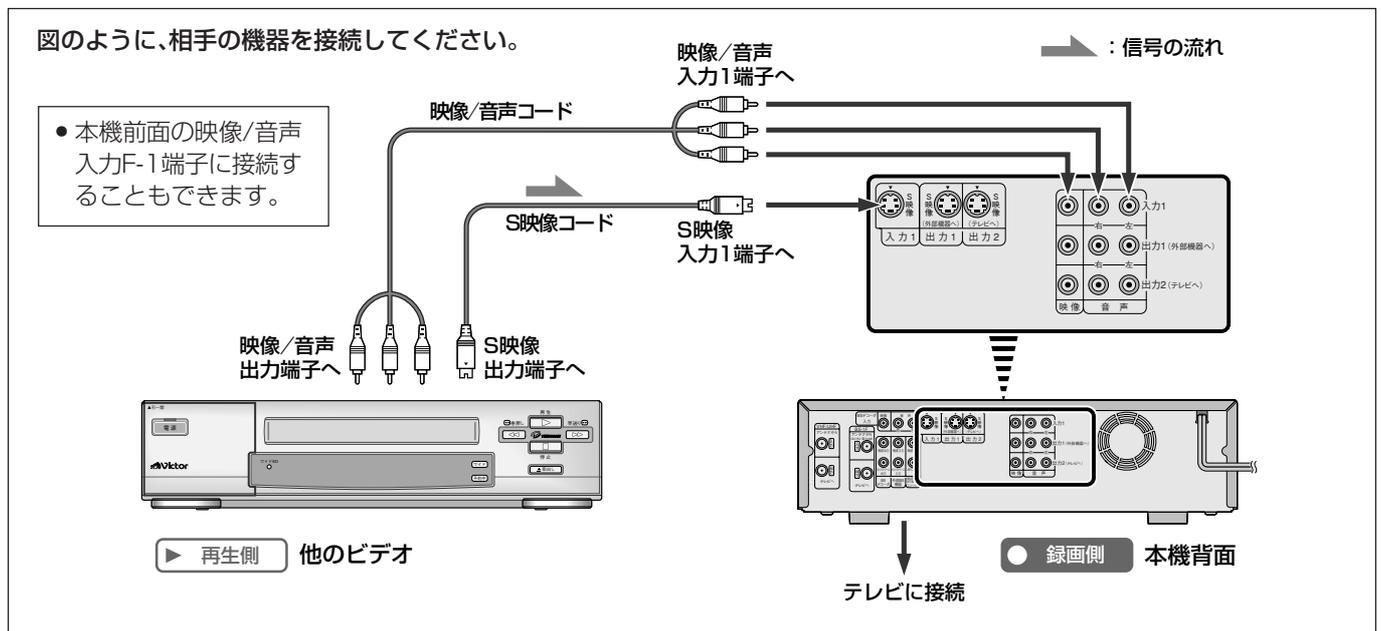
2 ［一時停止］を押しながら［録画］を押す

を押しながら

4 ［再生］を押して、録画を始める

映像／音声端子につないでダビングする−他機で再生、本機で録画

他社やビクター製のビデオデッキをつないでダビング／編集できます。

図のように、相手の機器を接続してください。

- 本機前面の映像/音声入力F-1端子に接続することもできます。

他機側（再生）

準備

- 再生するカセットを入れておきます。
- 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。VHSデッキで録画するときはS-VHSの標準モードを選ぶことをお勧めします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

本機側（録画）

準備

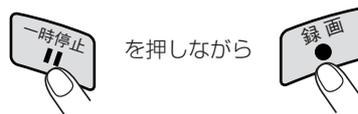
- 相手の機器を、どちらの映像入力端子（「S映像」または「映像」）につないだかを、メニューで正しく設定してください。（☞22ページ参照）　両方の端子をつなぐ必要はありません。
- VHSまたはDVボタンを押して、デッキを選びます。
- 録画用のカセットを入れておきます。

1 [チャンネル＋／−]を押して、外部入力を選ぶ

- 前面の映像/音声入力F1端子に、相手の機器をつないだときは「F-1」、背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L-1」を選びます。

2 [一時停止]を押しながら[録画]を押す

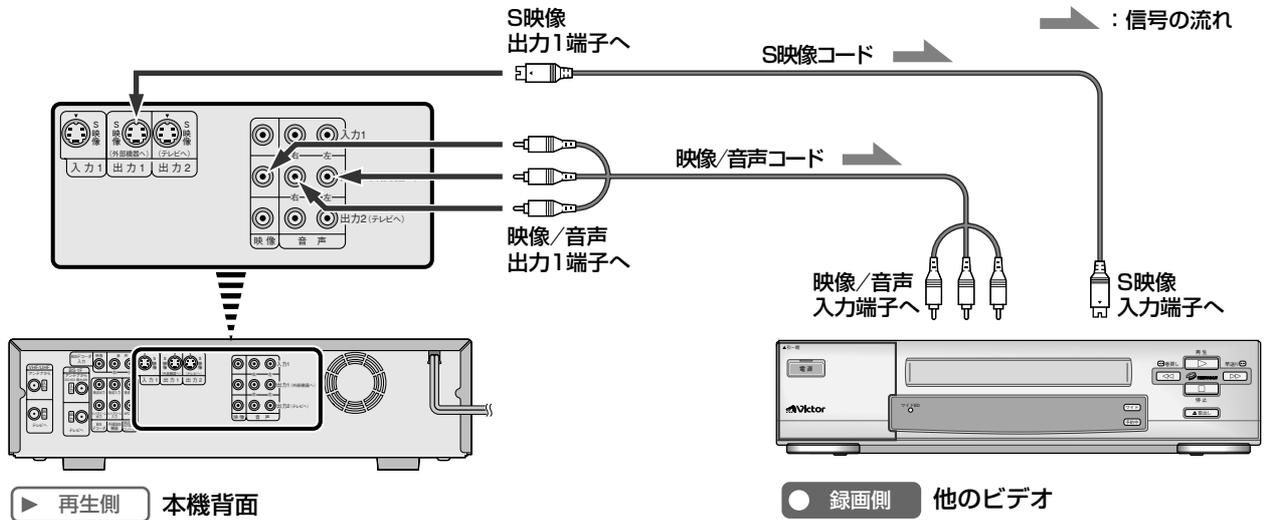
を押しながら

3 ダビングする部分の少し前から再生を始める

4 [再生]を押して、録画を始める

ダビング

他のビデオ機器をつないでダビングする（つづき）

映像／音声端子につないでダビングするー本機で再生、他機で録画

図のように、相手の機器を接続してください。

本機側（再生）

準備

- 再生するカセットを入れておきます。
- DVまたはVHSボタンを押してデッキを選びます。
- 本機背面の映像／音声出力2端子に接続した場合は、メニューの「オンスクリーン」（☞**22**ページ）を「切」にしておきます。「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が一緒に録画されてしまいます。
- メニューの「出力1選択」（☞**22**ページ）を再生するデッキに合わせます。

他機側（録画）

準備

- 録画用のカセットを入れておきます。
- 実際の操作のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。

1 本機を接続した外部入力を選ぶ

2 録画一時停止状態にする

3 ダビングしたい部分の少し前から［再生］を押して、再生を始める

4 録画を始める

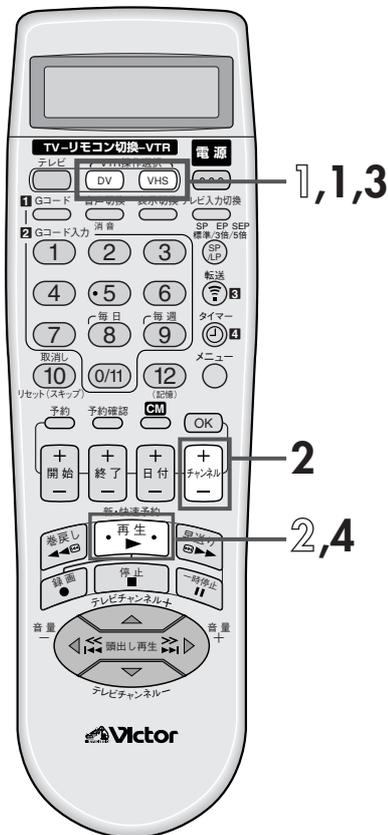
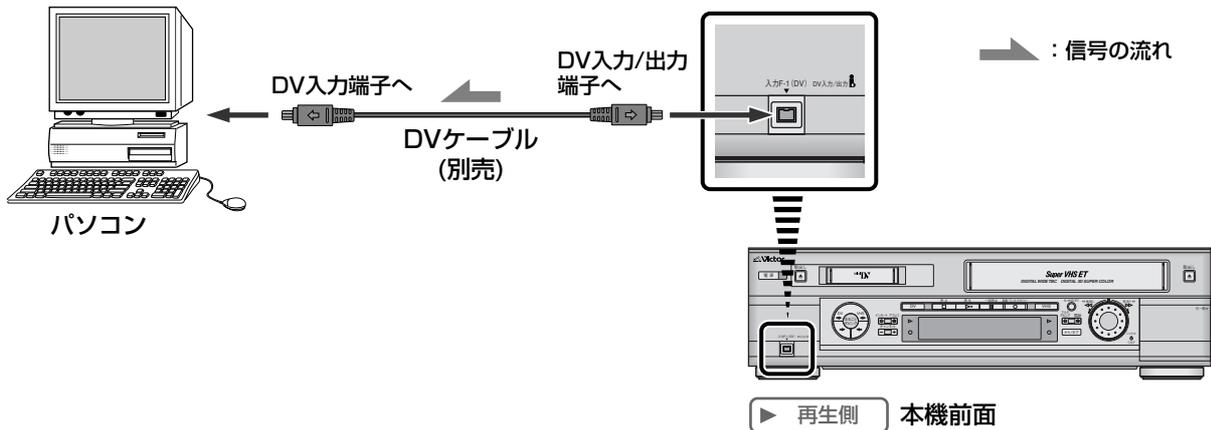
MEMO

- VHSデッキを使用するときは、メニューの「VHSモード選択」の「インテリジェントピクチャー」を「ダビング」にします。（☞**23**ページ）
  よりきれいな映像でテープがダビングできます。
  ダビングが終わったあとは、必ず「インテリジェントピクチャー」を「オートピクチャー」に戻しておいてください。

パソコンを接続する

本機前面のDV入力／出力端子にパソコンを接続することができます。

接続する機器、ソフトによっては使用できない場合があります。
また、接続するパソコンにはDV入出力端子及びビデオキャプチャー機能が必要です。詳しくは接続する機器やソフトの取扱説明書をご覧ください。

図のように、プリンターとパソコンを接続してください。

DVデッキの画像をパソコンに出力するときは

1 [DV]を押す

2 [再生]を押す
テレビ画面に映っている画像がDV出力端子から出力されます。
ただし、オンスクリーン表示は出力されません。

VHSデッキの画像をパソコンに出力するときは

1 [DV]を押す

2 [チャンネル+／−]を押して、「Dub」をDVデッキの表示窓に表示させる

3 [VHS]を押す

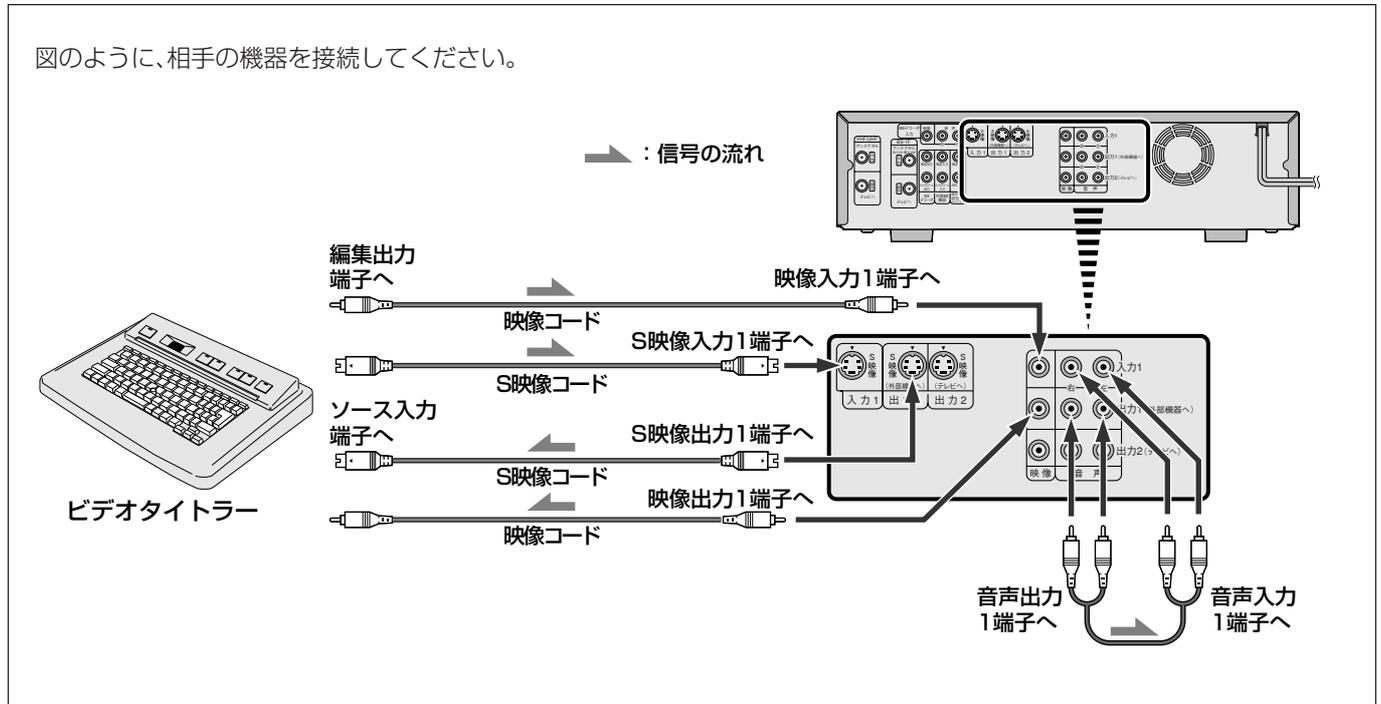
4 [再生]を押す
VHSデッキの再生画像がDV出力端子から出力されます。
ただし、オンスクリーン表示は出力されません。

- DV入力端子のあるデジタルビデオムービーやデジタルビデオデッキを接続すると、本機を再生側にしてデジタルダビングをすることができます。(☞**82**ページ)
- パソコンからの信号を入力するときの接続は☞**82**ページをご覧ください。

ビデオタイトラーを接続する

ビデオタイトラーをつなぐ

本機で、DVデッキからVHSデッキにダビングするとき(またはVHSデッキからDVデッキ)、ビデオタイトラーを接続してタイトルをインサートすることができます。

図のように、相手の機器を接続してください。

再生側

準備

- 再生するデッキにカセットを入れておきます。
- 必要なタイトルを作成しておいてください。タイトルの作成など操作方法については、お手持ちのビデオタイトラーの取扱説明書をご覧ください。
- メニューの「モード選択」画面から、再生デッキの信号を選びます。
  ミニDVデッキで再生するときには「出力1選択」を「DV」にします。
  VHSデッキで再生するときには「出力1選択」を「VHS」にします。

1 再生側デッキを[DV]または[VHS]を押して選ぶ

2 ダビングしたい場面を探して、その少し前で一時停止状態にする

- 接続時に発振する(画面が乱れる)ことがありますが、故障ではありません。そんなときは再生側の入力をL-1以外にしてください。

録画側

準備

- 録画用のデッキにカセットを入れておきます。
- 前面の入力端子を使うときは、メニューの「VHSモード選択」画面から、「映像入力F-1」を選びます。
  S映像端子を入力に使うときは「映像入力F-1」を「S映像」にします。
  映像端子を入力に使うときは「映像入力F-1」を「映像」にします。

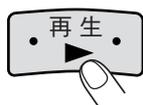
- 一時停止状態が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

3 録画側デッキをDVボタンまたはVHSボタンを押して選ぶ

再生側

5 ビデオタイトラーで、タイトルを表示できるように準備をする

9 再生側デッキを[DV]または[VHS]を押して選ぶ

10 ダビングする部分の少し前から[再生]を押して、再生を始める

13 タイトルを入れたい場面でタイトラーのインボタンを押して、タイトルを入れる

録画側

4 [チャンネル＋／－]を押して、外部入力(L-1)を選ぶ

6 インサート終了点を頭出ししてカウンター値を記録する

7 インサート開始点まで巻き戻して再生一時停止状態にする

8 [インサート]を押す

11 録画側デッキを[DV]または[VHS]を押して選ぶ

12 [再生]を押して、インサートしたい場面から録画を始める

14 カウンター値がインサート終了点まで来たら[停止]を押す

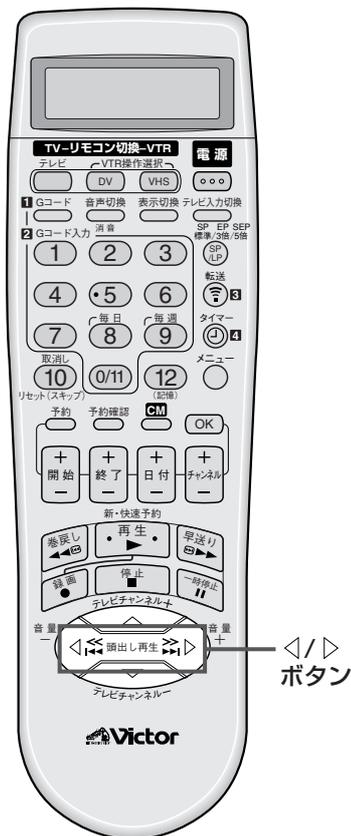
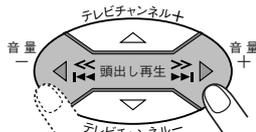
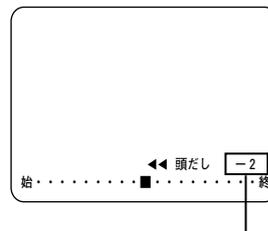
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

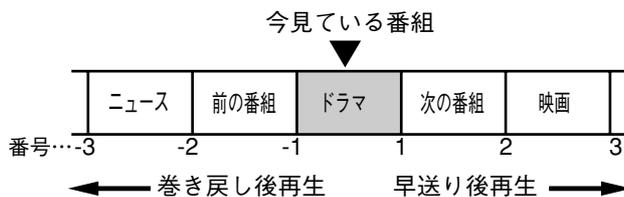
番組の頭出しをする

頭出し再生（VHSデッキのみ）

本機では、録画を始めると自動的に録画の始まりの部分にインデックスマーク（VISS）と呼ばれる信号が記録されます。この信号を使って、録画の頭出しを簡単にするこができます。

テープの何番目に見たい番組が録画されているかわかっているときに便利です。インデックスマーク（VISS）は前後9番目まで指定できます。

◁/▷
ボタン

停止中に

● 押すたびに、頭出しの番号がひとつづつ増えて（減って）いきます。

指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）のひとつ前の番組を見たいとき

番号の指定のしかた

［例］次の番組を頭出しするとき：
▶ボタンを1回押す。
今見ているの番組を頭出しするとき：
◀ボタンを1回押します。
前の番組を頭出しするとき：
◀ボタンを2回押します。

● 頭出しができるのはVHSデッキのみです。

再生中の映像を調節する（VHSデッキのみ）

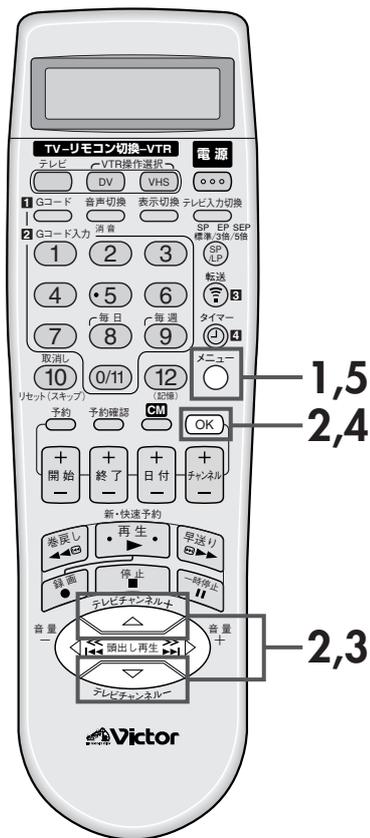
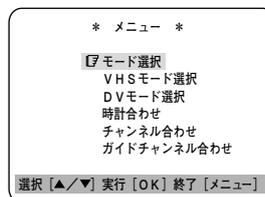
画面の歪みを補正する（TBC）

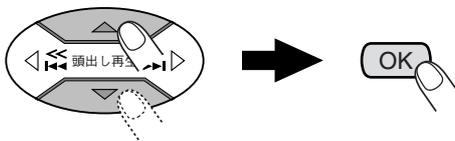
本機は、テープの伸びや変形によって再生画像に発生する微妙な横揺れや画面の曲がりを補正し、安定した画面で再生するデジタルタイムベースコレクターを採用しています。

（TBC：Time Base Correctorの略）

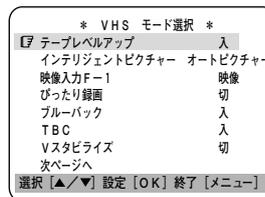
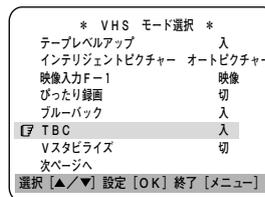
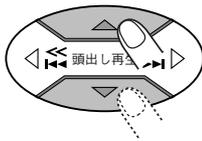
このようなときに効果を発揮します
- ビデオムービーで記録したテープを再生するとき
- 何度もくり返し使用したテープを再生するとき
- ダビング時、本機を再生側で使用するとき

例：「TBC」を「切」にする

1,5
2,4
2,3

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「VHSモード選択」を選び[OK]を押す

＊ VHS モード選択 ＊
テープレベルアップ 入
インテリジェントピクチャー オートピクチャー
映像入力F－1 映像
ぴったり録画 切
ブルーバック 入
TBC 入
Vスタビライズ 切
次ページへ
選択［▲／▼］設定［OK］終了［メニュー］

を「VHSモード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「TBC」を選ぶ

次のようなときは「TBC」を「切」にすると見やすい場合がありあます
- 電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、録画状態の悪いテープを再生するとき
- 「S-VHS ET」（☞**97**ページ参照）で録画スピード「3倍」で録画されたテープを再生するとき
- 特殊な信号（パソコン、一部のキャラクタージェネレーターなど）を録画したテープを再生するとき
- 「TBC」を「入」にすると、自動的に「Vスタビライズ」（☞**23**ページ参照）は「切」になります。「TBC」と「Vスタビライズ」を同時に働かせることはできません。

4 [OK]を押して、「切」を選ぶ

5 [メニュー]を押して、終了する

聞きたい音声を選ぶ

二重音声放送（二カ国語放送など）やステレオ放送を録画したテープを再生するときは、聞きたい音声を選ぶことができます。メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。（☞22ページ）
また、アフレコされたDVテープの音声も切り換えられます。
● 文字多重放送は二重音声放送ではありません。

準備
● DVまたはVHSボタンを押して、使用するデッキを操作できるようにしてください。

音声を選ぶ－VHSデッキの場合

押すたびに、聞こえる音声が次のように変わります。

● **二重音声放送を（主音声と副音声で）録画したテープのとき**
メニューの「ミックス音声」（☞23ページ参照）が「切」のとき

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声（主音声）
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

● **ステレオ放送を録画したテープのとき**
メニューの「ミックス音声」が「切」のとき

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声（モノラル音声）
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

● ハイファイ音声が録音されていないテープを再生中は、他の音声を選ぶことはできません。
● お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューで「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（☞22ページ）
● お買い上げ時の設定では、メニューの「ミックス音声」は「切」になっています。（☞23ページ）

メニューの「ミックス音声」が「入」のときは（VHSデッキのみ）

左右の音声（二重音声やステレオ音声）にノーマル音声がミックスして聞こえてきます。
音声切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

聞こえる音声	ミックス音声（左右の音声+ノーマル音声）	左音声+ノーマル音声	右音声+ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス 左　右	ミックス 左	ミックス　右

お願い

● 「ミックス音声」が「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。
このときは、メニューの「ミックス音声」を「切」にしてください。
（☞23ページ）

音声を選ぶ－DVデッキの場合

押すたびに、聞こえる音声が次のように変わります。

メニューの「12BIT音声」が「フル音声」になっているときは

- 二重音声放送は「主音声＋副音声」に、ステレオ放送は「ステレオ音声」になります。
  「主音声」または「副音声」のみ、「右音声」または「左音声」のみを選択することはできません。その場合は、メニューで「音声１」を選んでください。
- お買いあげ時の設定では、メニューの「12BIT音声」は「音声1」になっています。

● **二重音声放送を（主音声と副音声で）録画したテープのとき**

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声
テレビ画面の表示	左　右	左	右

● **ステレオ放送を録画したテープのとき**

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声
テレビ画面の表示	左　右	左	右

アフレコしたDVテープの音声を選ぶ

メニューで「12BIT音声切換」を切り換えます。

1. ［メニュー］を押す
2. ［△／▽］を押して、「DVモード選択」を選ぶ
3. ［OK］を押す
4. ［△／▽］を押して、「音声モード」を選ぶ
5. ［OK］で「12BIT」を選ぶ
6. ［△／▽］を押して、「12BIT音声」を選ぶ
7. ［OK］で「音声1」または「音声2」、「フル音声」を選ぶ

聞こえる音声	録画時の音声	アフレコ音声	録画時の音声＋アフレコ音声
12BIT音声	音声１	音声２	フル音声

8. ［メニュー］を押し、メニュー操作を終了する

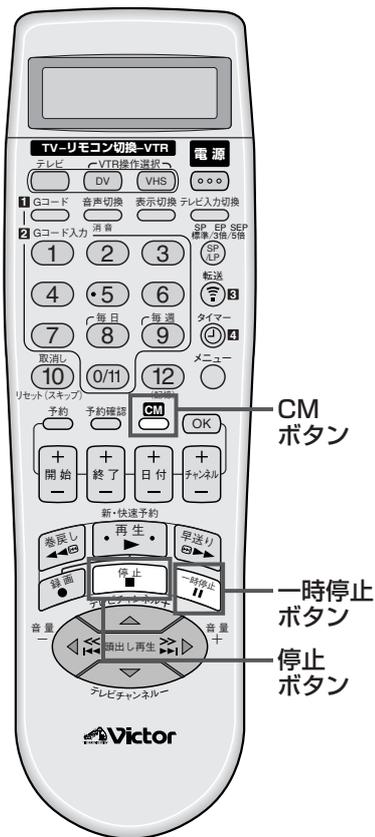
アフレコするには（☞66ページ参照）
アフレコができるのは、あらかじめ「音声モード」を「12BIT（アフレコ用）」に設定して録画したDVテープのみです。（☞23ページ参照）

再生に便利な機能

コマーシャルを飛ばして再生する（VHSデッキのみ）

テープを再生中に、コマーシャル部分を30秒単位で早送りすることができます。
（CMスキップサーチ）

再生中に

1度押すと、早送りが始まります。
その後押すたびに、早送りの時間が約30秒ずつ（最長2分まで）増えていきます。

コマ送りやスローで再生する

再生中に

- 1度だけ押すと、一時停止になり、静止画がテレビ画面に表示されます。（静止画再生）
- 2秒以上押し続けると、スローで再生されます。（スロー再生）（VHSデッキのみ）

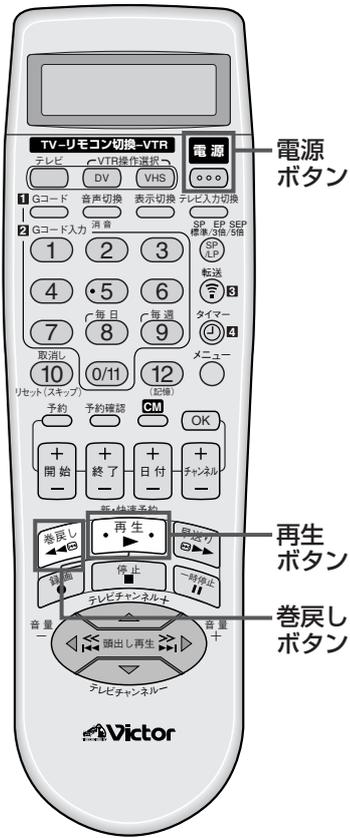
一時停止中に

- くり返し押すと、押すたびに映像が1コマずつコマ送りで再生されます。（コマ送り）

再生を止めるには、停止（■）ボタンを押します。

再生または録画一時停止の自動解除について

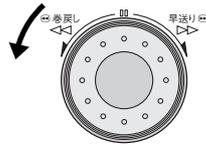
- DVデッキの場合は、以下の操作を各時間行うとテープ保護のため自動的に解除され、停止します。
  - 録画一時停止　5分
  - 再生一時停止　3分
  - スロー再生　1分
  - 逆転スロー再生　30秒
  - アフレコポーズ　3分
  - インサートポーズ　5分
- VHSデッキの場合は、すべて5分で自動的に解除され、停止します。

その他の便利な機能(ネクストファンクションメモリー)

テープを巻戻してから、再生する

を押してから、約2秒以内に

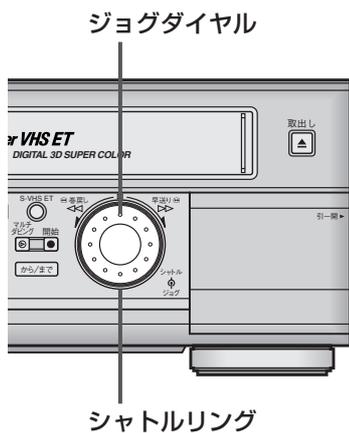
テープを巻戻してから、電源を切る

を押してから、約2秒以内に

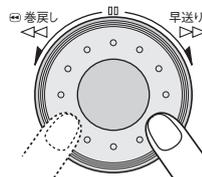
テープを巻戻してから、カセットを取り出す

本体のシャトルリングを
左へ回してから、約2秒以内に

取出し

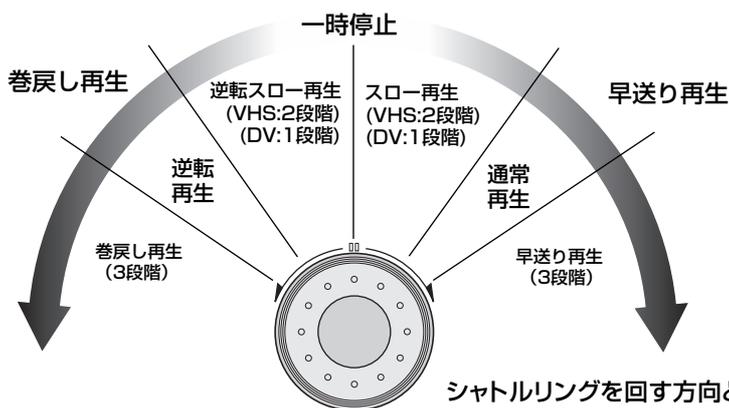
(本体)

再生に便利な機能

ジョグダイヤルでコマ送り再生する

再生中に

ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。

再生スピードを変える

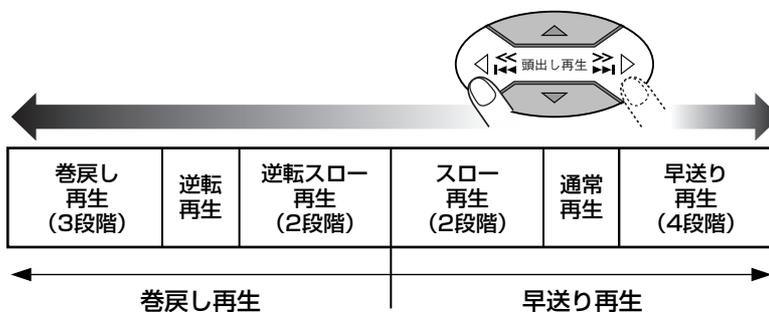
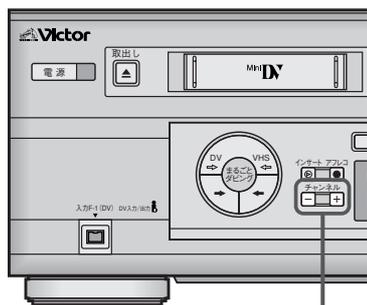
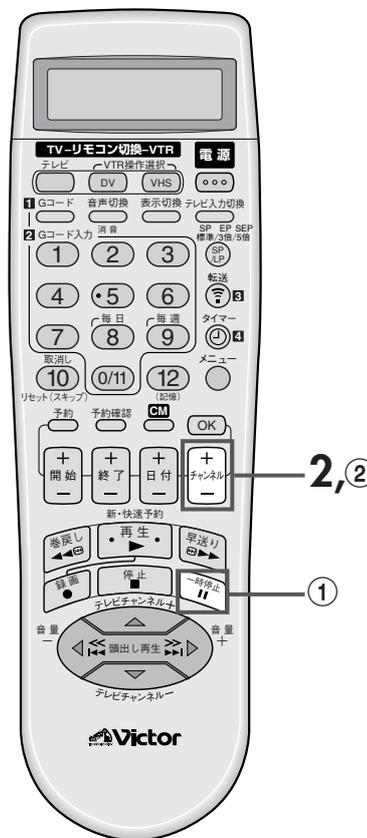
再生中に

シャトルリングを回す方向と角度で再生スピードが変えられます。シャトルリングを離すと、静止画再生になります。

VHSデッキで再生しているときは

リモコンの<</>>ボタンで再生スピードを変えることができます。<</>>ボタンを押すたびに再生スピードが表のように変わります。

巻戻し再生(3段階)	逆転再生	逆転スロー再生(2段階)	スロー再生(2段階)	通常再生	早送り再生(4段階)
巻戻し再生			早送り再生		

再生を止めるには、停止(■)ボタンを押します。

- コマ送り再生、可変速再生中は音声が出ません。
- VHSデッキは静止画再生、スロー再生を5分以上、DVデッキは静止画再生を3分以上、スロー再生を1分以上、逆転スロー再生を30秒以上続けると、テープ保護のため自動的に停止します。
- ミニDVのテープによっては、スロー再生やコマ送りの時にブロックノイズが出ることがあります。

トラッキングを調節する(VHSデッキのみ)

本機には、オートトラッキング機能が付いています。

テープの再生を始めると、自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。

オートトラッキングで、映像の乱れやちらつきがとれないときは、次の操作をしてください。

1

再生中に

[チャンネル+/−]を同時に押してオートトラッキングを解除する

- 本体ボタンでのみ解除ができます。押すたびに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。

2

[チャンネル+/−]を押してトラッキングを調節する

- リモコンのチャンネル+/−ボタンでも操作できます。

スロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは

① 静止画再生中は、一時停止(II)ボタンを2秒以上押し、スロー再生にする

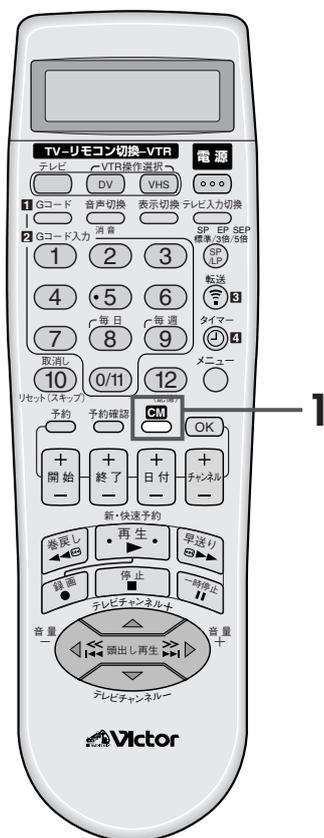
② チャンネル−または+ボタンを押し、調節する

- 本機の電源を入れたり、カセットを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。

お願い

- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- スロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。
- お使いのテレビによっては、静止画再生中の映像の揺れをとめられないことがあります。

コマーシャルを飛ばして録画する

二重音声放送(二カ国語放送など)やモノラル放送の番組を録画中に、コマーシャルを飛ばして録画することができます。(オートCMカット)

1 [CM]ボタンを押して、オートCMカットを「入」にする

停止中または録画中に

- 押すたびに、オートCMカットの「入/切」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。

録画予約するときは…

録画予約時にオートCMカットの設定をしてください。(☞**73**ページ)

- 録画予約中は、予約時の設定に合わせて、オートCMカットの「入/切」が切り換わります。

- 次のようなときは、オートCMカットが自動的に「切」になります。
  - 録画中に停止(■)ボタンまたは一時停止(❚❚)ボタンを押したとき
  - 録画を始める前に再生(▶)ボタン、巻戻し(◀◀)ボタン、早送り(▶▶)ボタン、ビデオ電源ボタンを押したとき
  - 録画を始める前やCMカット中(録画一時停止中)に、チャンネルを切り換えたとき

オートCMカット機能について

オートCMカット機能は、二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。

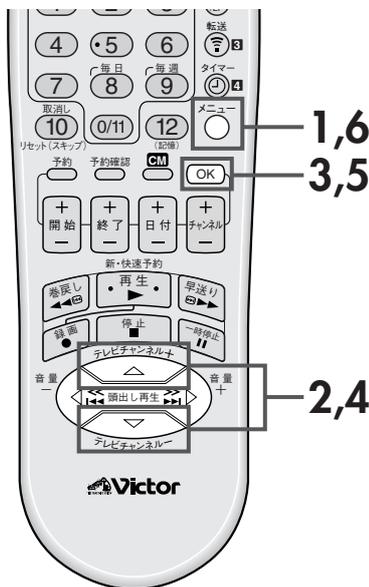
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オートCMカット」です。

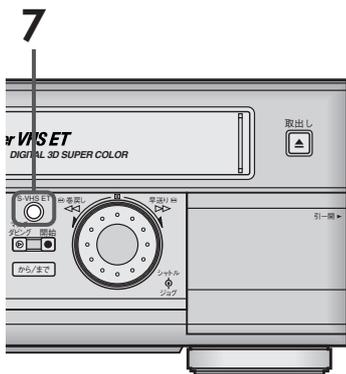
お願い

■ 次のような場合、正常にCMカットができません。

- ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。
  オートCMカットが「入」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「入」になっていても、録画されます。また、タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。
- 本機の映像入力端子やDV入力端子からの録画(テープをダビングするときなど)、またはBS番組の録画のときは、オートCMカットは使えません。
- DVデッキでCMカット録画した場合CMが数秒録画されることがありますが、故障ではありません。

VHSテープにS-VHSの画質（S-VHS ET）で録画する（VHSデッキのみ）

VHSテープにS-VHSの画質で録画ができます。

1 [メニュー]を押す
2 [△／▽]を押して、「VHSモード選択」を選ぶ
3 [OK]を押す
4 [△／▽]を押して、「テープレベルアップ」を選ぶ
5 [OK]で「入」を選ぶ
6 [メニュー]を押して、終了する
7 本体の[S-VHS ET]を押す
   ・押すたびに、S-VHS ETモードの「入／切」が切り換わります。
8 本体の[録画]を押し、録画する

● 録画スピードが5倍（SEP）モードの録画では、S-VHS ET機能はご使用になれません。

S-VHS ET機能について

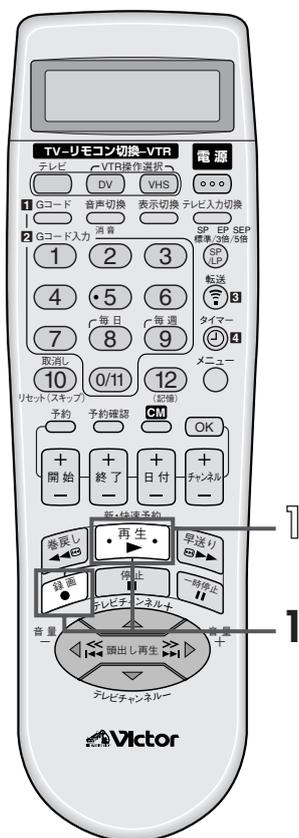
この機能は、VHSテープにS-VHSの画質で記録するための機能です。S-VHS ET機能を使って録画したテープは、本機またはS-VHS ET機能を持ったビデオデッキで再生してください。

お願い

- よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHSテープをご利用ください。
- S-VHS ET機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくはS-VHS ET機能付きのビデオデッキでお楽しみください。添付の「Super VHS ET」シールをテープの背ラベルに貼るなどして、通常のモード（VHSモード）で録画したテープと区別して保存することをお勧めします。
- S-VHS ET機能を使って録画したテープは、S-VHSのビデオデッキやS-VHS簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキでも再生することができます。ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。
- 再生時テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
  S-VHS ET機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。
  - HG(ハイグレード)タイプのVHSテープをお使いください。
  - メニューの「テープレベルアップ」を「入」（☞**98**ページ参照）にしておいてください。
  - 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。（**8**ページ参照）

最適な画質で録画・再生をする

テープレベルアップ(VHSデッキのみ)

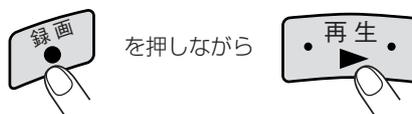
メニューの「テープレベルアップ」(☞23ページ)を使うと、自動的に本機が録画・再生するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画・再生することができます。
ここでは、この機能が「入」のときに、本機がどのように動作するかを説明します。

1 録画時の動作…

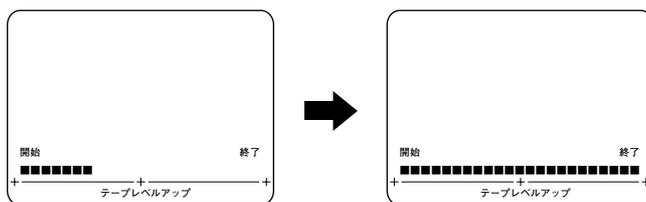
準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- 詳しい録画時の操作については、「番組を録画する」(☞62ページ)をご覧ください。

停止中に

[録画]を押しながら[再生]を押す

を押しながら

次の画面が表示され、自動的にテープの品質レベルを測定します。

- メニューの「オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。(☞22ページ)

番組の始めから録画したいときは

① 一時停止(Ⅱ)ボタンと録画(●)ボタンを同時に押す
本機は録画待機状態になり、テープの品質レベルを測定します。
② 録画したい番組が始まったら、再生(▶)ボタンを押す
録画が始まります。

- 録画スピードを変えると、ふたたび、テープの品質レベルを測定します。(「標準(SP)」と「3倍(EP)」モードに対して、それぞれ1度だけ測定します。テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
- 予約録画をするときは、最初の予約録画を始める前に、テープの品質レベルを「標準(SP)」と「3倍(EP)」または「5倍(SEP)」モードに対して測定します。以降の予約録画開始時には測定しません。(テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
- テープの品質レベルを測定中は、一時停止(Ⅱ)ボタンは働きません。

1 再生時の動作…

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- 詳しい録画時の操作については、「ビデオを見る」(☞56ページ)をご覧ください。

停止中に

[再生]を押す

- オートトラッキング機能が働き、同時に再生する映像に適した画質に自動的に調整します。
- レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「テープレベルアップ」の「入/切」を切り換えてみて、よりよい画質で再生される方の設定でお使いください。

節電設定にする

時計表示を切る

電源「切」のときでもわずかに電力を消費していますが、時計表示を切ると、消費電力を少なくすることができます。本機の電源が「切」のときのみ、時計を表示しません。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊

モード選択
ＶＨＳモード選択
ＤＶモード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

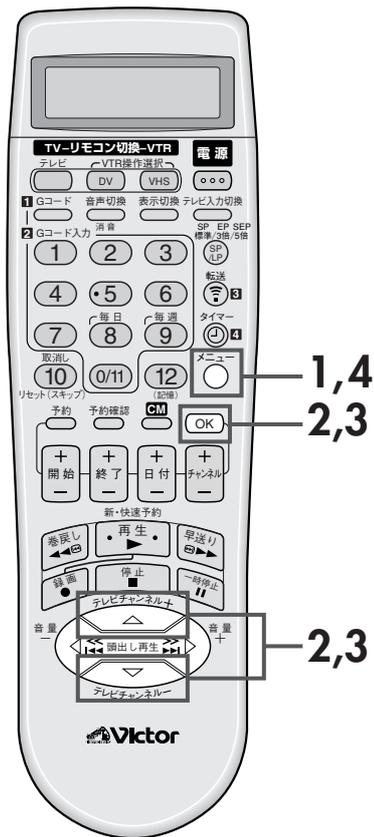
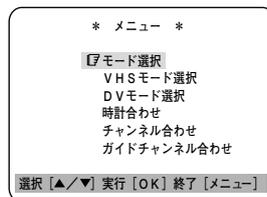
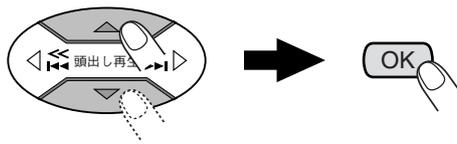
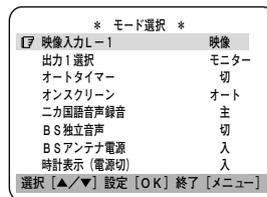
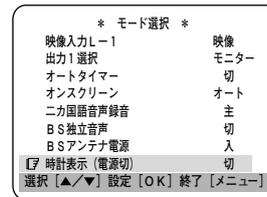
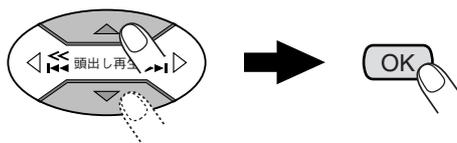
選択 [▲／▼] 実行 [ＯＫ] 終了 [メニュー]

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

☞を「モード選択」に合わせてから、

＊ モード選択 ＊

映像入力Ｌ−１	映像
出力１選択	モニター
オートタイマー	切
オンスクリーン	オート
ニカ国語音声録音	主
ＢＳ独立音声	切
ＢＳアンテナ電源	入
時計表示（電源切）	入

選択 [▲／▼] 設定 [ＯＫ] 終了 [メニュー]

3 [△／▽]を押して、「時計表示(電源切)」を選び[OK]を押して「切」にする

- [OK]ボタンを押すたびに、「入／切」が交互に切り換わります。

4 メニュー操作を終了する

- モード選択画面の「時計表示(電源切)」を「切」に設定した時は、「予約確認」および「Gコード録画予約」は、できません。

故障かな？と思ったら

	症　状	処　置	参照ページ
一般	電源が入らない	●電源コードはきちんとつながっていますか? ●本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか?	— 74
	カセットが入らない	●正しい向きで入れていますか？	56,62
	カセットが出ない	●録画中または本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか？「◷」を消してから、カセットを出してください。このとき、録画予約は取り消されます。	74
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	●再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約5分間は回転しています。故障ではありません。	—
	カウンター／タイムコード表示が点滅する	●早送り、巻き戻し中にテープの未録画部分になると、表示が点滅します。	—
	リモコンが働かない	●リモコンコード(A/B/C/D)があっていますか? ●電池が消耗していませんか?	25
	テレビが操作できない	●電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。	24
	ぴったりクロックが働かない	●地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	55
	BS番組が映らない	●WOWOWをご覧になるには、BSデコーダーが必要です。 ●BSデコーダーの電源を入れていますか？	34 35
	メニュー画面やオンスクリーン表示が出ない	●映像／音声出力1端子にテレビをつないでいませんか？テレビは映像／音声出力2端子（テレビへ）につないでください。	28
再生（音声）	ハイファイステレオの音声が出ない	●ステレオ音声放送ですか？ ●モノラルビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	90 90
	日本語と外国語が同時に聞こえる	●音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。 ●BSデコーダーの音声切換は正しいですか？ メニューの「BS独立音声」を「切」にしてください。	90 35
再生（映像）	テレビに映像が出ない	●テレビで本機をつないだ外部入力を選んでいますか？	28
	映像が乱れる、ちらつく	●オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調整を行います。（VHSデッキのみ） ●再生中は、トラッキングを手動で調節してください。録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。（VHSデッキのみ） ●長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のクリーニングテープTCL-3F（VHS用）またはM-DV2CL（DV用）で掃除してください。	95 95 8
	早送り/巻き戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	●再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。	57
	録画スピード「3倍」で録画されたテープを再生中に画面が上下に揺れる	●メニューの「Vスタビライズ」を「入」にしてください。（VHSデッキのみ）	23
	DVデッキで再生すると時間がかかる	●カセットを入れてから映像が出るまで15秒ほど、時間がかかることがあります。	—
	DVデッキで、ジョグダイヤルの操作が追いつかない	●ジョグダイアルを操作するときには、ゆっくりと操作をしてください。	94

	症　状	処　置	参照ページ
録画（音声）	日本語だけ録音したい	●メニューの「二カ国語音声録音」を「主」にしてください。	22
	アフレコができない	●はじめの録画時にメニューの「音声モード」を「12BIT」にしましたか？「16BIT」で録画されたテープにはアフレコできません。 ●はじめの録画時に録画スピードを「SP」にしましたか？ 録画スピード「LP」で録画されたテープにはアフレコできません。	23 62 66
録画（映像）	録画できない	●VHSカセットはつめがついていますか? ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。 ●ミニDVカセットは誤消去防止ツマミが「REC」の側になっていますか？ ●著作権保護のための信号が記録されたソフトや放送は録画できません。	63 63
	希望の番組が録画できない	●チャンネルが合っていますか？ ●本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	46
	Gコード録画予約ができない	●本体とリモコンの日付と時刻を設定してありますか? ●チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。	55 52
	リモコンから本体へ転送できない	●リモコンを本体に近付けて転送してください。	70
	リモコンから転送すると本体表示窓に「Err」と表示される、	●受信チャンネルは設定しましたか？ ●チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルを設定し直してください。 ●本体の時計は正しく設定されていますか？ ●ワンタッチタイマー録画中は転送できません。	52 63
	リモコンから転送すると本体表示窓に「FULL」と表示される	●予約がいっぱいです。予約できるのはVHS、DVデッキにそれぞれ6番組までです。予約内容を確認し、不要な予約を取消してから、予約してください。	75
	予約録画ができない	●日付と時刻を設定してありますか? ●VHSカセットはつめがついていますか? ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。 ●ミニDVカセットは誤消去防止ツマミが「REC」の側になっていますか？ ●本体の表示窓の「◷」は点灯していますか? ●予約内容を確認してください。 ●停電があったときは正しく動作しません。	55 63 63 71、73 74
	本体の表示窓の「◷」が点滅する	●予約内容が入っていません。	71、73
	本体の表示窓の「◷」と「⌷」が点滅する	●カセットが入っていません。	74
	本体表示窓に「−−：−−」を表示している	●停電がありました。もう一度、日付と時刻を設定してください。	55
	予約録画が始まるまでの間、テープを見たい	●タイマーボタンを押して本体の表示窓の「◷」を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、「◷」を点灯させます。	74
	予約録画中にカセットが出て、本体の表示窓の「◷」と「⌷」が点滅している	●テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 タイマー（◷）ボタンを押すと「◷」と「⌷」は消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	74
	Gコード予約と予約確認ができない	●モード選択で「時計表示（電源切）」が「切」になっています。「入」にしてください。	22

故障かな？と思ったら（つづき）

	症　状	処　置	参照ページ
録画（映像）	予約録画中に停止するには	●タイマー（◷）ボタンを押し、本体の表示窓の「◷」を消してから、停止（■）ボタンを押します。	74
	録画を予約中に予約中の表示が消えた	●予約中に約1分間放置すると予約表示は消えます。もう1度やり直してください。	72
	予約が重なったら	●録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 ●VHSデッキとDVデッキの録画開始時刻が同時の場合はVHSデッキの録画予約が優先されます。	— 73
	予約録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	●予約録画中に本体の電源ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。（リモコンの電源ボタンを押しても電源は切れません。） 電源が切れた際は、他にも予約があるときは、ふたたび録画予約待機中になります。	74
ダビング	本機でダビングできない	●VHSデッキで録画するときはVHSカセットのつめが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。（VHSカセットの場合） ●DVデッキで録画するときはミニDVカセットの誤消去防止ツマミが「REC」の側になっていますか？ ●ダビングの方向（VHSデッキからDVデッキへ、または、DVデッキからVHSデッキへ）は正しいですか？ ●マルチダビングのときは、マルチダビングの設定は正しいですか？	63 63 64 76
	DV端子を使ったダビング中に、録画が途中で止まる	●DV端子を使ってダビングしているときに、再生機側で無記録部分を再生すると、録画側のデッキが停止します。	82
	VHSデッキからDVデッキへマルチダビングできない	●マルチダビングができるのはDVデッキで再生して、VHSデッキで録画する場合のみです。	76
	接続した外部機器でダビングできない	●正しい外部入力（「L-1」または「F-1」）を選んでいますか？ ●「S映像」と「映像」端子の選択は正しいですか？ ●外部機器を映像／音声出力1端子につないでいるときは、メニューの「モード選択」の「出力1選択」で出力するデッキを選んでください。	82、83 22 22
	本機で再生すると画面表示が録画されている	●メニューで「オンスクリーン」を「切」にしてからダビングしてください。 ●外部機器を映像／音声出力1端子につないでいるときは、メニューの「モード選択」の「出力1選択」で出力するデッキを選んでください。	22 22
	マルチダビングができない	●「まるごとダビング」のDV→ボタンを押してから、もう一度マルチダビングの操作を行ってください。	64
	デジタルダビングするときに音声2がモニターできない	●本機でモニターすることはできません。接続している機器でモニターをしてください。	—
	64プログラム編集メモリーが消えてしまった	●停電などで、本機のバックアップ時間(約60分) が切れるとメモリーが消えてしまいます。メモリーが消えてしまったときには、もう一度編集点を設定し直してください。	76
	まるごとダビングするときに編集点の最初が少し欠ける	●性能上少し欠けることがありますが、故障ではありません。	64

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（**104**ページ参照）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

100〜**102**ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビデオカセットレコーダー
型　名	HR-DVS2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　－

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか
- ●再生しても映像や音声が出ない。
- ●電源プラグ、コードが異常に熱い。
- ●異常な臭いや音がする。
- ●水や異物が入った。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1000

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC（U.K.）LIMITED
・ロンドン〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
・パリ〔01-61-04-11-11〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

サービスネットワークBS　9001

その他

用語解説

ガイドチャンネル
Gコード録画予約のために、各放送局に付けられた番号です。この番号が正しく設定されていないと、Gコード予約録画はできません。

受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル(周波数帯域)のことです。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことをいいます。

スクランブル(放送)
映像・音声信号を暗号化した信号です。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われています。

チャンネル表示
本機で特定の放送局を選ぶときに、本機の表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号です。本機でチャンネル表示を変更しているときは、「受信チャンネル」と違った番号になります。
本機で、その受信チャンネルを選びたいときは、チャンネル表示の番号を選びます。
例えば、テレビ神奈川(受信チャンネル:42チャンネル)のチャンネル表示を本機で「9チャンネル」に設定してある場合は、テレビ神奈川の番組を見るときには、本機では「9チャンネル」を選びます。

デジタルCS(シーエス)放送
通信衛星(Communication Satellite)を利用したテレビ放送です。一般的には単に「CS放送」と呼ばれています。この放送を受信するには、CS放送各社との契約が必要です。加入は有料で、専用のパラボラアンテナと受信機を購入する必要があります。

独立音声
テレビ画面の映像と関係のない音声だけの放送です。St.GIGAは、BS5チャンネルの独立音声で放送されています。

ハイビジョン放送
現行のテレビ方式(NTSC)の約5倍の情報量を持つ高画質の放送方式です。BSの9チャンネルを使って放送されています。

ハイファイステレオ音声
本機では、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。
そのうちのひとつが「ハイファイステレオ音声」です。この音声はテープの「ハイファイステレオトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
ハイファイステレオトラックに録音された音声は、モノラルのビデオデッキなどでは再生することができません。

二重音声放送
ステレオの左チャンネルと右チャンネルに別々の音声を入れた放送です。映画などの放送でよく使われる二カ国語放送も二重音声放送のひとつです。最近ではプロ野球の中継放送などにも使われています。

ノーマル音声
本機では、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。
そのうちのひとつが「ノーマル音声」です。この音声はテープの「ノーマルトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
これにより、モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画されたテープの音声を本機でも再生することができます。
また、逆に本機で録画したテープを、モノラルのビデオデッキで再生しても、音声を聞くことができます。

Aモード音声
BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

Bモード音声
BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

BSデコーダー
BS有料放送のスクランブルを解除する機器です。WOWOWやSt.GIGAを受信するときに必要になります。

CATV放送
有線テレビ放送のことです。サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するためには、CATV放送各社との契約が必要です。

Gコード
録画の予約を簡単にするためにジェムスター社が考案したシステムです。すべての番組に付けられる8桁までの番号です。本機ではこの番号を入力することにより簡単に録画予約を行うことができます。

Gコードインフォ
「0」から始まるGコードを使って録画予約をするシステムです。比較的短い時間の録画予約に使用されます。

JSB
日本衛星放送株式会社のことです。

MUSE
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。

MUSE―NTSCコンバーター
MUSE信号を現行のNTSC信号に変換するための機器です。ハイビジョン放送の番組を現行のテレビで見ることができます。

NTSC方式
現行の日本や米国で使われている映像(カラー)方式です。ヨーロッパや東南アジアの国々では、PAL方式やSECAM方式という違った方式が使われています。
この映像(カラー)方式が違うビデオテープは本機では再生することができません。

S映像信号
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。
本機などのようなS-VHS方式のビデオデッキやビデオムービーに採用されています。

St. GIGA
衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名です。WOWOWの独立音声を使って放送しています。

TBC
再生したとき横方向の細かな歪みなどを補正します。

WOWOW
JSBが放送する番組の愛称です。

主な仕様

●電源	AC100V　50/60Hz
●消費電力	33W BSアンテナ電源使用時　39W 待機時消費電力*　5.5W 待機時消費電力:時刻表示点灯時　5.9W 待機時消費電力:時刻表示消灯時　3.8W *省エネ法に定める待機消費電力です。
●外形寸法	435(幅) x 124(高さ) x 391(奥行き) mm
●質量	7.0kg
●許容動作温度	+5°C〜+40°C
●許容相対湿度	35%〜80%
●許容保存温度	−20°C〜+60°C

VHSデッキ

ビデオ（映像）

●録画・再生方式	S-VHS方式 回転2ヘッドヘリカルスキャン 輝度信号　FM方式 色信号　低域変換直接記録方式
●映像信号	NTSC日米標準信号

ハイファイオーディオ（音声）

●録音方式	VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性	20Hz〜20kHz
●ダイナミックレンジ	90dB以上
●ワウ・フラッター	0.005%以下
●チャンネルセパレーション	60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

●録音方式	リニアトラック
●音声トラック	1チャンネル(モノラル)

DVデッキ

●録画方式	ミニ DV方式 （民生用デジタルVCR SD規格）
●テープ速度	SP:18.812mm/秒 LP:12.555mm/秒
●使用テープ	ミニ DVビデオカセット （6.35mm幅デジタルビデオテープ）
●録画時間	SP:60分、LP:90分 （M-DV60ME使用の場合）
●テレビジョン方式	NTSC方式:525本、60フィールド
●映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
●音声記録方式	PCM48kHz、16bit（2ch）/ 32kHz、12bit（4ch）

チューナー（テレビ受信）

●受信方式	周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式	インターキャリア方式
●受信チャンネル	VHF　1〜12チャンネル UHF　13〜62チャンネル BS　1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル CATV C13(63)〜C63(113)チャンネル

●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

タイマー（タイマー予約・時計）

●タイマー予約	1年12番組予約 （VHSデッキ6番組、DVデッキ6番組）
●時計	12時間(午前·午後)方式
●停電補償時間	約60分

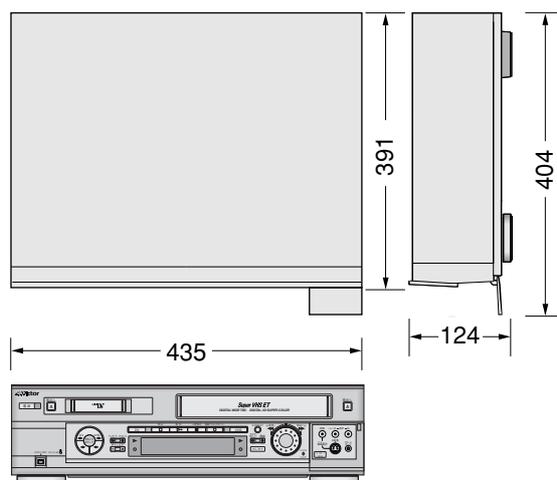
テープ走行

●早送り／巻き戻し時間

VHSデッキ：約1分30秒
（T-120テープ使用時）
DVデッキ：約1分40秒
（M-DV60ME使用時）

テープによっては早送り／巻き戻しに時間がかかる場合があります。

接続端子

●アンテナ	75Ω F型コネクター VHF/UHF一軸
●BS-IF入力	75Ω F型コネクター アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
●BS-IF出力	75Ω F型コネクター
●S映像	入力 Y：0.8〜1.2Vp-p 75Ω C：0.2〜0.4Vp-p 75Ω 出力 Y：1.0Vp-p 75Ω C：0.29Vp-p 75Ω
●映像	入力 0.5〜2.0Vp-p 75Ω（ピンジャック） 出力 1.0Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●音声	入力 −8dBs 50kΩ（ピンジャック） モノ（左）対応 出力 −8dBs 1kΩ（ピンジャック）
●検波入／出力	0.67Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●ビットストリーム入／出力	0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●AFC入力	0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●リモートポーズ	ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
●DV入／出力	4ピン IEEE1394準拠 デジタル入力／出力

● 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

その他

索引

アルファベット・数字

ア行

カ行

サ行

その他

HR-DVS2 取扱説明書

故障かな？と思ったら
修理に出す前に100～102ページをご確認ください。

修理についてのご相談は
「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、104～105ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お買物相談
お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東　京
☎ (03)5684-9311
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大　阪
☎ (06)6765-4161
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

日本ビクター株式会社
ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）450-2550

1100IYV＊SW＊VP